

## 第7回 文京区保育ビジョン策定検討委員会 次第

平成19年2月1日(木) 19時～21時

於：シビックセンター24階 第1委員会室

1. 開会あいさつ
2. 「最終報告」の取りまとめについて
3. 「中間のまとめ」に対する区民からの意見について【資料20】
4. アンケート等の実施結果について【資料21】【資料22】【資料23】
5. その他【資料24】

### 配布資料一覧

- (1)文京区保育ビジョン策定検討委員会報告中間のまとめに対する区民意見  
【資料第20号】
- (2)子育てしやすいまちに関するアンケート調査結果【資料第21号】
- (3)家庭で乳幼児を育てている保護者に対するグループヒアリング調査結果  
【資料第22号】
- (4)文京区立保育園保育士アンケート 分析結果の中間報告【資料第23号】
- (5)保育ビジョン策定検討委員会への要望書(写)【資料第24号】

## 文京区保育ビジョン策定検討委員会報告 中間のまとめに対する区民意見

- 1 意見提出期間 平成18年12月25日～平成19年1月31日受付分
- 2 意見募集方法 ①「中間のまとめ」区民説明会(4回開催)における意見聴取  
②区報ぶんきょう「保育ビジョン中間のまとめ特集号」添付のハガキ  
③電子メール  
④「中間のまとめ」区民説明会で配布した意見シート  
⑤その他(保育課あてファックス・封書等)
- 3 意見件数 (平成19年1月31日現在)
- |               |      |
|---------------|------|
| ①区民説明会        | 25件  |
| ②区報ぶんきょう添付ハガキ | 56件  |
| ③電子メール        | 54件  |
| ④意見シート        | 9件   |
| ⑤その他          | 1件   |
| 合計            | 145件 |

### <区民説明会開催状況>

日程	時間	会場	出席者数
平成19年1月14日(日)	10:05～11:50	シビックセンター4階 シルバーホール	19名
平成19年1月15日(月)	10:05～11:10	シビックセンター21階 2103会議室	10名
平成19年1月15日(月)	19:05～20:20	シビックホール地下1階 多目的室	14名
平成19年1月16日(火)	19:15～20:25	汐見交流館 2階会議室A・B	10名

## 1. 中間のまとめに対する質問・意見・要望

### ■ 全体について

No.	質問・意見・要望	受付方法
1	目標としているいろいろな項目がアイデアを並べたレベルで並んでいるが、切りわけがまったく不十分である。「こういうものをめざします」と遠くに目標を置くWhatと、「今、こういうアクションをしましょう」「こういう課題を共有しましょう」あるいは「Whatに向かってどうアプローチしていくか」というHowが入り混じっている。遠くに向いているものと、今いる地点からどっちに向くか、という話をごちゃ混ぜで、全体の論理構造がわからない文章になっていると感じる。	説明会
2	目標設定の前提となる事実関係の確認が、どういう前提でそういう話をしているのか、ファクト（事実）があるのかわからないところが散見された。例えば、2頁の背景、就労支援の充実の必要性の中で、「延長保育のスポット利用」「認証保育所の増設」「病後児保育」があげられているが、私の認識では、認証保育所の増設を望む人が本当に多いのか、非常に疑問。認可保育所、公営の保育所の増設と切り分けて認証保育所があがっているのは間違っているのでは。バックデータがあるのなら教えてほしい。	説明会
3	全体的に、子育てに対する見方が暗い。子育ては大変、大変とうたっていて、将来像も大変だから手を打たなくちゃ、というようなところが多い。子育てのポジティブサイド、本来豊かで喜びがあって・・・というところを整理して、ところがそれに対する阻害要因、欠けているところがあるから、そこを補うべく支援する必要がある、というストーリーにしないと、ビジョン全体の構成が暗くなってしまう。ビジョン1の方には基本目標に、ポジティブサイドがかなり書かれているが、この基本目標の内容は目標なのかが疑問で、文章の論理構造がおかしいと思う。	説明会
4	細かい施策に関して、ビジョンに載せてよいものかどうか、疑問がある。細かい施策を実行すればビジョンの指針にのっとって施策を進めた、という安易なとらえ方ができてしまう、という危惧がある。	説明会
5	「子どもを最優先するまち」であれば、まず健康、自動車の排気ガス大幅減（ぜん息の子どもが減る）、高層ビル建設中止（ビル風による歩行危険排除）、路上禁煙完全実施（千代田区のように罰金設定）、歩道自転車乗入制限及び車道減による自転車道確保などやってもらいたことが山ほどあるが、全く反映させようという意欲のない厚生省系の「たてわりビジョン」であるということが一目瞭然である。 大型施設や国や都の関連機関も不要だし、防災拠点として小中学校、大学、公園があり、文化伝承するには保育園では年齢が低すぎる。保育園後に民間保育に預けたり、ベビーシッターを雇ったり、子育てサービスがもっとあれば・・・という家族はいるはず。区内の子育て世代のニーズを把握後にビジョンを作成して下さい。一部公機関の生き残りのためのビジョンというのが露骨すぎです。 幼稚園との関係は棚上げし、「長期ビジョン」としては全くなっていない。	はがき
6	理念としては良いと思うが、具体像が見えない。「ビジョン」の策定に際しては、実際の施策を明示して、区民にとって納得のいくものかどうか、明らかにした上で進めてほしい。	はがき
7	あらためて当たり前のことをビジョンとしたというのが率直に感じた事です。これをどう実行、実現していくかが一番大変で、大切だと思うので、区民の声を聞きながら実現してほしいです。あの5千円の券みたいに、たいして満足感のないお金の使い方はしないでほしいものです。	はがき
8	理念はわかりますが、結局、何がどうなるのかが見えてきません。保育園もどうしたいのですか？夏休みに働いている親の幼稚園児を受け入れるとか？！（考えるだけでも恐ろしい！）まだ中間ですので仕方ないのかもしれませんが、良いものを作っていただきたいです。	はがき
9	「支援・応援」等の言語が多数出ていますが、具体策はあるのか。要するに予算・マンパワーはどうやって作り出すのか？ 最終まとめでは、具体策の提示、予算編成、目標期限等について明記を！絵に描いたモチに終わらないよう望みます。	はがき
10	項目がもりだくさんだが、何をどうしたいのか、具体的に記述されていない。ビジョンとは、その程度のものなのかと、がっかりさせられる。区が実行するためには「金」が必要。どうやって、予算をとるのか。区の中で行なわれているムダな支出をへらして、こういう有意義な事業がキチンと実行できるようにしてもらいたい。 文中の「ワンストップ・サービス」とは何のことか？ 区長は、このビジョンをどこまで実行するつもりなのか？ これを作らせて、区民を安心させておいて、裏では、保育園民営化をすすめているのではないかと思うと腹が立つ。	はがき

No.	質問・意見・要望	受付方法
11	<p>先日の区民説明会に参加し、「中間のまとめ」の冊子を読みましたが、今後いったいどのように具体的検討がなされ実施されるのか見えてこないのが第一印象。あと、二回の委員会のみで終了としてしまっただけは、結局、書面にまとめた話になってしまうのではないかと思います。この三月で終了にはせず、具体化を目指し、検討委員会を継続はしないのでしょうか？</p> <p>また、就学前の子どもたち全てを対象としておきながら、幼稚園について検討されないのは、なぜでしょうか？「保育」という観点から保育園を対象にしたとしても、現在の施設では手狭で、一時保育等を求められても物理的に難しい園もあるのではないかと？幼稚園や他にも区の空き施設を利用するなど、対象を広げるべきでは？</p>	はがき
12	<p>とにかく予算がないと“なにも”できないと思います。理想だけでは“なにも”動きません。本気で“子育て”をどうにかするなら、十分な予算を立て、質の良い人材がこの問題に対応できる体制を構築すべきです。</p>	はがき
13	<p>今回の保育ビジョンについてですが、非常に抽象的な内容であり、もう少し具体化して各論に落ちないと、評価を下しづらいと思います。一方で、「総論のみ区民を交えて議論、各論は区の内部で決定」といった状況にせず、各論をも区民を交えて決定していくという意思表明を保育ビジョン自身に入れていただきたいと思っています。(区民参画による検討、ではなく、区民参画による決定、です)</p>	メール
14	<p>①何を作りたいのか良く分からない。完成イメージが湧かない。作っている側にもそれが無いのは大きな問題。</p> <p>②資料を見ると、保育＝保育園だという印象がある。ビジョンなのだから縦割り行政にとらわれず検討に児童館や幼稚園を使う子どもやその施設もきちんと入れて欲しい。</p> <p>③3月までにまとまるとは思えない。日程ありきの進め方は非常に遺憾。区民にもっと興味を持たせ、腰を据えて取り組んで欲しい。例えば幼稚園、保育園、児童館に説明をして歩き、もっと現場や区民の意見も聞いて、地に足のついた、かつ希望のもてるビジョンを作りたい。</p> <p>④委員の方々にはとても尽力頂いていると思うが、進め方、完成イメージについては妥協しないで取り組んで欲しい。</p>	メール
15	<p>今回の中間のまとめは、レポートとしての完成度が低いことが大いに不満である。</p> <p>a) 例えば形式的な点だが、会長の名前が記載されていないことからおかしい。また、区報の要約版には、会長名を「委員長」と書いているが、設置要綱には、会長と規定している。</p> <p>b) いたるところに散見される悪文。例えば、「はじめに」の第4段落、「ビジョンにおいては、...まとめています。」の文の意味がわからない。「その具体的な方策」とは、何を指すのか。(p.3) また、「第II 文京保育ビジョンにおける保育とは」。先の文と類似した文で、意味がわかりません。(p.4) 「保育とは」というタイトルからすれば、保育を定義するはずだが、文章は「保育ビジョンとします」と書いてあるので、保育ビジョンを定義しているようでもあります。(また実際には定義されているとは、思えない。)</p> <p>c) 「はじめに」の第2段落 (p.3) や、「第IV 文京区の保育がめざす将来像」では、「まちのありよう」を描く、示す、としているので、ビジョンは、「まちのありよう」なのでしょうか？保育ビジョンとまちのありようとの関係がよくわかりません。</p> <p>d) 12 ページ vision2 目標1. 「文京区には、さまざまな親子がいます。」と書いて、①から⑦までの類型が書いてあるが、大半の家庭が属する類型が抜けているので、おさまりの悪い文章になっている。表現力の問題だと思います。</p> <p>e) 13 ページ vision2 目標3. 「既に地域で支援に関わっている人々との間での連携を強めるとともに、」。主語がないので、誰が連携するのかわかりません。</p> <p>f) vision1 将来像「そのためには、その力を生かす」とは、どの力のことでしょうか。「そのため」もどこを指すのか、わかりにくい。</p> <p>g) vision1 の目標 (4) 「子どもの自発的で内発的な「知」への欲求を大切にし、それを支える環境を整えていく。」具体的にどういう環境を整えると、「それを支える」ことになるのか、もっと丁寧に説明してもらわないとコメントできない。</p> <p>h) vision2 目標4 「児童館機能の充実 新たなニーズに対応する」新たなニーズとは何のことか。どういう理由で、どういうニーズへの対応が必要という結論を導き出したのか、わかりません。</p> <p>i) 10ページ「子育てにやさしいエレベーター」いくら読んでも、意味がわからない。PDF版後半のWGのレポートを読んで、やっと意味がわかった。でも、説明会等で配布の冊子体だけを入手した人には、意味がわからないままである。</p> <p>以上、例示したように、この中間のまとめは何を伝えようとしているのかもよくわからない、難解な文章が多く、説明不足でお粗末な文書である。この完成度でコメントを求めよう、ということ自体に、そもそもの無理があります。区民感情としてはこういうものでコメントを求めるのは失礼ですし、経済的に見れば税金を有効に使っているとは言いがたい。誤解に基づくコメントも多く生じることと思う。</p>	メール

No.	質問・意見・要望	受付方法
16	<p>裏づけが不明</p> <p>a) 本文 2 ページ 第I 保育ビジョン作成の背景 (3) には、「認証保育所の増設」(中略)などの充実を望む人が増えています。との記載がありますが、これまで、父母連でのアンケートなどを通して得られている認識とは、大幅に異なるものです。認可保育園ではなく認証保育所の増設が望まれているという記載の裏づけを示していただきたい。</p> <p>b) 本文 2 ページ 第I 保育ビジョン作成の背景 (2) も、見出しには「子育てを負担に感じる人の増加」とありますが、そのあとの本文では、1回のアンケート結果で、「不安や悩みを持つ人が多いことがわかりました。」とあります。しかし、どのようなアンケートの設問で得られた結果なのか、また多いとは、どの程度の比率なのか。この結果を何と比較して見出しの「増加」としたのか、具体的な裏づけが不明である。</p> <p>c) vision1の目標 (3) 「電子メディアの過度の視聴・利用の危険から子どもたちを遠ざける」長時間にわたる電子メディア(テレビ・ビデオ・DVD・テレビゲーム・携帯用ゲーム・インターネット等)の視聴・利用は、生活リズムの乱れ(夜更かし)や運動不足の原因となり、ゆたかな人間的ふれあいを阻み、その結果として言葉の発達の遅れをもたらすともいわれる。」何が長時間なのか、過度なのかというガイドラインも、データソースも示すことなく(「いわれる」)、ただただ親の不安をあおっているだけの文書ではないか?これでは検証不能であり、「目標」にできないのではないか?</p> <p>d) vision2 目標5「良質で安価な治療のあっせん」今の保険治療の制度下で、「良質で安価な治療」とそうではないものがある、と言っているように読めてしまいます。良質ではない医療も提供されている、という事実があるのでしょうか?また、「乳腺炎など」の「など」の中身として、3つ以上の保険のかかない疾病を具体的に提示できるか?</p> <p>e) vision4 目標4 (2) 「クラスサイズは国際的に常識はずれなくらい、大きい」「海外では、1クラスの園児数を少人数にすれば、」検証できる形での記載を。また、海外がどうであれ、自分たちで議論して、よいものはよい、ということでビジョンを作るのが筋ではないか。</p>	メール
17	<p>基本となる子育て観のトーンが暗すぎる。</p> <p>例えば vision2の将来像が、「不安」の話から入っている。vision3でも、将来像に「再び社会に参加できる道を開く」という記載があります。裏をかえすと、就労しないで育児をしていると、「社会に参加していない」と規定しているわけです。これは、あまりに暗い子育て観ではないか、と思います。あるいは、「はじめに」の第1段落も、語りだしこそ明るいですが、その明るさを具体化しないまま、直ちに厳しい現実突き落とされてしまいます。また、vision3の将来像も、「～生き方を選択し、～能力を発揮することは、子どもを持っては望めないことなのではないでしょうか」とある。生き方を選択や能力の発揮にたいして、子どもが妨げになることが、所与の前提であるような内容であり、このように暗い前提で将来像を描いてほしくない。</p> <p>まずは、子育ての中でどこに喜びがあるのか、何が幸せなのか、どういう子育てが望ましい子育てなのか、理想像や黄金の瞬間のようなものについて語る必要があるのではないのでしょうか。そしてそれに対して、現実の生活の中では阻害要因もあるので、そこに必要な支援によって解決していこう、というふうに話を組み立ててはいかがでしょうか。</p> <p>現状のまとめでは将来像について、ネガティブサイドでしか語っていないので、基本の軸があいまいなままである。そのために中間のまとめ全体が、大変なことは全て支援してほしいという子育て世代のわがままな要求の羅列と受け止められかねない。また、その支援がどうして必要なのか、ということの説得力が弱いものとなってしまっている。</p>	メール
18	<p>提案の整理が不足</p> <p>各ビジョンの目標という項目の下にアイデアがたくさん並んでいるが、遠くにかかげた目標とするべきことと、直近の取りくみとの仕分けが不十分ではないか。あるいは、何をするかという whatとどういう方法であるかという howとの整理が不十分ではないか。さらには、そのアイデアは実施可能なのか、効果を検証可能かという視点での議論をするべきではないか。</p>	メール
19	<p>ビジョン2007への継続</p> <p>説明会においても、これはビジョン2006として策定、という経緯が紹介されたので、最終報告ではきちんと、ビジョン2007への継続を明記されたい。</p>	メール
20	<p>今回の検討項目の名称を「ビジョン策定」と置いたことについて</p> <p>実は「ビジョン」という名称は、ある目標を共通に理解して作業を進める上では、あまりよい言葉ではないのではないかと、思っている。仕事の上で議論をしても、ビジョンが何を指すのか、人によって指すものが千差万別だなぁ、と思うことがたびたびある。「ビジョン」と「ミッション」とどちらが上位の先に来る概念か?と聞いても、見解はばらばらなので。</p> <p>マスコミにおけるビジョンとミッションの混同の例：  <a href="http://techon.nikkeibp.co.jp/guide/nano_sample.html">http://techon.nikkeibp.co.jp/guide/nano_sample.html</a>  <a href="http://techon.nikkeibp.co.jp/article/COLUMN/20061218/125560/?P=2">http://techon.nikkeibp.co.jp/article/COLUMN/20061218/125560/?P=2</a></p> <p>現在想定しているビジョン2007においては、まず「ビジョン」という言葉をどういう言葉に言い換えるとクリアな議論ができるのか、検討することからはじめるべきであろう。</p>	メール

No.	質問・意見・要望	受付方法
21	<p>斜に構えて読まざるを得ない。下に理由を示します。</p> <p>1. 保育に関して興味を持つ区民が一番知りたいことは「保育園の民営化」について。今回の内容では現在ある園の民営化は無い？と取れますが、さんざん話し合いを重ねた民営化についての結果をこんなわかりにくい形で報告するのか？「保育ビジョンは民営化が最終目標ではないので」という回答が予想されるが話し合いに時間を費やした区民に対して失礼極まりない。常識から外れている。</p> <p>2. すばらしい構想は理解できた。では具体的にどこに何を造るのか、そのプロセスはどんなものなのか、民営化の際に区の財政難を理由に挙げた文京区であるが、この素晴らしい構想のために一体何ができるのか。具体案が挙がるまでは意見が出しづらい。</p> <p>最後に。私は文京区を愛しています。文京が将来良い方向に向かってゆける明確なビジョンがあるならば、たとえ少しの痛みを味わおうとも区と協力して前進させて行きたい。保育や環境の転換期で我が子が負ってしまうであろうマイナス影響も、親である私が100%サポートしていこうという決意を持っています。検討委員会の方、区役所の方にはそんな決意が感じられない。良いものを創り上げる自信が本当にあるのだろうか？区民が「なんとなく」反対ムードをとるのはそんな頼りの無さからである。（保育園民営化・小中学校の合併どちらにも共通する意見です）</p>	メール
22	<p>区報ぶんきょうを拝見しましたが、かなり細かな内容となっており、ビジョンというものはこのような具体的な内容となるのでしょうか。</p> <p>特に、路上禁煙の実行など、この中でうたうような内容とは思えませんし、仮にうたっても効果のほどは疑問です。このような問題は別の場所で議論したり考えるべき問題ではないでしょうか。</p>	メール
23	<p>全体的にいえることだが、具体的なことが記載されていなく、イメージがわからない。つまり、何が言いたいのがわからない。</p>	メール
24	<p>保育ビジョンの中間のまとめを拝見しました。少子化の時代、子育てに力を入れるべきということは理解できますが、このビジョンが文京区のさまざまな施策と整合性をもった「ビジョン」であるとすると、子育てをしている人だけ（特に保育園を利用している人たち）のためだけのビジョンのように感じます。たとえば「子どもを最優先するまち」とありますが、高齢者や障害者はどうなのでしょう。そもそも、行政で誰が「最優先」ということはあるのでしょうか？たとえば公園や大型施設の整備など、子どものためだけにお金を惜しみなく使ってしまったらいいのでしょうか？また、行政に「やってもらおう」あるいは「やらせる」、地域のひとに「みてもらおう」「やってもらおう」という部分が多く、子育てしている人同士の協働という視点が弱いのではないかと感じます。細かく具体的な要望ばかりが目立つのが気になります。子育てをしていない人にも「なるほど」と共感できるビジョンにまとめてください。</p>	メール
25	<p>子供が二人いる親ですが、報告書をざっと読みました。色々なことが書いてありますが、やることを羅列している感じです。基本指針と書いてある割には、長期的な視点を感じません。もっと大きい観点から考えをまとめるのが、ビジョンというものだと思いますが？</p>	メール
26	<p>子供が小学校の高学年になり、やっとゆとりがでて来ました。二人とも働いているので、たいへんでしたが、子育てということで充実していました。今回のまとめを読むと、たいへんだから、助けるということばかりです。検討委員会というのはそういうことばかりを話しているのでしょうか。もっと子育てが喜びだということをはっきりさせる、親はもちろん周りの人にとっても子供の声がするということが楽しい、ということを出しては、どうでしょうか。子育ての楽しさを、親や住民が共有する。その前提で、一人一人が努力をしていく。役所がやるのがメインというビジョンには賛成できません。</p>	メール

No.	質問・意見・要望	受付方法
27	<p>名称が「保育」ビジョンとうたっているのが変ではないか。保育園についてのビジョンととらえてしまう。「未就学前のこども」を対象としているのだから、「子供ビジョン」「子育てビジョン」とうたうべきではないのか。「子供」とすると範囲が広範になるというのであれば、副題で未就学児対象とでも入れればよい。</p> <p>そもそも「就学前のすべての子供」を対象としていると言っているにもかかわらず、実際の対策は、保育園児、未就園児（0から2歳の家庭で保育されている子供）に対してしか示されておらず、幼稚園児はこのビジョンの中から省かれていると思う。特にvision4は保育園のことだけに触れており、なぜ幼稚園については触れないのか。これでは幼稚園保護者の反発を招くのではないか。「保育園が子育て家庭に開かれた保育拠点となる」とあるがどうやって幼稚園に通わせている家庭を取り込むのか。完全に矛盾している。幼稚園児の親が保育園に育児相談に行くのか。ビジョンの中で保育園の役割が書かれているのと同様に「幼稚園の役割」をしっかりと位置づけなければ幼稚園児に対する政策が抜け落ちてしまうと思う。そうでなければビジョンの目的は達成されないのではないか。保育園に通う子供たちに対してだけ子育て政策を行っても十分に機能するとは言えないと思う。</p> <p>幼稚園は教育機関だから保育の点から論ずるのは意味がないと考えているのか。健全な発達の保証がなされなくて良いと考えているのか。それともすでに保証がされているから必要がないと考えているのか。教育機関である幼稚園、福祉施設である保育園という枠組みを乗り越えて保育（こども）ビジョンが語られなければ実効性がないものになってしまう。別々の施設であっても統一した目的で政策がなされているなら効果は上がると思うがこれでは意味がない。子どもの数が減っている今、わざわざ別の部署で、別々の予算をつけて子どもに対する政策を別々に行うのは本当に非効率的であり、将来的には保育園幼稚園が融合していくことを望んでいる。</p>	メール
28	<p>保育ビジョンで取り上げる項目があまりにも広範にわたっているため、どこから手をつけるのか分かりづらい。すべてを実現するのは難しいだろうから優先順位はあるのだろうが、予算の都合上すべては実現できないので、とりあえず、皆さんの要望が多かった「認証保育所」を作ってみました、入所人数を増やすために民営保育所を増やしてみました、なんてことには絶対にしないで欲しい。うがった見方をすれば、そうするために手順を踏んでビジョンを作っているだけなのかと疑いたくなる。</p> <p>保育ビジョンがうたうもの、その方向性にはとても共感し、子供に優しいまちづくりを望んでいる1人として委員の皆さんが相当な力を注いで作られたものがより良いものになるようがんばっていただきたい。</p>	メール
29	<p>書いてあることをやるためのお金をどこから持ってくるのか。子供最優先とは、子供にしかお金を使わないことか。民営化とかやることはやっているのか。バランスがとれていない。</p>	メール
30	<p>時々5階の会議室を利用しています。</p> <p>昨年、文京を作る区民検討会（名称に自信はありません。24階の部屋だったと思います）を傍聴しました。ゆっくりながら行財政改革が進んでいるとの感想を持ちました（不十分という人もいましたが）。しかし、この報告書を見て驚きました。官が金と人をかけてやることのオンパレードです。このような内容がでることが改革を遅らせているのでしょうか。大型施設整備だの、公設公営保育園維持だのは時代錯誤です。特定分野の専門家をまとめ役として利害関係者を中心とした検討会で議論したということでしょうか、その結果、「就学前の子供にかかわる基本理念」のまとめでなく、「保育園の親がやって欲しいこと」のまとめになっています。このようなやり方で、各分野の人が要求を出していけば、我々文京区民はどれだけ税金を取られるのでしょうか。指針というなら、保育の分野でも官の仕事の質を高める民（公益団体、企業、NPOなど）に渡すということを明記すべきです。ビジョンというのは要求の羅列でなく、多くの人が受け入れられる考え方をまとめたものです。今回の内容は参考資料程度のものでしょう。また、最初に書いた区民検討会との合同会合などの、すり合わせもしてください。保育園にかかわりのない親、子供を持たない住民など、いろいろな人が受け入れられるものを望みます。</p>	メール
31	<p>この保育ビジョンは文京区として策定するのですか。もしそうであるならば、文京区はいつから子どもを最優先するまちになったのですか。少子化が叫ばれている昨今、子育ての大切さは分からないではありませんが、偏りすぎていると感じます。</p> <p>また、保育ビジョンとは就学前の子どもに係る分野の基本理念・基本目標を示すと書いてありますが、内容は具体的な施策であり、ビジョンとは程遠いように思うのは私だけでしょうか。</p>	メール
32	<p>ビジョンに対する優先順位がなく、まるっきり空想の話にしかみえない。本当に実現できることも、するものがあるのかが、ドキュメントから見えなかった。</p>	意見シート
33	<p>人間は「義務」と「権利」があると思います。人間生まれてきた以上、子孫を残すことは「義務」、よって大変かもしれないがやるべきこと、また、それをいきがいにすることだと思っています。それに対して、公としてよりよくするための手助けが「権利」だと考えます。その明るい権利がわかるようにしてもらいたい。</p>	意見シート

No.	質問・意見・要望	受付方法
34	様々なアイデアが並べられていて、全部実現できたら面白いだろうと思うが、そのへんの実現可能性をどう考えているのかが疑問。この先visionを実現していく道すじもある程度示していただけないと、このままおわるのではないかと不安が残る。	意見シート
35	“基本的な考え方”に疑問を感じます。区長はどのように考えられているのでしょうか。ビジョンができた後、それに基づいて区政が行われるのか、誰が計画するのか、誰がチェックするのか不明です。行政の中での位置づけを明確にしてください。	意見シート
36	保育園関係者による、保育園利用者のためのまとめになっている。子どものいない独身の納税者にも税金を還元してもらいたい。	はがき
37	今回の中間のまとめは、保育園関係者の既得権を守るためにつくったのではないか。お金のかかる要求ばかり並べ立てており、福祉予算を全部自分たちの思いどおりに使いたいというわがままな気持ちでつらぬかれている。高齢者は寿会館の風呂をなくされても、区がお金がないのでまんしている。医療費がかかるのは子どもより高齢者の方なのだから、あまりわがままばかり言わないで皆でゆずり合っていく気持ちをもってほしい。	はがき
38	保育園の父兄は、払っている税金以上の恩恵を受けているのに、まだお金をよこせというのか。こんな一部の人たちだけで税金を使うのは反対。いい加減にしろ。	はがき
39	保育園の民間委託は新行革の区民会議で決まったはずなのに、保育ビジョンの中で議論するのは筋違いな話だと思う。見直すのであれば新行革の区民会議に議題としてあげてから行うべきである。保育ビジョンの検討会は、その役割を超えている。高層建築の規制は都市計画の会議だと思うし、禁煙の問題は安全安心条例で歩きタバコの禁止区域を設けてやったと新聞にのっていた。何でもかんでも保育ビジョンの検討会で決めるのはおかしい。ビジョンなら将来像をまとめるだけでよい。	はがき
40	保育ビジョンは区の保育行政のあり方を示すはずなのに、個別の要望や具体的な方法まで決めてしまっている。これではビジョンではなく、要求や苦情の一覧表であり、区民共通のビジョンとはいえない。もっと大局的・長期的な立場からまとめないと、一般の区民はついていけない。要求した者勝ちになってしまう。ちゃんとした形でつくり直してほしい。	はがき
41	①「子どもを最優先するまち」を達成するためのあり様を、“保育園”“福祉”の側からだけ検討され、答申されるのはおかしい。 ②保育ビジョン策定委員が主に保育園の立場の人で構成されている。文京区には幼稚園や幼稚園に在園する幼児が保育園以上にいます。“保育機能の中核”が“保育園”とはいえません。文京区の子どもの保育のあり様を語る時、幼稚園のメンバーをはずしては考えられません。幼稚園と保育園が共に意見を出し合ってこそ、“文京の子どものあり様”が真に検討できると思います。委員の中に幼稚園教諭や幼稚園の保護者、PTAも是非加えてほしい。 ③答申内容がハードにかたよっている。子どもを優先するまちづくりをめざすのであれば、何よりもまず、“どんな子どもを育てるのか”という求める幼児像についてもっと検討を深め、明らかに明示してほしい。その上で、それを達成するために何が必要かを考えるべき。	はがき
42	・実効性の伴わない単なる夢の羅列のビジョンでは意味がないと思います。ぜひとも実現に向けた道を模索してください。それには、現状の把握と、的確なニーズ分析、人口動態の認識が不可欠になると思います。 ・働く親たちは「認証保育所」の増設を求めています。保育の質の伴わない保育所ばかりが増えても安心して働きません。多少の費用負担が増えたとしても、あくまでも質の伴う保育施設と、何よりも、質が高く、相応に処遇されている経験豊かな保育士さんたちが十分な人数いることが必要だと思います。それには、予算の確保が欠かせません。 ・箱もの行政は必要ありませんが、現状の保育園は、園庭も教室も狭いのが実情です。あいている幼稚園園舎を利用するなど、柔軟な対応を求めます。（なお、就学前児童すべてが対象になるといいながら、幼稚園関係者が今回のビジョン策定に関与していないのは片手落ちです。） ・今後のビジョンの実現遂行に際しては、ぜひとも保護者を含む一般区民の共同参画の道を確保してください。	メール
43	子育て環境をより充実させるために、区が先頭に立ち、保育ビジョンを策定することは良い試みであると思います。我が家は共働きのため、これまでに3人の子は、社会福祉法人運営の保育園を利用してきました。公設の園と比較した場合、はじめはサービス面での不安がありました。実際には公設園よりも融通が効き、対応も早く、サービス面では恵まれていると思います。育成室の民営化も保護者にとって良くなったという話を耳にしております。よって、今後も、区認可という形で良いので、民間の力も積極的に取り入れて、子どもたちのことを第一に考えたビジョンにして頂けたらと思います。	はがき



No.	質問・意見・要望	受付方法
-----	----------	------

■ はじめに・第Ⅰ・第Ⅱ・第Ⅲについて

No.	質問・意見・要望	受付方法
1	<p>「子どもを最優先するまち」このビジョン10文字に反感。特にセンターポジションをとっている3文字最・優・先に関しては疑問符！ 区民として存在する人間に等しく〈最優先〉してほしいし、それが筋では？？ 未だ結果として（周囲の大人のねがい、思い、期待はあれど）何も・何ひとつ区民・区に対して残していない、やっていない人間（子どもたち）に、最優先の恩恵を与えるのはいかかなものか。むしろ、文京区に区民として何十年も存在し、納税義務を果たし、区に貢献し続けている人間にこそ、その恩恵は提供されて然るべきではありませんか？！ 長年、何十年も区民として存在し、区の財政に貢献している人間こそ、本当の区民、結果を出している有難い人間でしょう。 子どもは未知、せつかく多大なる税をつかっても、何の財政貢献もせず、他所の人間になることもあり、文京区というふるさとの存在に何一つ貢献しないことも当然のことながら推測すべきでしょう。 子ども最優先はあやまり、さっかくでしょう。長年働いて貢献している功労者をもっと大切にすべきです！真に大切に有難い存在、区が区として存在していただける訳を、委員の方はもっと自然に考えるべき。</p>	はがき
2	<p>「子どもを最優先するまち」（1ページ）という表現について なぜ「子ども」だけが最優先されなければならないのか。「障害者」や「高齢者」は後回しでよいのか。どうして平等に尊重されなければならない区民の間に順位づけを行わなければならないのか疑問です。これでは到底全文京区民が共有すべき「文京区の」子育てビジョンであるとは言えない。将来を担う子どものことを考えることはよいと思うが、表現としては「子育てに優しいまち」とか「子育てを区民全体で見守るまち」ぐらいの表現で十分だと思う。</p>	メール
3	<p>「保育ビジョン作成の背景」にある「認証保育所の増設」を望む人が増えている・・・と言う文章には、違和感を感じた。認可ではなくあえて認証を求めるのはどうなのか？本当に調査を行なった上での「望む意見」なのか説明願いたい。</p>	はがき
4	<p>保育ビジョン作成の背景（3）就労支援の充実の必要性 「認証保育所の増設」、、、、などの充実を望む人が増えています。→なぜ「認証」保育所か。増えているとする根拠となるデータやアンケートがあれば出して欲しい。そうでなければビジョンとしてうたうのだから現在のところ一番保育の質が高いであろう「認可保育所」と書くべきではないか。この一文を根拠にして「認証保育所」を作るなどという政策を打ち出すつもりなのかと思ってしまう。絶対に削除して欲しい。</p>	メール
5	<p>文京区では、なぜ子どもを最優先するまちをめざすのですか。寿会館の廃止や介護保険料の値上げなどは冷たい仕打ちです。子どもだけにお金を使うのではなく、高齢者や障害者にも目をむけてください。</p>	はがき

■ Visoin1「子どもの育ちを見通した豊かな乳幼児期の保障」について

No.	質問・意見・要望	受付方法
1	<p>6頁「公園を遊びとふれあいの場にしていく」に公園の整備という項目があるが、現実的には、公園の数を減らしているのでは。また、はらっぱ型のスペースを設ける、という具体的な中身を知りたい。</p>	説明会
2	<p>「公園を遊びとふれあいの場にしていく」をモットーにしているが、新大塚公園の問題など、公園は少なくなってしまうと聞く。保育園の散歩コースにもなっている公園が無くなる、茗荷谷周辺の桜の木が伐採されてしまう。それでこんないいことをうたっているのか、と思った。</p>	説明会
3	<p>公園が減らされている現状がある。ふやしたり、なくす園の代替案が明らかにされていないのに、“公園の整備・改良”と示されている。現実をもっとみてほしい。</p>	はがき
4	<p>公園について（須藤公園の現状） 犬をはなしている人がいる。ゴルフの練習をしている人がいる。具体的な対策が必要。</p>	はがき

No.	質問・意見・要望	受付方法
5	公園の整備・改良を議論するより、まず公園の廃止を撤回する方が先です！公園の絶対数が減っては、残る公園を多少改良しても、マイナスの方が遥かに大きいはずです。ウチの3歳の子供は新大塚公園が大好きですが、こういう子供に、大好きな公園はなくなってしまふ、そこに今は別のところにある学校が引っ越してくる、その学校の跡地は子供に全然関係ない建物（マンション？オフィスビル？）が建つ、なんていう無茶苦茶な話を、いったいどうやって説明しろというのですか？ビジョンに書かれているような方針で、本気で公園を整備するというのなら、どうせつぶす公園なのだから新大塚公園の既存施設をグラウンド含めて全部潰して「はらっぱ型」の公園に作り直すくらいの気合を区側に見せて欲しい。	メール
6	公園をより良いものにしてゆきたい、というのは賛成ですが、それより現在ある公園の廃止を撤回させることの方が先決だと思います。今ある公園を維持する、というの、是非ビジョンに入れていただきたいと思います。だいたい、いまだ公園を減らそうなんていう素っ頓狂な計画が真顔で進められている区は23区内でも数少ないはずで（たぶん文京区だけ）、選挙を控えた区長の見識を問いたいです。	メール
7	「公園の整備・改良」（6ページ）について 公園は区民全体の財産であり、子どもだけが排他的・独善的に使用できるものではありません。高齢者が増えているのは明らかですので、むしろ、高齢者が筋トレできるようなものも必要になってくると思います。あまり「子ども」ばかり強調すると、子育て世帯以外の大多数の区民の共感は得られないのではないかと。また、公園の近くの人ですでに公園の自主管理を行っているので、子育て世帯の人たちもこうした活動に積極的に関わることで、地域とのかかわりを大切にしたいと思っています。	メール
8	母子家庭の助成金がカットされたり、定率減税廃止など、子育てにはますます厳しい現実がやって参ります。家族形態も変化していく中で、共働きが当たり前になり、子どもが孤立しがちになってきますが、保育園がそれを補えるかといえば答えはノーです。保育というと単純に子どもに関わる施設に資金投入しがちですが、やはり核家族化が当然の時代にあつては、社会的な広範囲な視野に立って、極力他人任せにしない、特に子育てを商業的ペースに巻き込まないことなども肝要と存じます。町内の老人との接点を設けてみるのも一役となると思います。	はがき
9	かつての地域社会では、子どもたちは親や先生ばかりでなく、近隣の大人たちに「ほめられ」「はげまされ」「叱られ」「教えられ」て育ちました。子育ては家庭や学校教育の改善、保育施設の充足ばかりでなく、住みよい街づくりに対する大人社会の意識改革こそ大切と考えます。「うっかり注意できない」大人たち、「よその大人はこわい」と思う子どもたちの社会は不幸です。保育ビジョン策定についてぜひ上記視点を盛り込み、「ほめ方、叱り方」上手のセミナーやキャンペーンを具体策に取り入れ、「ありがとう」が交わされる地域社会を目指してください。	はがき
10	I-1 (2) について 統廃合によって産出する広大な土地を、公園にしたりする努力が必要。安易にマンション団地にはしないよう。	はがき
11	I-5について 取り組む職場に対して、予算や病児保育施設の設置。その保育士・看護師をあっせんしたりする事が必要。旗ふってガンバレというだけでは何もならない。	はがき
12	文京区には、行政としてビジョンI3-4にある「まちの環境整備—長期的な視点から子どもの安全安心な育ちを保障する」を目に見える形で実行してほしい。それは道路を整備してガードレールをつけることではなく、子どもが育つ街なみを保存することである。ゼネコン偏重の建築ではなく、古い家、歴史のある公園や樹木の保存である。今の区長は新しいものをつくることに偏っている。今あるものは、壊してしまえば、そこにあった歴史もなくなってしまふ。今の区に欠けているのは、落ち着いた安心感。子どもに必要なのは、のびのびと遊べる環境である。無理な小中の統廃合計画などもビジョンの検討に入れてほしい。管轄違いで扱われなければ、結局このビジョンも無になってしまう。	はがき
13	「高層建築規制などを中心とした都市計画のあり方の検討」とありますが、土地の高い都心にある文京区ではある程度高度利用もやむを得ないと思います。現実に高層マンションで子育てしている家庭も多くいます。また、防災の観点からも木造が建て込んでいる地域の対応は必要と思います。もっと文京区全体を見据えたまちづくりの視点を持つべきではないでしょうか。	メール
14	食品添加物、メディア、生活リズムなど、家庭にあった提案、指針のような、戻れる場所がほしい（本などを参考にしているが、かたよりがでてしまっているように思う為）。	意見シート

No.	質問・意見・要望	受付方法
15	私は私立幼稚園5年、社会福祉法人の保育園で10年働いているものです。 (3-3) 子どもたちが豊かに育ちあう場としての保育園を守っていくという所で、“区立保育園は子どもたちがゆたかに育ちあう場を提供しています”とありますが、私が働いている社会福祉法人の園でも子ども達一人ひとりの事を考え、豊かに成長できるように職員は努力しています。ですので、この場で“区立保育園”とだけ書くのではなく、社会福祉法人も含めた書き方をしていただきたいと思います。区立保育園だけでなく、社会福祉法人園も文京区の大きな財産ではないかと思えます。	はがき

■ Visoin2 「子育て支援・親の支援」について

No.	質問・意見・要望	受付方法
1	10ページの窓口の一元化の中身を、もう少し説明してほしい。地域保育士やファミリーソーシャルワーカーについて、具体的にどのようなことを考えているのか。	説明会
2	ビジョン2の目標3の協働・協治。ここでうたわれている内容は、これまで議論されてきた協働・協治とはかなり違う内容で違和感がある。ワーキンググループのまとめの文章を読むと、ここに書いてある協働・協治とはかなり違う協働・協治が書いてあって、どうしてまとめの文章をつくる時に変わってしまったのか疑問。その内容について委員がオーソライズしているのかが気になる。	説明会
3	協働・協治について 協働・協治についての記載 (vision2 目標3) が、これまで言われていた協働・協治から変質してきている。中身が 5 項目ぐらい書いてあるが、修飾として動詞だけ並べると、 + 連携を強め、地域割りを見直します + ネットワーク化をすすめ、サービスの委託を行う + 子育て活動団体の自主的な活動を支援 + 話し合える場を設け、子育て支援の輪を広げる。情報を共有し、信頼できる関係づくりをすすめる。 + NPOへの計画的かつ継続的な支援の開始 となっている。これが、「区民との協働・協治」でしょうか？PDF版でついているWGでの議論内容とも乖離しているように見えます。37ページ(4)、39ページ(5)の議論内容などを参照。	メール
4	13頁「施設の整備」に、大型施設の整備とあるが、これは新たにつくると捉えてよいのか。なぜ大型施設が必要なのか。小さなものがあちこちにある方が子育てには必要ではないかと思う。保育園に入れていないお母さんからは、気軽に行けるところ、という声をよく聞く。いくら交通の便がいい文京区であっても、あえてこれを出してきたところが、この説明ではわかりにくい。	説明会
5	施設の整備について。大型施設の整備を考えていこうというところで、それは時間もかかるので、代替的に国や都の関連機関の誘致を進める、というご説明だったが、直感的に関連機関の誘致を進める方がよほど時間がかかるのではないかという気がする。代替手段にはならないのではないかと思うがいかがか。 14頁に2行だけある内容が、今あるものをどう使っていくか、ということで、時間もコストもかからない部分。バランスとして、お金のかかることに集中していて、本当にやるべきことがたった2行なのはおかしいのではないか。 相談窓口が一元化されるのは非常にありがたいが、相談して使わせてもらうサービスは、どこか区に1か所ある大きな施設にあるというよりは、地域にないと使えないと思う。窓口の一元化の議論とサービスを提供する場の一元化の議論はまったく別で、後者は、時間・お金がかかって、結局使い勝手のよくないものになってしまうのではないかという懸念をもっている。	説明会
6	大型施設について。こういうサービスは必要で、センター機能的なものがあり、なるべく1か所で利用できるというとは思いますが、ハコをつくらないとサービスを受けられない、ハコがないからサービスはできない、というのは逆転している。また、まず大型施設があって、あまったら、従来からある子育てのための施設の整備もした方がいい、という書き方になっているが、これは逆だと思ふ。まずはサービス機能が使いやすいといい。区役所の会議室や図書館など、小さい子どもがいっしょに集まれるような整備を考えるのはいいと思うが、大型施設ありきというのは違和感がある。大型施設のサービスは必要だが、ハコがないとできない、でなく、まずサービスを充実した方がうれしい。 国や都の関連施設の誘致を進める、とある。都の児童館は老朽化しているので建て替えもあるかもしれない。東部医療センターは、東部療育センターのことか？これは重症心身障害児の施設であり、誘致を進めるというのはアイデアかもしれないが、順番としては最後だと思う。	説明会

No.	質問・意見・要望	受付方法
7	<p>ビジョン2の施設の整備について。大型施設の整備を考えていこうというところで、それは時間もかかるので、代替的に国や都の関連機関の誘致を進める、というご説明だったが、直感的に関連機関の誘致を進める方がよほど時間がかかるのではないかという気がする。代替手段にはならないのではないかと思うがいかがか。</p> <p>14頁に2行だけある内容が、今あるものをどう使っていくか、ということで、時間もコストもかからない部分。バランスとして、お金のかかることに集中していて、本当にやるべきことがたった2行なのはおかしいのではないか。</p> <p>相談窓口が一元化されるのは非常にありがたいが、相談して使わせてもらうサービスは、どこか区に1か所ある大きな施設にあるというよりは、地域にないと使えないと思う。窓口の一元化の議論とサービスを提供する場の一元化の議論はまったく別で、後者は、時間・お金がかかって、結局使い勝手のよくないものになってしまうのではないかという懸念をもっている。</p>	説明会
8	<p>大型施設の建設が検討されていますが、ハコの建設にかかる費用よりも、サービスの充実にお金をかけていただきたい。文京区でもその施設に近い人ばかりでなく、メリットを享受しづらい。医療体制、保育園の受け入れ体制、親の就労支援など、（施設への移動をしなくても）区民として誰もが享受できるシステムづくりを優先してほしいです。</p>	はがき
9	<p>「大型施設の整備」は新たにつくるのか、現実の施設を活用できるようにするのか、不明確である。新たに作ることに疑問がある。</p>	はがき
10	<p>大型施設の整備が必要なのかも疑問。区内でアクセスしやすい・・・などであっても、所詮、交通機関を使って行かなくては無理な場所では、利用者は限られる。小さな子どもを連れて、電車やバスに乗るだけでも大変なのに、日常的に通うなど考えられない。窓口が一本化されるのはいいが、日常的施設が一本化されるのは困る。「従来からある子育て施設も充実・整備を進めていく必要・・・」ということもほうが、より身近で具体化しやすいはず。</p> <p>是非、今回集まった意見を踏まえ、委員会を継続して欲しい。早急な結論を出しても、絵に描いた餅になってしまっただけでは意味がない。せつかく、委員の皆さんが時間と労力を費やし協議しているものであるからこそ、実りあるものになることを望む。</p>	はがき
11	<p>何か（特に大型施設）をつくりたいというように受け取れる箇所がいくつか見当たる。予算を確保されていると聞いてないが、現実的になるのか？シビックセンターそのものの建設だけでも、区民にしわ寄せがきているのに、それ以上に負担がかかると非常に困惑する。</p>	メール
12	<p>大型施設の建設の必要性について</p> <p>現段階で、大型施設を区内に建設するよりは、なお書きにもあるように、従来からある施設を充実整備し、あるいは現在児童を対象とはしない施設を整備して子育て支援に活用できるようにしたほうが実効性があると思います。どんなにすばらしい施設であっても、実際に小さな子供をつれて乗り物を使って利用することは大変困難です。必要とされるのは、身近にあって、多機能の使いやすい施設ではないでしょうか。もちろん、この大型施設で提供すると提案されたサービスについては実施する必要があるとしても、それと、大型施設を建設することは別の問題だと思います。あたかも、大型施設を建設しなければ上記サービスが実施できないとすれば、かえって、子育て支援サービスの充実を遅らせることになりかねません。さらに、文京区の財政状況を鑑みれば、大きな建物をこれ以上建設することはよほど慎重に検討すべきだと思います。</p> <p>また、国や、都の施設の誘致については、相手方から要望があればともかく、区に求められる機能を考慮すれば、そんなに優先度が高いとは考えられません。そのような施設は広大な敷地を要するので、それだけの場所があれば、他の施策との比較の上で、利用方法を検討すべきでしょう。</p>	メール
13	<p>「大型施設の整備」(vision2 目標5)</p> <p>何で箱物行政が出てくるのか、理解できません。将来にわたって区財政に一定の負担を及ぼす大型施設の整備については、極めて慎重に議論すべきと考える。区内の交通機関の接続形態を考えても、どこか1箇所に大型設備を整備することで、区内どこからもアクセスが容易で小さな子どもを連れての移動が便利な施設にはならない。例えば、緊急一時保育などは、公共交通を使わなければいけないような場所では不十分。</p>	メール
14	<p>6. 施設の整備 (1) 大型施設の整備</p> <p>大型施設の必要性が理解できない。文京区は下町方面から山の手方面へのアクセスが悪く（今度バスが通る少しは良くなりますが）たとえば区役所方面に大型施設ができて少しも子育て支援になるとは思えないし、行かない。子育て支援施設は近所であって、アクセスが良く、地域とつながっているからこそ有効に働くとするので、大型施設などは全く必要がないのではないか。何億もかけて大型施設を作るより、子育て支援の専門の職員を何人か雇う方がよっぽど有効に機能すると思う。子育てひろば、地域の交流館など既存の施設を拡充する方向で考えた方が無駄な税金が使われずに済むと思う。</p>	メール

No.	質問・意見・要望	受付方法
15	「施設の整備」として「大型施設の整備」とあるが、新たに大型施設を整備することはいかがか。ハコモノを新たに作ることにお金（税金）をかけるのではなく、現在あるサービスを有機的に結びつけ、必要なサービスを的確に提供できるような「ソフト」を構築することが一番必要だし、現実的なのではないか。ネットワークは大きく、施設は身近に、というほうが「地域を巻き込んだ子育て」には近道になるのではないか。	メール
16	ショートステイについて。ショートステイの需要は非常に少ないし、使わない方がいいと思うが、必要なときに使えないというのは、逆に非常に不安が高い。現状でいえば、親が入院したときや、子どもの入院の場合も小児科病棟は親がつきそうように、ということが多く、兄弟がいたらどうなるか。祖父母も働いていたり、その親の介護という場合もある。安心して子どもを育てるためには、万一のときにはいつでもバックアップします、ということがあると、大丈夫だと、負担感がものすごく小さくなると思う。もし今、文京区の子どもがショートステイが必要になった場合、0～1歳だと乳児院に措置になるが、乳児院は都内にいくつもないし、どこも満員。どうしてもという場合には町田、東青梅、ということもある。2歳以上だと石神井か立川で、満杯だったら足立、八王子という場合もある。これでは安心して、とはいえないと思う。 「区の事業としてショートステイの実施を検討していく」では、ずっと先の話に思える。区内に乳児院や養護施設があればベッドを借り上げればよいが、施設がない文京区で具体的にどうしていくか。難しい問題と思うが、実施を検討でなく、すぐにでも実施できる、という施策を何とか考えていただければ、今子育てしているお母さんたちの重荷を軽くすることができ、それだけ文京区が本気であることがよくわかると思う。	説明会
17	ショートステイの早期実施について まとめでは「実施を検討していく」とありますが、すぐにでも実施すべき事業だと思えます。現状では、主たる養育者、特に母親は、病気になっても十分療養できず、入院することもできない事例もあります。家族の病気等ばかりでなく、二人以上の子供がいて一人が入院した場合、家族の付き添いを求める病院も多く、その際子供の病気以外にも保護者に多大な負担がかかります。安心して子育てするためには、万一の場合の保障が必要で、例え数は少なくとも是非早急に事業を実施してください。 実施方法としては、独立した施設を設置できなくても、取りあえず、区外の施設との契約、区内の日中保育施設（保育ママ等を含む）のサービスの拡大、子供の自宅への保育者の派遣等々考えられます。	メール
18	ショートステイ（短期間の24時間保育）（vision 2目標4） ショートステイを24時間保育でおこなわなければならない理由、またコストとベネフィットのつりあいがわからない。個人的には区の事業として行う必要はない、と考える。	メール
19	私は9歳、4歳、3歳の3人の子どもを育てている。一番上の子を育てているときシングルマザーだった。当時つきあっていた人にDVにあい、保育園関係には相談できず、区役所の福祉課等、いろいろ相談できる場所を訪れたが、たらいまわしだった。結局、男女平等センターのカウンセリングルームで相談をしたが、その後もDVは収まらず、最終的には相手は警察に逮捕されてしまった。そのとき、娘はそういう事件があったにもかかわらず保育園に行きたがり、私は事情聴取があり、仕事も24時間体制のフリーのために1度断ると2～3か月は入ってこないし営業もしないといけない、とパニックになってしまうという状態が娘が5歳になるまで続いた。 今は結婚しているが、下の4歳、3歳の子が熱を出したりすると、どうしても仕事を休まないといけない。フリーが仕事を休む際は代役が必要で、その代役との打ち合わせに行かなければならない。文京区は病後児保育の施設が少なく、いつ問い合わせても利用できず、結局、茨城の離れた実家から母を呼んで見てもらう、という手段になってしまう。病後児保育ができるところがあるといいな、と思う。	説明会
20	他区に比べ、一時保育をする施設が少ないと思います。フルタイムで働いているお母様方以外にも、保育園に預けられるような支援をお願いします。	はがき
21	私は現在のところ主婦として育児をいたしております。数年前、流産のため緊急入院する際に、当時の「目白台緊急一時保育所」に3歳の子どもを預けましたが、職員不足のため、午前中に誰かが迎えに来るように言われました。私共夫婦は地方から大学進学で上京し、その後文京区に住所を定めましたので、大切な子どもを託せるほど信頼できて、かつ時間の余裕のある知人は近くにおりません。だからこそ、公的施設に頼むしかなくて連絡しているのに、何のために高い住民税を払っているのかと、流産の悲しみと合わせ、涙が止まらないほどの情けない思いを致しました。結局、夫が職場を午後早い時間に早退することができ、職員の方も待っていてくださったので、本当にありがたいことでした。 2006年秋から、同所は「目白台一時保育所」となり、職員の方々の体制は整いましたが、「利用日の3日・までに書面で利用申請」「利用時間は4時間または8時間の固定制」と、非常に使いにくいシステムになっています。親の通院やそれこそ流産等の緊急時に役に立ちません。せめて「利用当日までに利用申請」にするなど、改善をお願いいたします。	はがき
22	産後の主婦に介護保険からヘルパーを派遣してください。特に核家族で体のあまり丈夫でない人をお願いします。	はがき

No.	質問・意見・要望	受付方法
23	理想的な目標が掲げられているが、それでは目標を実現するために実際何をするのか、というところまで話が進んでいないので、実現はまだまだ先のことになりそうだと思ってしまう。公園や保育園を充実させる試みは期待できるし、現在行われている公立幼稚園の園庭開放や児童館・図書館の幼児教室には私も大いに助けられている。ただ、乳幼児をもつ母親は、外出するのも困難であることも考慮に入れてほしい。離乳食やお昼寝等のタイミングがうまく合わないと、外遊びもできずに家にこもってしまう。この“母子カプセル”を解消できる支援も考えてほしい。	はがき
24	母親学級を土日開催してほしい。	はがき
25	夜7～8時くらいまで開いている産婦人科医院を地域に1つは設置してほしい。	はがき
26	施設の整備として、年長児には安全な遊具がそろった公園を、赤ちゃん世代にはスウェーデン方式ともいわれる子育てシェルターを作ると、親同士の交流も深められ、孤独な子育てをしている親子の心のよりどころとなるのではないのでしょうか。ポーネルドが安全性にも優れていると感じます。	はがき
27	「NPOや市民活動団体を支援」(vision 2 目標3) NPOや市民活動団体にも、ピンからキリまであって、しかも制度的に質や客観的な評価が担保されているわけでもないと考える。NPOだから、という理由で支援するのは、おかしいのではないかと。どう評価するかが、重要と考える。また、ここでいうNPOは、広義のNPOなのか(であれば、保育園の父母会も該当)それとも、NPO法人のことなのか不明。なぜ、NPOを支援するのか、論じてください。	メール
28	vision2 子育て支援・親の支援 将来像のなかにある、「子どもの幸せを支援することは、決して親の利便を優先することではありません」という一文は、親自身、忙しい生活の中で楽なことを考えがちで、ふと忘れてしまうのですがとっても大事なことだと思うのでもっと強調していただきたい。そして、区としても「多様なニーズに応えるという」ということを理由に親の利便だけを考えた政策を決めてしまう傾向があるので、「子どもの幸せを最優先する」ことを忘れないでいただきたい。 目標(2)は保健所をもっと有効に活用できないか。保健師の方などフットワークも軽く専門職員としても適していると思う。	メール
29	4. 養育サポートの充実 「子育てひろばの拡充」 利用した経験から、利用が時間がもう少し長く、4時くらいまであいてると良いと思う。児童館などでやっているような「ふれあい遊び」といったイベントのようなものも行われると良いと思う。アクセスが悪い人もいるのでもう少し数が増えるとよい。	メール
30	病児看護休暇を会社が与えることも重要ですが、病児保育施設をもっと用意して頂きたいと思います。	メール
31	家庭で保育していると、他の子どもたちとの接触、遊びが少なく、これでよいのかと不安に思ってしまう。子どもどうしのフレアイの場、もまれる場を提供してあげたいが、子どもにとって良い、あう方法がわからなくて、悩んでしまうことがある。子どもとずっと一緒にいたい、につまってしまうことがある。	意見シート
32	幼稚園、保育園に通園していない子どもの定期的に集まれる場所を増やしてほしい(定員制の為入れないこともある為)。	意見シート
33	大型施設の整備と書いてあるが、ゼネコンと癒着したハコ物行政はごめんこうむる。そんな金があるなら障害者や高齢者のためにもっと使ってほしい。だいいちゼロ歳児の保育には1人当たり何百万円かかっているのか明らかにしてから話しを進めてもらいたい。税金は区民に公平に使ってほしい。	はがき

### ■ Vision 3 「親の就労・多様な働き方の支援」について

No.	質問・意見・要望	受付方法
1	ビジョン3の将来像の文章の中に「再び社会に参加できる道を開く」とある。子育てをしていると社会に参加していない、という文章になっているが、それはありえないと思う。子育てしていても社会に参加していると思うが、そういう議論があったのかどうか、非常に疑問。	説明会
2	働く妊婦・母親への支援をより充実させていただきたいです。	はがき
3	III-1 ①育休中の看護師や保育士が、本格的に職場復帰する前のトレーニングとして、病児ルームや保育ママ、学童保育等への短時間パートとしての雇用はどうか。 ②たとえば、準保育士などの育成を区が行う。	はがき
4	親の就労・多様な生き方の支援 今の社会では、女性が男性と同じように働くと、子どもを誰がみるのか。10年後、将来像のようになると思えるといいが、変わると思えないのはなぜか。	はがき

No.	質問・意見・要望	受付方法
5	<p>vision3はとても大事だと思う。母親の孤立感や不安感といったものが一番強いのが未就園児の保護者だと思う。しかし、保育園や幼稚園に通わせていけばその保護者は育児に対する悩みがないのか、子育ては困難でなくなったのかと言えばそうではないであろう。保育園にしろ、幼稚園にしろ、平日（中に週末も）は育児のほとんどを母親がみているといった状況が改善されなければ 母親の負担感といったものは減らないのではないかと。たとえ将来的に保育園の数が増えて希望する人がみな入所できたとしても今の働き方が見直されなければ子育ての困難な状況はいつこうに改善されない。現在の長時間労働が是正され、女性も男性も家庭責任を果たせるような社会に変えていかなければ子育てしやすいまち、社会にはならない。区単独では限界がある項目だが、子育て支援のためには絶対に欠かすことのできない項目であると思われる。</p> <p>労働者が安心して働ける社会を作ること、安心して子育てをできる社会だと思うのでその観点から以下の要求も入れていただければと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・短時間勤務制度のさらなる拡充。</li> <li>・短時間労働＝パートという位置づけをなくし、同一価値労働同一賃金の原則を徹底する。</li> <li>・これから子供を持つ人たちのために、不安定雇用者を減らす。</li> </ul>	メール

#### ■ Visoin4 「保育機能の中核としての保育園」について

No.	質問・意見・要望	受付方法
1	<p>ビジョン4「保育機能の中核としての保育園」に、「保育園に入っていないと就労できない、就労していないと保育園に申し込みできない、という悪循環を絶つ」、とあるが、そうすると幼稚園と保育園の差は何なのか、ということに議論がいくと思う。ビジョン策定検討委員会が始まる前の説明会でも、なぜ今回、幼稚園が議論の対象にならないのか、という質問があったと思うが、いよいよ幼稚園もある程度視野に入れていかないといけないのではないかと。保育園に期待される機能がどんどん増えている一方で、文京区の公設の保育園は地域的な分布に偏りがあるし、人員面・施設面でもリソースに限りがある。その中で、これだけいろいろな機能を盛り込んでいくときに、保育園だけを対象としていって本当にできるのかが疑問。文京子ども園については、やはり中長期的な問題で時間がかかるだろうから、その間どうするかについて何らかのアイデアが示されないと、結局絵に描いた餅になってしまう。</p>	説明会
2	<p>文京区で育ち、子ども2人を育てた。その際、保育園には大変お世話になり、保育園が単なる預け業ではなく、親への支援も基本にしていることを実感した。私が子育てをした25年、30年前は、働いている親以外は入れなかったもので、逆にこういうサービスを働いている親だけが独占してよいのかと思った。保育のベテランである保育士に子どもの育て方について、子どもの毎日をみてもらいながらアドバイスしていただけたことはありがたかった。</p> <p>保育園を子育て支援の場とする発想は大変よいことだと思う。親たちも望んでいる。文京区は子育てがしやすい、教育環境がいいということで転入者も増えていると思うので、区のやっているよい試みを外に発信することで、区の人口も維持・発展できるのではないかと。こういう方向はいいことだと思う。安ければいい、という発想で保育園を運営したために大混乱、という区もあることを知っているの、そこところは維持してもらいたい。</p>	説明会
3	<p>利用者の視点に立ったサービスをすすめるなら、働く/働こうとしている母親の要望をもっと汲み取ってください。出産のため退職しなければならなかった人が、出産後就職しようとして一番困っているのは、就職してからでないかと公立保育園に入れられないことです。そのため認可外に入れざるを得ないのです。働きはじめてから申請がやっとでき、次の4月から入園できればラッキーな方。預ける側にとって兄弟等がいた場合、同じ保育園でなければ預けられません。公務員は出産後、育児休暇をとるのは簡単ですが、私企業に勤める人は休暇後も働き続けられる保障はないのです。目標を掲げるのはけっこうですが、その・に現状を早くなんとかしてください。まず「申請すればすぐ保育園に入れられる」体制をつくって下さい！</p>	はがき
4	<p>希望すれば保育園に入園できる体制をめざす。早期実現を！！</p>	はがき
5	<p>保育園は入園する条件をゆるめるべきです。例えば、アルバイトの母親は、1日4時間しか働かないので子どもが入園できない。0～3歳の小さい子どもをもつ母親には厳しすぎる条件でした。母親の1日4時間のバイトでも、社会に大きな貢献です！これからの高齢化社会に欠かせない労働力です。主婦自身も社会に進出した方が子育てにプラスが多くて、孤立の防止にもなります。その上に、経済の面でも少し楽になります。</p>	はがき
6	<p>働き方が多様化したとはいえ、それがまっすぐ「認証保育所の増設」という要望につながっていないと考える。まずは区立保育園が増やされることであり、その保育園が様々な保育要求を受け入れる母体となった方がよい。職員は区職員であることも明記してほしい。</p>	はがき
7	<p>ビジョンに書かれていないので安心しましたが、他区などで行っている保育園の民間委託は絶対行わないでください。区が区立としてしっかり運営してください。お願いします。</p>	はがき



No.	質問・意見・要望	受付方法
8	<p>保育ビジョンに本来必要な大きな論点にまったく触れられていないことに違和感を覚えます。それは「区立保育園の民営化」です。</p> <p>「新行財政改革推進計画」において議論されてきたものですが、今回の委員会報告では「論点としてすら」記載されていないようです。たとえ一部の区民による反対があったとしても、文京区で保育ビジョンの議論をするときに「区立保育園の民営化」にまったく言及しないという態度は、行財政改革に対する区当局の決意を疑わせるものです。コスト意識のない委員会がまとめた、誰からも反対されない奇麗事だらけの「中間のまとめ」に多くの区民の支持が集まるはずはありません。是非とも、民営化についての前向きな記述を追加して頂きますようお願いしております。</p>	はがき
9	<p>保育園の質については、ぜひお金と労力をかけて保ち、維持向上させていく必要があると考えます。保育士さんの教育や、意欲の増進に努める、保育士さんの経験を生かすような人事的な制度も必要と考えます。</p> <p>保育を担当してくれる人への信頼がなくては、保育業は成り立ちません。ハード面のみならず、ソフトの面もぜひ重点を置いてほしいと、親の1人として希望します。効率や経済的効果も大切ですが、それで切り捨てられてしまう面についてあるのでは、と今後の方向について危惧しています。</p>	はがき
10	<p>どんなに立派なビジョンがあっても、それを受け入れる場（保育園）がなくては話になりません。子供が今いて働く事を諦めている人がどれだけいるか、現状の改善（待機児童、延長枠等）を早急に願う日々です。</p> <p>そして地域での子育てをビジョンとするならば、保育園として区切らず、育成室のない4年生の受入れを夕方5時以降にするなど広い視野で考慮するべきだと思います（園で5時頃までお迎えに来る人もいるので不可能ではないと考えます）。</p> <p>保育園、育成室に預けて、お迎えが2～3か所になったり、自宅に高学年の子が待つ親が悩んでいる現実をもっと知っていただきたくて書かせていただきました。将来の区の子育てが、よりよくなる事を願いながらも、それまで待てない私は来年退職する予定です。</p>	はがき
11	<p>保育料は値上げしないでください。税金や保険料が上がって大変です。</p>	はがき
12	<p>ビジョン4の4（2）、保育園のクラス人数を減らしゆとりを持たせるのは結構だと思いますが、その・に待機児童を解消するようにお願いします。</p>	はがき
13	<p>保育ビジョン策定検討委員の皆様、中間のまとめの作成お疲れ様でした。「夢」が盛りだくさんで、本当にこの通りの将来像が実現したらすばらしいと思いましたが、いくつか気がついた点について意見を述べさせていただきます。</p> <p>1. 「保育の質の維持向上」に関する項目を独立させてください。</p> <p>現状では「保育園の機能を高めるための方策」の中に散見されるのと、Vの「実現の推進に向けて」に指針の策定についての記述が見られます。Vにあるのはいいとしても、保育の質は、公立保育園に限らず、幼稚園、これから登場するであろう認定こども園、認証保育所などすべての施設において保たれるべき重要な項目です。すでに保育園に関しては、第三者評価のための国や都の「基準」が示されており、幼稚園にも自己評価の制度があり、また認定こども園も評価基準策定の動きがあると聞きます。こうしたものに準じてもいいし、あるいは文京区独自に、区ならではの保育の質の指標化、基準の明確化をまずは行うべきでしょう。そのうえで、自己評価、利用者アンケート、第三者の専門家による実地調査など、必ずしも現在ある第三者評価制度でなくても、できる範囲で現在の質を評価する。そして改善する。目標を立てる。次世代に継承する。そういうしくみを整える必要があると思います。ビジョンとしてどこかに「保育の質の維持向上」を高らかにうたっておく必要があると思いました。それは保育園だけに限ったことではないので、ビジョン4の保育園の項に入るものではないと思います。</p>	メール
14	<p>2. 「第三者支援体制の構築」の項目の追加を</p> <p>前記の保育の質にかかわりますが、すでに3年前と現在では、人員削減の影響で公立保育園の保育の質が低下しているとも言われています。応急処置的に導入された人材派遣保育士はどう評価されているのか。あるいは「柳町こどもの森」の保育の質はどうなのか。あるいは、保育士の入れ替わりが多いという公設民営園や認証保育所の保育はどうなっているのか。P C D Aサイクルを促進するためのしくみが必要です。どのような支援体制が文京区として望ましいかを検討することも必要です。そしてそれは、公立保育園保護者と区のこれまでの協議の中での合意事項であったはずですが、検討する場を設ける、という文言もどこかに入れてほしいです。</p>	メール



No.	質問・意見・要望	受付方法
15	<p>3. その他、慎重に検討したい項目、になると思いますが、「既存の保育園・幼稚園の改革の必要が生じた場合、客観的事実に基づく明確な理念、目的を提示して利用者と協議の場を持ち、十分な合意形成のもとで進める」といった項目をたてていただきたいと思います。</p> <p>区長はじめ現在の区の方々はお忘れになったようですが、区と公立保育園保護者が平成16年から約2年間、45回もの会合（通称「あり検」）を重ねたことはまぎれもない事実です。そこでは、客観的データに基づくシミュレーションで、民営化によるコスト削減効果はないこと、団塊の世代の保育士退職により、改革をしなくても今後20年、コストは右肩下がりの傾向にあること、むしろそれによる保育ノウハウの断絶が懸念されることがわかりました。横浜における保育園民営化に関する裁判では、行政側の主張する「多様なニーズにこたえる」は理由にならず、保護者との合意形成が十分にされない拙速な民営化は違法との判決が出ています。あり検で行った他自治体における民営化園の視察では、「成功」の鍵は保護者の合意と協力であることも明らかになりました。</p> <p>民営化は改革の一手法に過ぎません。今後、保育士の人数の削減、認定こども園の設置といった幼稚園の改革も、必ず課題にあがってくると思います。行政と利用者（区民）の協働は欠かせません。ぜひとも、ビジョンの中に盛り込んでいただきますよう、よろしくお願い致します。</p> <p>以上長文となりましたが、ご参考にしていただけたら幸いです。よりよい「まとめ」になることを期待しております。</p>	メール
16	<p>vision4 保育機能の中核としての保育園  「保育園はすべての子どもたち、あらゆる子育て家庭にひらかれた保育拠点となります。」とあるが、幼稚園に通う子ども、家庭をどう取り込んでいくのか。ここに挙げられた方法では取り込みは困難と思う。</p> <p>また、子育て相談や緊急一時保育も何でもかんでも保育園へという流れにも危惧を感じる。これはそれに対応する人員、物的スペースがちゃんと補充されるということが大前提となると思う。個人的には、保育園にも一日、一週間、一ヶ月単位で保育の流れや行事があると思うので、一時保育所と通常の保育所は別にした方がよいのではないかと考える。狭い園舎で緊急一時の子のためのスペースも格段あるわけではないのにかかなり無理がある事業だと思っている。</p> <p>区がすすめている保育園政策と全く相容れないと感じるvision4であるが、安易な実現（認証保育所増設、公立保育園の民営化など）にならないよう望む。</p> <p>区立幼稚園での預かり保育の実施は検討されていないが可能性はないのか。</p>	メール
17	<p>本駒込南保育園・5歳児クラスに子どもを通わせている保護者です。先日、日頃はあまり会うことのない、他のクラスの保護者のかた数名と、保育について話をする機会がありました。その中に、二人目を生むことに対しての不安について話をされているお母さんがいたのですが、そのときの数名での結論は、「保育園の力を借りれば、二人目・三人目がいても大丈夫！」ということでした。子どもたちは、家の中では「一人」かもしれませんが、保育園では「大勢のお兄さん・お姉さん、弟・妹」に囲まれている大家族の一員なのです。自分よりも年上の子どもたちを見ていつかは自分もあんなふうになろうと憧れ、自分よりも年下の子どもたちには、自分がこれまでしてもらったように親切にしようと思う、そういう気持がわずか1歳児クラスの子どものにも生まれる、そういう素晴らしい教育が作為なくなされる場、それが今の保育園の果たしている「子どものため」の役割であると思います。保育園というと、いきおい親の就労支援という観点から語られがちですが、子どもの育ちにとって、これは大きな財産です。子どもの育ちを定量的に測定することは難しい(*)というのは分かりますが、効率優先でそういったことがないがしろにされることがないよう、今後も公立保育園を大事に守り、さらに、現状の保育士の欠員状態も元に戻してくださるよう、強くお願いしたいと思います。ひいては、「親の就労にかかわらず、誰であっても希望すれば保育園に入ることができる」というくらいの施策があってもよいと思います。そうなれば、さすが文教のまち文京区、ということにも繋がると思います。(*)子どもの育ちと保育園との関連性を追跡調査する試み等があってもよいと思います。</p>	メール

No.	質問・意見・要望	受付方法
18	<p>2歳の娘が「かごまち保育園」を利用させていただいています。また現在第2子を妊娠中です。「中間まとめ」を拝見し、文京区が乳幼児の保育に積極的に取り組んでいこうとされている姿勢が分かり、大変嬉しく思います。同時に、壮大な計画を練ることに時間をかけすぎることなく、現状改善が少しずつでも確実に進むことを切実に願っています。</p> <p>初めに書きましたように、かごまち保育園を利用させていただいておりますが、園を利用する保護者が何年間も区にお願いし続けていることがあります。①保育スペースの拡充、②小学校の校庭開放です。</p> <p>当然ご存知とは思いますが、ベネッセが運営する同保育園は、駕町小学校敷地内に併設されており、保育園自身の園庭はないという特徴を持っています。園の雰囲気はとてもよく、園長先生はじめ先生方には大変感謝しておりますが、上記①②の問題は是非とも改善をお願いしたい状況です。</p> <p>駕町小学校は各学年1クラスですので余剰教室もあろうかと思われませんが、再三の保育園保護者からのお願いの甲斐なく、園庭・体育館などは保育園側はほとんど利用できない状況です。</p> <p>区からの回答では、安全確保が難しいなどの理由を挙げられたとも聞きますが、校庭・体育館・音楽室などを年度始めの時間割編成の段階で保育園利用枠を割り当てていただくことはできないでしょうか？例えば1学年3クラスある小学校でも時間割を組むことが可能であることを考えれば、決して難しいことではないとおもいます。やはり、全ては管轄官庁が違うということで進まない問題なのではないでしょうか。しかし、保護者としては、そのような理由では納得できるものではありませんし、今回の「中間まとめ」に掲げていただいた取組みが進むとも思えません。</p> <p>幼保小の連携した保育への取組みを本当にお考えいただいているのであれば、是非先進事例として「かごまち保育園」「駕町小学校」の連携から示していただけたらと思います</p> <p>私事ですが、長女を保育園に預け、家族のサポートを受けながら何とか育休前の仕事を続けることが出来ました。第2子出産後もできれば文京区に住み続け、仕事に復帰したいと考えていますが、正直、本当に両立していけるか不安を感じています。</p> <p>そんな時期にこの文京区保育ビジョンを知り、今後どうなるのかと楽しみにしております。そして何よりも、「計画」より1日も早い「実行」を願っています。かごまち保育園と小学校の連携の件、是非ご検討お願いいたします。</p>	メール
19	<p>vision4 4.その他、長期的な視点から慎重に検討したい項目</p> <p>(1) 子どもが少なくなるこれから、保育園希望者が増え、幼稚園は存在意義がだんだんと減ってくると思う。親の就労、不就労で別々に預かる意義が無くなりつつあるのではないか。</p> <p>(2) クラスの人数を減らすというのはとても良い。海外の具体的な数字を載せて欲しい。その根拠も海外が「その基準だから」「感染症の予防になるから」というよりも1人1人の子どもの目が行き届き、よりよい保育ができるということを理由にして欲しい。</p> <p>現在の保育園の幼児クラスの人数は多すぎると思う。担任と園児1人1人と接する機会が少ないのもっと時間が取れるよう1クラスの人数を減らす必要があると思う。</p>	メール
20	<p>現在の保育園の1クラスの人数を減らすのは、入園できている人たちが自分達だけよければいいと言うことでしょうか。保育園入園を待っている者のことも考えて欲しい。子どもを大切にすることは理解するが、入園を希望する者がたくさんいる状況で、とても現実的な提案には思えない。保育園に入れない保護者の視点からぜひ、話し合ってもらいたい。また、民間企業では様々な工夫をして努力をしていることをもっと考え、効率的な運営をして、今の保育園でのサービスをもっと増やして、子育てに困っている人に対応していくべきだ。</p>	メール
21	<p>保育園は就労支援のための施設だが、家庭で育児をしている人たち（両親とも働いていない世帯）にも、子育てに関する支援をする施設であってほしい。孤独な子育てをせざるを得ない人たち（核家族で夫が仕事、妻が育児というようなケース。こういうところが実態としては多いと思う）への支援もする施設として、位置づけてほしい。</p>	メール
22	<p>近くに区立保育園がありますが、気軽に遊びに行ける雰囲気ではありません。通園している人たちには、いいのですが、同じに子育てをしていて、何か気軽に利用できるようなにはならないのでしょうか？文京区の保育園の質は高いと聞きます。通園していない子育てをする私たちにも、保育園のノウハウを提供してください。</p>	メール
23	<p>私は私立保育園を2か所経験してきた保育士です。このビジョン1の3-3で「区立保育園は、子どもたちがゆたかなに育ちあえる場を提供していきます」や「文京区の『財産』である区立保育園を維持・拡大し、次世代に継承していく」などとあり、それを受け、「公設公営保育園」を推奨していくというようなことが書かれていますが、文京区には、区立保育園だけでなく、私立保育園も存在します。私立保育園には私立保育園の良さがあり、臨機応変に対応できたり、色々な親のニーズに応えることが特徴でもあると私は考えます。私立の良さをもっとわかっただけだと思いたいと思います。とてもすばらしいビジョンですが、ご再考願います。（私立＝社会福祉法人など）</p>	はがき

No.	質問・意見・要望	受付方法
-----	----------	------

■ 第V「保育ビジョンの推進に向けて」について

No.	質問・意見・要望	受付方法
1	「保育ビジョンの推進にあたって、具体的な検討を行う場合は、区民参画により検討を進めてゆく」とありますが、「具体的な検討を行う場合は」と書いてあるということは、今すぐ具体的な検討は行わず、今後このビジョンのうちの何かを検討する場合に限って区民参画が実現されるということですか？実際に区民参加の下で実現されるはずのビジョンが、なんだか最後のところで骨抜きにされているような気がしてなりません。	メール
2	子育て予算の増額は、国にこそ要求していくことではないでしょうか？文京区の高齢者がいきいき健康で暮らすためにも、予算を使ってほしい。子どもにたくさん配分するというのは納得できません。寿会館のおフロをなくすなど高齢者も少ない予算の中でガマンしていることをわかって欲しい。予算の適正配分というが、子どもに予算をたくさん使えとういことには読み取れません。高齢者も大切にしてほしいです。	はがき

■ 区報・区民説明会について

No.	質問・意見・要望	受付方法
1	区民説明会の流れとして、区民側の意見を区が聞き、それを委員会の委員に伝えるという段取りになっているが、委員の方と区民が直接話すことができれば、話が早いのでは。より密度の濃い話し合いができるのではないかと思います。	説明会
2	今日の説明会で、事務局としてできること、委員でないから答えられないことが強調されていることに違和感を感じる。それでは伝言ゲームになってしまうし、通常このような報告書の文章は事務局がつくるのであるが、事務局がつくるプロセスと座長にオーソライズして連携して進めていくプロセスがどのくらい真面目だったかが見えにくくなってしまふ。	説明会
3	説明会はシビックばかりでなく、もっと全区的に行ってください。遠いに行かれませんか。お願いします。	はがき
4	区報の配付について この区報のみ、なぜ新聞折込みなのか説明する事。新聞の契約者のみ配付されるのは疑問だ。その他の家には報じる必要がないという事か。	はがき
5	パブリックコメントとして意見募集をするという話が委員会の場で事務局からもあったのを聞いた覚えがありますが、パブリックコメントで寄せられた意見には公開資料の上で個別の回答がされるのが常識だと思いますがいかがですか？	メール
6	もう少し説明会の回数を増やして欲しい。説明会の目的は何なのか、ただ説明会を開いたという既成事実を残すだけなのか。3月までに本ビジョンを形式のみでもいいからまとめることしか意識しておらず、何が最大のゴールなのかまったく無視しているような気がする。内容を是非重視して欲しいので、引続き検討委員会を続行して欲しい。	メール
7	意見の書込みフレームが小さすぎて記入しづらいので大きくしてください	メール
8	説明会の意味がわかりません。何で事務的なのですか。もっとビジョン作成に対して前向きにしてほしい。例えば、事務局で説明できない部分は、委員会の方から説明できるように用意していただければよかったですのではないですか。	意見シート
9	2か月の乳児を持つ母です。本日は報告を聞かせて頂き、どうもありがとうございました。区報の記事、「中間のまとめ」もそうなのですが、全体的にわかりにくい。「わかりにくさ」＝「とっつきにくさ」があげられ、今回の説明会の参加者の人数のように、利用者の声を集めることが難しいのではないのでしょうか？ 「区民の声を聞きたい」とのことですが、いったいどのような声が聞きたいのかもわかりません。区・事務局がどのような声を求めているのか、また、他の区民がどのような意見を出しているのかがわかれば、区民も声をあげやすいと思います（たとえばアイデアを求めているのか、要望を求めているのか、苦情を求めているのか）。	意見シート

No.	質問・意見・要望	受付方法
-----	----------	------

■ その他

No.	質問・意見・要望	受付方法
1	3人子どもがいると子育てに追われてしまい、なかなかこういうところに来る機会もなかったが、昨日の第1回の説明会では、あまり幼稚園のお母さん方が来ていなかったという話を聞いた。娘の幼馴染のお母さん方から、幼稚園の集まりで煙山さんが来た新年会があったという話を聞き、煙山さんは保育園には関心をもっただけなのに、私立・公立幼稚園のお母さん、役員の方々には甘いのかなとも感じた。 親としていい保育ができるよう望んでいるので、子どもたちのためにいいビジョンをつくってほしい。	説明会
2	認証保育について。委員会を傍聴しているが、発言した方は認証保育を望んでいるといった訳ではなく、民営でもいいので良質な保育園を増やすべき、という発言をしていたと思うので、事実を確認してほしい。	説明会
3	0・1・2歳で保育園に通っていない家庭にどういう支援をするかが大きな課題、ということであるが、その方々の意見を聞くためには、幼稚園に行かれていた方に0・1・2歳の頃はどうかだったかを聞くのが、普通のストーリーではないかと思う。	説明会
4	密室育児をしている。家で絵を描く仕事をどうしても続けたくて、育児をしながら家でもできるのではと言われたが、実際に出産をしてみると、まったくできる状況ではなかった。親を呼び寄せることをせずに、家で何とか仕事を続けることができないか、自分なりにいろいろ試してみたが、現実にはうまくいっている状況ではない。フリーで絵を描く仕事は、いったん仕事が途絶えると、次の仕事が来なくなる現実があり、なるべく少しでも仕事をして実績を残したい、という気持ちだけで今はやっている。仕事はどんどん減り、このまま今まで自分がやってきたことがなくなってしまうのではないかという不安がある。仕事が続くかわからない場合でも、子どもを預けられるところがないか考えているが、結局すごく難しく、無理なんじゃないかと思っている。保育所に申し込み、ファミリーサポートにも申し込みしている。不安はあるが、それでもチャレンジして、何年か先でも、復帰したときに仕事を続けていけるんじゃないかという夢をもちながら子育てをしている。	説明会
5	子どもとの時間が長いので、外でどのようなことが起こっているか、実際、よくわかっていない。社会の中で子育てをしようという感覚が、ビジョンを読んで逆にすごく新鮮に感じた。どのように社会と関わっていけばいいのか、社会にお世話になったらいいのか、自分以外の密室で子育てしているお母さん方も思っていると思う。児童館では、みんなが一時保育やファミリーサポートなどの噂をしているが、実際に、上手に試したり、上手に使っている、という声は実はあまり聞いたことがない。上手に使っている人はいるのかな、という感じ。	説明会
6	世田谷区の小学校では、放課後に事前申し込みも費用の負担もなく、毎日17時まで学校で遊べる「ポップ」というシステムがあるそうです。文京区でも是非同様のシステムを早急に開始していただきたいです。	はがき
7	保育園卒園後の支援事業として、また地域の保育機能として、児童館と育成室は重要な位置を占めている。この点についても一節を設けて言及し「ビジョン」を示すべき。その場合には、小学校校内での育成事業の展開と、6年生までに対応した育成室機能の強化を盛り込んでほしい。	はがき
8	厚労省から支給されていた母子家庭に対する援助金が段階を経て削られるが、そのような国の政策のケアなども自治体で取り組んで欲しい。	メール

## 2. 事務局に対する質問及び質問に対する事務局回答 <区民説明会>

No.	質問	事務局回答
1	区報ぶんきょうには、意見を2月16日までにお寄せくださいとあるが、2月1日に意見をとりまとめるというのはどういうことか。詳しいスケジュールが決まっていたら教えてほしい。	次回の委員会が2月1日開催なので、1月中に出された意見については、そこで報告する。それ以降に出た意見については、随時とりまとめの期間を定め、最終のまとめに反映できるよう、委員に報告する。 最終のまとめは3月中に作成の予定であり、日程は調整中。
2	1月のいつまでに意見を出すと、2月1日に開催される策定委員会で反映されるのか。	資料を委員に事前送付する期間を考えると、1月25日くらいが一定の目途と考える。
3	中間報告のまとめの文章に、会長の名前がどこにも書いていないが何故か。	区報特集号では冒頭示している。最終のまとめで明記したい。
4	率直に、まとめのレベルが低くて非常に不満なのだが、会長とのやり取りの中で、このレベルで出しているという議論があったのかどうか。この内容で会長はオーソライズしているのか。	会長のお考えは、中間のまとめの時点ではワーキングで出た意見をできる限り生ず、ということであった。4つのグループでまとめた中間のまとめを元に、区民の意見を反映し、最終のまとめにしていく、と提案を受けている。
5	中間のまとめの公表が12月25日で、区民説明会は4回開催されるが、すべて周知から1か月以内である。子どもを2人保育園に預けていて小学生もおり、保育室は就学前しか利用できないとなると、今日しか時間がとれなかった。今日のことも気が付いたのが先週で、調整してやっときた。日程もすごく少ないと思うし、内容も保育園だけでなく、区民全体の保育に関わることで、すべての保育園・幼稚園で説明会をするような内容ではないかと感じている。このような日程を設定した理由を教えてください。	日程については、年末年始をはさんだため、1月初めを避けて落ち着いたところで、ということ、14～16日に設定をした。遅くなると委員への情報提供が遅れてしまうため、この時期に設定した。説明会の回数が少ないことについては、ホームページ等でも内容を公表し、メールやファックス、ハガキ等で意見を募集していく。
6	ビジョンは「文京区地域福祉計画、文京区子育て支援計画の具体化及び計画見直しの際の基本指針」となっている。ビジョンに対して、戦術・戦略として、現状がどうなっていて、目標はこうで、達成可能性はどうか、問題点は何があって、最低限何ができるか、いつまでにやるのか、予算はどうするかという、具体的なプランまで落とし込んでいかないと、漠然としていて、指針としても活用の仕様がなと思う。そのようなことを3月までにしようとしているのか。22頁「保育ビジョン実現の推進に向けて」に予算措置の確保・予算の適正配分、とあるが、ここは、具体的に実現への道筋を明らかにしてほしい。それがなされないのに3月にビジョンが策定されてしまうと、指針としても使いようがないと思う。	文京区では、基本構想の実施計画が、唯一、予算を伴った計画として策定されている。ビジョンは計画の指針となるもので、プラン、実施計画をどうするかということについては、計画で策定する、という仕分けになると考えている。ビジョンは、計画を方向づけて、区民の方と共通理解に立つ、という性格のものとしてご検討をいただいていると考えている。
7	そもそも委員のメンバーに幼稚園の関係者が入っていない。結果的に保育園に対する過大な責務が負わされていると思うが、幼稚園については何も言及されていない。ビジョンは、就学前のすべての子どもに関わるものであるし、幼稚園もすばらしいところがたくさんあるので、幼稚園に関して何も議論されていないのは不十分だと思う。バランスを欠いているので、最初から考え直すべきではないか。	公募委員にはお子さんを幼稚園に通わせている方がおり、そこで意見をいただけるということでメンバー選定をしたところもある。 幼稚園の責務については、最終のまとめの中で検討していきたい。

No.	質問	事務局回答
8	幼稚園関係者は、委員選定の段階から入っていなかったと思う。それはなぜか。	0・1・2歳児の保護者の負担感は切実なものがあり、そこへの支援のあり方や、保育の中心を担う保育園のあり方、という部分では、幼稚園とも連携は必要であるが、という認識であった。幼稚園の機能も変わりつつあり、果たすべき役割も高まっているという認識はもっている。
9	区が委員会の事務局として説明するときに、委員会の意見を代弁できることが十分に可能である立場として住民に対応していくのか、それとも事務局はあくまで事務局であって、今日の説明会のようにできる範囲で説明する、あるいは委員に伝えるだけのつもりなのか。今後文京区はどちらの説明を続けていくのか、区としての統一見解を伺う。	区としての統一的な見解は私が答弁するところではない。保育ビジョンについては、区民の方のワーキングを中心に検討がなされ、そこに事務局が入って意見をとりまとめているという位置づけである。今回の説明会では、このような性格の中で、事務局がきちんと皆さんの意見をうかがい、委員会に報告をする、という位置づけを明確にした方がよいだろう、と考えているところ。最終のまとめをどのような形で示すかは今後の課題と考えている。
10	パブリックコメントはどのような形で区民に開示されて、まとめられるのか。最終のまとめに添付された形になるのか、提出されたパブリックコメントがいつでも検索できるような形で、ホームページなりで公開されるのか。その扱いを教えてください。今回、1月末、その後2月16日までと2段階で扱うという話があったので、その扱いが区別されることなく最終のまとめに反映されるかが不安。	説明会等で区民の方々からいただいたご意見については、個人情報を除いて委員会へ全て報告する。その後、ホームページや公共施設に配備するなどして公開する形を考えている。時期によって意見の扱いを区別することは無い。最終的な報告書にどのような形で添付をするのかについては、今後検討する。
11	23頁の最後、保育ビジョンの見直しのところで、「適宜改訂して時代の変化に即応できるように」とあるが、適宜改訂していくときに、区だけで改訂していくのか、またこういう委員会を立ち上げて改訂していくのか、教えてください。ビジョンの策定検討にあたっては、できるかできないかわからないけど夢を語ってください、ということであったが、全部ができるとは思っていないが、できる部分に関しては、ピックアップされたものが出てくるのか、それとも区民にはわからず、区の方だけで進めていくのか。	ビジョンに限らず、区は区民参画を進めてきているし、今後も進めていくことが基本となるので、区の独断で何かを進めることはない。
12	私は子どもを保育園に通わせているので、保育というと保育園をイメージするが、この内容は、保育園に通っている子どもだけでなく、就学前児童のことについてとなっている。しかし、委員の構成をみると保育園の関係者の偏っていて、幼稚園の先生や児童相談所の方も入っていない。ビジョンの構成をみても、3や4はいわゆる保育園の親や子どもを中心に据えた内容に見える。対象や検討内容、委員構成、すべてがアンバランスな気がする。	委員構成は、各種団体については保育園に限らず、幅広い視点で団体推薦をお願いしているし、公募委員については保育園にお子さんを預けている方は対象外にした。事務局サイドとしては保育園関係者に偏った人選という認識は持っていない。DV、児童虐待等については、関連部署の意見を聞くことが十分可能と考えているし、公募委員でお子さんを幼稚園に預けていらっしゃる方もいる。

No.	質問	事務局回答
13	今後保育ビジョンの具体化をどのように進めていくのか。22頁に「保育ビジョンの推進にあたって、具体的な検討を行う場合は、区民参画により検討をすすめていく」とあるが、この文章は非常に幅の広い意味がある。ビジョンができた後、違うことが起きた場合は、その時々に応じて検討するという意味にとれる一方、保育ビジョンが地域福祉計画や子育て支援計画の具体化を図る際の基本指針という位置づけがされている以上、子育て支援行政が日常的に行われているのであれば、今日この日も保育ビジョンを実現しているとも解釈できる。ビジョンの具体化の音頭をとるのは保育課が中心となると思うので、現時点で想定されている具体的な検討を行う場合というのはどういう場合なのか、どういう形で区民参画を行うことが想定されるのかを教えてください。	保育行政は現在進行中であるので、どのような形で事業に力を入れていくべきなのか、保育行政を担う我々が真摯に受け止めて施策をつくっていく、もしくは計画にない事業についても、予算要求に反映させていくことが、大事な姿勢になると認識している。 検討を行う場合どのような形で、ということについては、これまでの区民参画の手法を踏まえ、区民の皆さんに納得いただける形での進め方をしていきたい。
14	パブリックコメントの取り扱いについて。募集された意見は、公序良俗に反するものを除き、原則的には公開され、それに対して個別に回答がなされる、という通常のパブリックコメント的な取り扱いになると理解してよいか。	個人情報を除いてすべて委員に示すので、委員会資料として、ホームページや公共施設への配備により公表する。 保育ビジョンは策定検討委員会がまとめたものに対して区民意見を募集し、それをもとに最終のまとめを検討するという位置づけになっているので、個々の提案・意見に対してコメントを付すという形にはならないと考えている。
15	保育ビジョンは、どのように委員会ができて、検討が始まったのか。	24頁の要綱のとおり、文京区の保育行政全般に係る指針となる文京区保育ビジョンに規定する内容を検討するため。 なぜ今、保育ビジョンなのか、ということだが、例えばいわゆる密室育児などにより子育ての負担感が高まっていることや、子育て支援の充実が区が掲げている重点施策の1つであるとともに、この5年間は少子化対策に重点的に取り組むべき、というのが全国的にも共通認識ともなっているため、改めて小学校入学前の一番子育てにとって重要といわれている時期に、どのような支援を行っていくのかの指針をビジョンとして策定しよう、というところ。
16	ビジョン1は、子どもの視点に立って子どもの育ちを保障するという内容で、18頁は親の就労支援のための役割として、都市型保育需要に対応する、とあり、これは親の都合。4つのグループで検討したということだが、視点がばらばら。これが、保育行政全般に係る指針となるものなのか、非常に疑問がある。4つのグループにわかれて検討した結果というのはわかるが、それをとりまとめる必要があるのではないかと。文京区が子育てをいっただいどういうふうにしていくのか。まちはこう、子どもにとってはこう、親の支援はこう、企業にとってはこう、とばらばらに出てくるだけで、全体を通して、いっただい子どもをどう育てていくまちにしていこうとしているのか、その一番大事なところが抜けている気がする。そういう意味でまだまだ検討する必要があると思うが、どうしても3月までにまとめをする必要があるのか。	中間のまとめに対しては、こういった視点で検討をしたらどうか、こういった内容をいれたらどうか、というご提案をいただければと思う。 3月までというのは、委員会の中でオーソライズされている。中間のまとめは委員の皆さんに時間がない中で大変な作業を担っていただきまとめたいただいたもの。まとまっていない部分については、今後検討・整理をしていければと考えている。
17	区長は中間のまとめに目を通してしているのか。	庁議で中間のまとめを区長に報告しており、目を通してしている。今後区民の皆さんの意見をもとに最終のまとめをするということであるので、ひとつひとつのことに対しては意見はいただいていない。
No.	質問	事務局回答

18	・2頁の(3)「就労支援の必要性」で、認証保育所の増設を望む人が増えている、とあるが、個人的には、認証保育所と認可保育園の違いをわかっている親が、認証保育所の増設を求めることはありえないと思う。委員会もほとんど傍聴したが、認証保育所を増設してほしいという声は一切聞いた記憶はない。この記述はどこから、どのようにして、どなたがおっしゃって、どなたが記述したのか。	中間のまとめは、4つのワーキンググループでの検討内容を事務局が整理し、まとめている。2頁は会長、副会長を含めて事務局が作成し、委員の皆さんにご確認いただいたもの。事務局が整理している段階で、この文言を入れたということになる。委員ひとりひとりがこの文言を認めているかどうかは、確認をしていないが、事務局として、中間のまとめについて了解をいただく手続きはとっている。今のご意見は、策定検討委員会にあげて検討していきたい。
19	対象が就学前の子どもとなっていながら、子どもビジョン、子育てビジョンというタイトルにならなかったのはなぜか。	子どもというと一般的には18歳までであり、就学後の放課後の問題、居場所づくりの問題も含め、幅広くなってしまう。また、子育ては就学前の時期は非常に大事といわれており、就学前の子どもの健やかな成長を考えていこう、ということ。幼稚園にも保育園にも行っていない保護者が子育てにとっても不安・負担感を持っているということで、そうした方々に、保育の視点からの支援を掲げることが大事、ということで就学前の子どもを対象にすることで、保育ビジョンとした。
20	就学前の子どもが使う公共施設として、児童館、幼稚園などある中で、保育園が中核として定義されたのはなぜか、説明してほしい。	委員会での議論で、幼稚園は3～5歳の子どもの教育的な役割を果たすところで、0～2歳児への支援は難しいという話もあり、保育所が中核機能を果たすことが大事だという議論があった。また、保育については大きな柱の1つであり、保育の機能の充実・拡大という視点で検討いただいた、ということもある。
21	中間のまとめ特集号は新聞折り込みで案内をいただいたということだが、学校の将来ビジョンのときは、折り込みでなかったように記憶している。区の中で、配達の方法に違いがあったのはなぜか。	区報は10日と25日発行の通常号は町会に委託して配布している。特集号の場合は、新聞折り込みで配布する形になっている。教育ビジョンも新聞折り込みで配布した。区内施設にも配備はしているが、最近、新聞をとっていない家庭も増えているということで、今後は、区民の皆さんすべての手元に届くようなあり方を徹底していきたい。
22	保育ビジョンの取り上げている内容が広すぎる。親の就労のことや公園のことは、保育のあり方からずれているという気がする。もう少し具体的に、子育てに関して掘り下げて検討したのかと期待していた。これに関して意見を、といわれても、何の意見をどう言っているかわからない。区の中で、特に何を優先的に、という優先順位、目標があれば教えてほしい。	委員会では、現実的に子育てをする中で必要な施策やニーズからの議論が多かったことから、こうした内容とした。区民の皆さんからの意見を踏まえて、どういう形で大きな目標にしていくか、今後取り組んでいく必要があると思う。
23	3月末までにとりまとめをすることは、時間的に可能なのか。	委員会でも日程についての議論はあったが、3月までということ委員の合意を得ているので、3月の最終的なとりまとめに向けて努力していきたい。
24	今日の説明会に、事務局以外に、会長、副会長、区職員である大角部長以外の委員がいらっしやっていないのは、どのような理由からなのか。	事務局の立場から、区報特集号と同じ位置づけで、こうした説明会を開催して、ご意見をうかがっていく形で設定をしたものである。今回は、中間のまとめに対して広く区民の意見を募集し、最終的なものを検討するということが、会長、副会長の意向でもあり、こういった説明会を事務局として開催した、ということである。



No.	質問	事務局回答
25	この報告を4月までにまとめるということで、4月から何かしらのことを実行していくことも含んでいると解釈したいと望んでいるが、ビジョンに対する予算はどのくらい含む予定なのか、今後公表するところがあるのか、教えてほしい。	ビジョンは保育に対する指針、ということで検討いただいているものであり、保育ビジョンの予算という形では明確には定まっていない。但し、どのような施策に力を入れていくのかという方向性を示すものである。計画にない事業でも実施が必要な場合は、年度ごとの予算の中で予算要求をし、議会で審議していただき、実施をしていく形になると考えている。ビジョンは、こういった施策を実行するのか、ということに対して、方向付けをするものをご理解いただければと思う。
26	22頁の1「具体的な検討を行う場合は、区民参画によりすすめていく」とあるが、具体的な検討とは、例えばどういうことなのか。区民参画とは、具体的にどのような形で区民が参画するのか。	具体的な検討の内容については、これからの議論を待ちたい。 区民参画の仕方については、画一的な形態はない。区民の方のご意見を何らかの形で取り込んでいくために、これまでも区民との協働で区政運営をすることを基本に掲げている。公募委員を募るなど、その都度相応しい区民参画の手法を取り入れて、検討する形になると思う。
27	中間のまとめということで全体的に詰めきれていないのだけれど、整合性がとれていないところがある。その部分に関して、2か月の期間でまとめることができるのかという疑問がある。	整合性をどのようにとったらよいのか、といったご意見をいただければと思う。
28	指針としての位置づけがよくわからない。ビジョンの内容を読むと、具体的な項目まで提案としてあげられている。これは、何か施策を提案するものなのか。それとも子育て支援計画等の計画の優先順位付けをしていくものになるのか。	施策レベルの提言をいただいている部分もあるが、2～3頁にあるように、子育て支援計画の方向性、重点的に何をするかを示すものとなる。
29	子育て支援計画において、この指針に基づいて優先順位がつけられるとしたら、それはどのような形で検証ができるのか。ビジョンだけでは検証できないのではないのか。	単年度ごともしくは次期の計画策定の際に区民の皆さんに示し、検討していく。また議会にも報告する。そういった場面で、ビジョンがどのような形で生かされているかが検証できると考えている。
30	最終のアウトプットのイメージがまだないようだが、最終のまとめの後も、今回のような会やパブリックコメントをとるのか。いろいろな経緯を経て、最終的にどのようにまとまったのかを示していただけるとよいと思う。	今後の方向性については、会長、副会長と詰めて進めて参りたい。

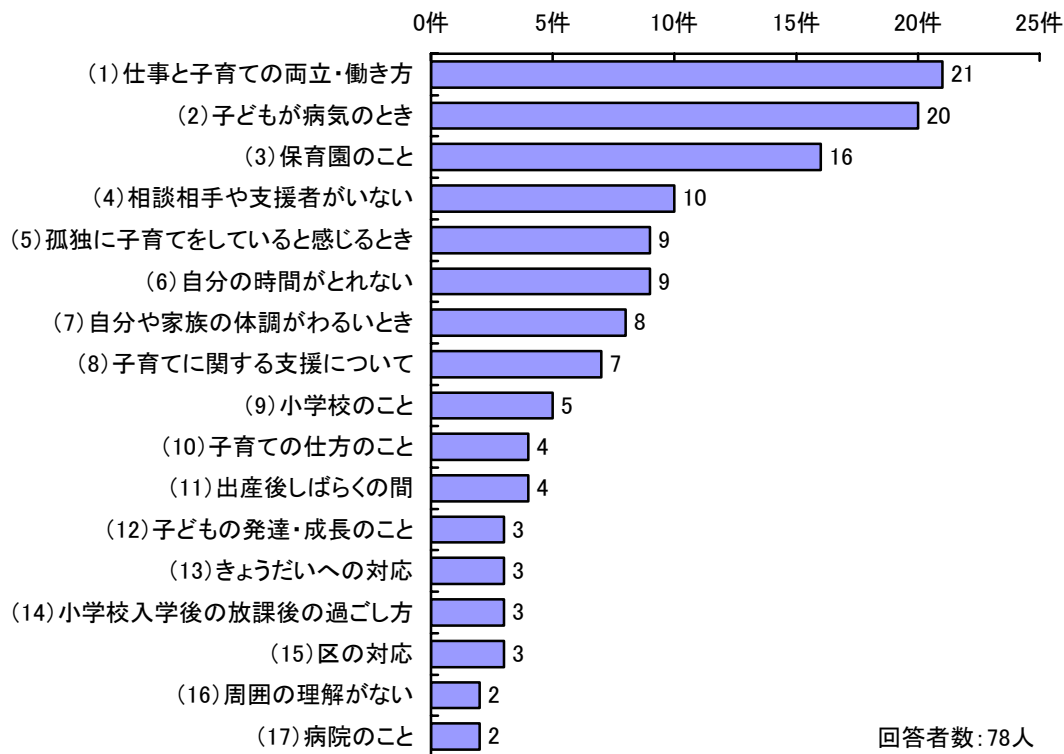
## 子育てしやすいまちに関するアンケート調査結果

### <調査の実施概要>

調査目的	保育ビジョンの策定にあたり、乳幼児を育てている保護者の子育ての状況、子どもの育ちや子育てしやすくするために必要としている支援等について把握する。
調査方法	①文京区認可保育園父母の会連絡会が、加盟する父母の会メンバーに対して実施。 ②第 2 グループのメンバー経由(家庭で子育て中の主婦が主)での配布並びに緊急一時保育実施保育所(区立保育園3か所)利用者・ぴよぴよひろば(シビックセンター3階)利用者・病後児保育施設、小児科医院(区内医院1か所)利用者に対して、アンケート用紙を配布・郵送回収
実施期間	① 平成 18 年 10 月 ② 平成 18 年 11 月 6 日～平成 19 年 1 月 19 日
回答状況	① 回答者数 78 人 ② 回答者数 49 人
調査結果	① P 1 ～ P 1 7 ② P 1 8 ～ P 3 2

# 子育てしやすいまちに関するアンケート調査 回答結果①

## 1. 子育てが大変(大変そう)、つらい(つらそう)と思った(思う)のはどういう時？



### (1) 仕事と子育ての両立・働き方 (21 件)

- 仕事との両立。核家族で夫婦とも民間企業勤めです。会社では当然会社への貢献を求められ、私が子育てしていることがハンデだとされています。でも産みっ放しでは子どもを産んだ意味がないし、子育てをしていることで得られる能力もあるはず。そしてこの先日本を担う世代をきちんと育てたい。こういう話はなかなか企業には理解されないんですね。
- 友人で、出産したばかりで本当は1年間の育児休暇をとりたいのだけれど、1年たつと保育園に入れないからと、3ヶ月、4ヶ月で職場復帰したいへんな思いをしているのをみると、この国の保育行政はどこか間違っていると感じます。
- とても不規則な仕事の為、保育園だけでは対応出来ない。実家も近くでは無く、いざ!という時(子どもの病気、けが...)は仕事をキャンセルするしかなく、信用ががた落ち。仕事が出来ない→収入が激減。三人子育ては辛いです。
- 仕事と子育ての両立。兄、妹が別々の保育園なので余計に大変と感じる。
- 保育園、小学校、自分の職場と行事が重なりやりくりが大変なこと。
- 子どもが病気しやすく、仕事を休みがちになり、結局パートにした。
- 子どもを産み育てる際直面する問題は、産休をとる際、働いているので代替職員がアルバイトになってしまうことや、職場の方々の事務分担が増えてしまうことです。
- 子どもができた喜びとともに、「いつ会社に伝えたらいいか」「どうやって職場復帰の道筋をつけたらいいのか」非常に悩みました。私たちには、夫婦2人で子育てをしていく他はなく(身内のヘルプはありません)、その時勤めていた会社は、子どもを生んだ後も会社に所属し続けるケースは私が初めてでした。妊娠したことを告げると同時に、どうやって職場復帰するつもりか、できる限り影響がないように調べたことそのままを上司に伝え、自信があるように振る舞っていましたが、内心は不安でいっぱいでした。当時は、身近なところに子どもを持ちながら働き続ける人もいませんでしたので。その後、出産月の関係で保育園に入園することができず、保育ママさんをお願いすることになりましたが、生後4カ月で職場復帰するのが精一杯の休暇期間でした。職場に復帰してからは、子

どもが熱を出したら私が仕事を休む以外にない状況の中で、結果として、同じ会社に居続けることはできませんでした。職場が零細企業で私のような社員を抱え続ける余裕がないという理由と、私自身も、無理して会社員生活が続けることができなかつたためです(2人目を生んだとき「あと何人生むつもり？」と真顔で同僚に聞かれたのも、ちょっとしんどかった)。フリーとなって仕事を始めたとき、上司に「子どもが熱を出しまして…」と言わなくていいだけで、こんなにラクなんだ！とこれまで、有形無形に感じていたプレッシャーの大きさに改めて思いが至りました。子どもを持ち、育てることの幸せは、人生の中で初めて感じたかけがえのない喜びです。こんなふうな幸せがあるというのは、子どもがいないときには想像もつかず、子どもを持つ人を見ても、「たいへんそう」とは思っても、「幸せそう」と思ったことはありませんでした。しかし同時に、「もっと時間を気にせず仕事がしたい！もっと思いっきり仕事がしたい！」という思いがふつふつと湧いてきて、夫にぶつけてしまうこともあります。子どもを持ちながら仕事をすることは、仕事の世界ではマイナスが多いです。仕事先の人に「お母さんは家にいるのが一番」と言われ、「それなら私に仕事を依頼するのはどうなんだ？」と怒りに襲われたこともありますし、子どもがいることをなるべく話さないようにした時期もありました。でも、常に現実がこちらの意図を裏切るというか、どうしてもはずせない仕事の日に子どもが熱を出し、キャンセルしなければならなくなったり、夜や土日の急な電話で子どもがいることが分かってしまったりして、「隠す」のはやめることにしました。子どもがいないが仕事を続けることが、介護が必要な人を抱えて仕事をすることが、当たり前前の社会になり、身近にもっと増えてくるようになればいいと思っています。そして、どこへでも子どもを連れていけるようになれば、もっといいのになあ、と。

- 仕事が終わらないのに、お迎えのために途中で打ち切り会社を出る。もちろんPC持ち帰り、子どもが寝静まってから仕事を再開する。自分の仕事の仕上がりを待っている人がいるとき、非常に辛い。子育てが辛いというより、人生全体に無理があるなと感じることが多い。
- 家事育児負担（終日勤務に加え、平日は家事・育児の全てを独りで負担しなくてはならない）。
- サービス業の為、急遽夜や休日、店に子ども達を連れて行き、仕事をしなければ成らない時は、親子共々つらいです。3人まとめて預けるのは難しく、1人欠けても泣いてしまう子ども達の気持ちを考えると、それも出来ません。
- 一人目の出産のときには、産後も同じように共働き(会社員・常勤)が続けられるかが不安だった。保育園に入園するにも、誕生月によって空きが無く、4月の募集までどうしたらいいのか悩んだことも。我が家の場合は、入園できるまでの数ヶ月、実家の手助けでなんとかなりましたが、母親にとって、子育てと仕事の両立は厳しい問題。
- 責任ある立場で勤めていた職場に、育休を3ヶ月早く切り上げて戻ったときは、6時まで働けないから正社員ではいられないと言われ、15分早く帰るために泣く泣くパートになりました。産休、育休を認めてこれ以上一人だけわがままを言うのならいてくれなくてもいいと言われました。
- 産休、育休がうまく取れるかが最初の心配事でした。子育てと仕事の両立が本当に出来るのか？3歳になるくらいまではよく病気になり、仕事を休みづらく大変でした。
- 母親の家事と仕事との両立。
- 職場復帰が大変だった。
- 働いていると時間に余裕がなく、人間として未熟なため子どもに対して普段よりしかってしまう気がします。本音はある程度のお金時間に余裕がありだといいなと思います。
- 仕事を思いっきりしたいのに保育園が長時間預かってくれない。出産がキャリアアップを阻む。
- 職場復帰後1年くらいは子どもも体調を崩すことが多く、育児と仕事の両立の難しさに悩みました。
- 母親の就職。産休や育休をもらえない人は実質家計はマイナスになります。
- 仕事の面で、子どもがいなかったり独身者は無駄に残業もできるし出世する。子どもがいると時間や仕事内容を制限されてしまい出世できず給料も増えない。子どもが多く金銭的に必要な家庭が給料が低い上に、税金や医療をはじめとした制度等も悪い状況。親の気持ちの余裕もない家庭やこんな世の中で、子どもたちが善良に育つとは思えない。

## (2) 子どもが病気の時(20件)

- 病気の時はいまは本当に困る。今は母親が非常勤だからまだいいが、両親が交代で休むしかないのが限界がある。
- うちの家庭は母子家庭なので、病気になった時に近隣に身内がないのが大変です。
- こどもの病気が一番心配。病気の時にかかる小児科の選択。病気の際の保育など。
- 仕事をしていますが、子どもの急な病気の際がこまります。
- 子どもが病気の時。看病、通院も大変だが、仕事を休まなければならないのが困る。長いときは1週間位休まなければならないが大変である。
- 子どもが病気で保育園に預けられない時に仕事を休まなければならないこと。祖父母が近くにいないので頼める人がいない。

- 保育園に行くようになって、病気で急に休むことになるとうれしいです。それが立て続けに二人だとどうしていいか……。病後児保育の方は遠くて連れていくのもどうかと思ってしまいます。
- 子どもの病気の時、初めての際には病状の軽さ、重さが分からずに医者へ急いだり、そして医者へ叱られたり、待たされたり、そして、発熱の際には元気でも保育園には預けられないので、仕事場に迷惑をかけたりして、周りに援助がないと非常に辛い。
- 子どもが小さいうちは、子どもの具合が悪い時でも仕事を簡単に休むことができず、子どもに無理をさせることもあり、それが一番辛いと思っていましたが、大きくなるにつれ、子どもの様子を十分、把握出来ていないのではないかと、不安に思うことがしばしば。
- 一歳児から保育園に通っています。二歳までは実家から離れていたため具合が悪くて保育園に行けなくても他に預けることが出来ず、仕事を休むしかありませんでした。
- 子どもが小さいうちは、子どもが病気になった際、休まねばならない職場への遠慮で、つらかった。預ける人がおらず、下の子が病気のために、上の子も毎日病院に連れて行かざるを得なかったのはつらかった。
- 子どもが病気になった時に長時間預けられるところがない。
- 子どもの具合が悪いときに、休暇がとりづらかったり預ける場所がない。あっても利用しづらい条件がある。
- 実家の援助を望めない状況ですので、子どもが病気の際は父母どちらかが仕事を休まねばならず、病気が長引くときはとても大変です。休日出勤をして仕事をカバーしなければならない時もあります。
- 子どもが病気になった際、近隣に祖父母がいない、ベビーシッターも突然は手配できないので、子どもの面倒を見てもらう人がいない。しかし、会社は変わりの人のいない締め切りのある仕事をしているため、突然は休めない。
- 身近に祖父母などがいないので、子どもが病気になった時仕事を休まざるをえずやりくりが大変です。2番目の子の産後も上の子の育児・家事など大変でした。
- どちらかが体調を崩したとき。
- 基本的にはそんなに大変・つらいと思ったことはありませんが、働いているため、仕事の多忙と子どもの病気が重なってしまうとちもさっちもいなくなってしまい、大変だと思うことはあります。大変・つらいとあまり思ったことがないのは、子育てを共感・相談できる仲間や信頼できる親族が身近にいてくれるからだと思います。
- 最近大変なのは仕事が忙しい時に娘の具合が悪くなり、自分も体調を崩した時など。
- 我が家は子どもが多いので（3人＋来春誕生予定）、やはり一番は子どもの誰かもしくは親が病気などの時に困ります。うちは両家の祖父母が近所なので、何とかやっていますが、そうでない方はなお大変なのでは。

### (3) 保育園のこと(16件)

- 産休後、職場復帰するにあたって保育園入園が難しかった。
- 復職に際して、保育園探しが大変。
- 職場復帰を前に保育園に入れられない可能性があると思った時（通勤ルートを変えることも考え民間保育園も探したが、確保はできなかった。結局第3希望の公立保育園に滑り込めたのでほっとしたが）。
- 希望の保育園に入園できるか？
- 近所の保育園の空きがなく、遠くの保育園に通園しています。転園の希望を出していますが、転園先はパンク状態で、当然転園できる見込みがありません。待機児童がいる中、賢訳は言えませんが、入園希望の状況を見て保育園の収容人数を増やすなどの対応をしていただきたいと思います。
- 引越して保育園を転園の必要があるのに、転園できないこと。
- 出産後保育園に入れるかどうか確定しなかったこと。入園前に保育課の職員が朝9時30分に、独立したてで収入がほとんどなかった自営業の夫が本当に働いているのかどうか査察にきたときには、ここまでプライバシーを侵害され、疑われないと入園できないのかとたいへん不快だった。なぜ社会の子ども全員について、保護者が望めば保育園に入れる状況が作れないのかと思う。二人目についても、優先されると聞いてはいるものの、タイミングよく保育園に入れるかどうかかわからず、ためらっている。
- 区内保育園に入園できない（新規就職で点数が低かったせいもあり地元の区立保育園には入園できず、現在も他区の私立園に通わせている）。
- 最近気になるのが、兄弟姉妹が同じ保育園に通えないケースが増えていることです。保育とはチャイルドケア、つまり子どものケアであるわけで、その質は、保育所の中だけでなく家庭にもつながります。兄弟姉妹が異なる保育所に通う、家庭と子どもへの負担。これだけで、保育の質は劇的に下がるといってもいいのではないのでしょうか。
- 安心して子どもを預けることができる環境が少ない。地域によって、0歳児を受け入れる保育園が少ないので、仕方がなく兄弟が別々となる家庭がある。毎日の送り迎え、行事が2倍になったり、重なったり、それもさること

ながら、何かあった場合、例えば災害など。避難場所がそれぞれ違うので、非常に不安になる。預ける場所がないことで、子どもを産み育てるのに躊躇することもあると思う。保育園だけでなく、その後の環境についても同様。本当に「子どもの立場に立って」行政が行われているのか、疑問が多い。

- ちょうど、子どもが3歳組の時、千葉から引っ越してきた。時期的にも夏の7月で待機児童とならざるを得なかった。とにかく託児所をということで、東京都認可保育所（完全に民間委託）に預けて仕事を続けたものの、毎月7万5千円の保育料はきつかったこと、また、この保育料を文京区にも相談したが、区は黙認していることによりびっくりした。保育所での写真代も1枚130円と聞いてまたまたびっくりした記憶がある。
- 延長保育の時間。会社は6時まででしかも仕事柄、突然の残業もあり。定時に帰れるかどうか分からない。何とか仕事をやりくりし、急いで帰っても延長時間ぎりぎりである。保育園の数が足りない。4月に入園するために、法律的には1年保障されている育児休暇を削ってでも職場復帰するしかなかった。以上の理由から、ベビーシッターさんがいないと我が家は成り立たない。
- 仕事を休みたいわけではないのに仕事を休む法律ばかり充実している。その割には大学院に行きたいと思っても保育園では預かってくれないと区役所で言われた。
- 子育ては楽しいです。大変なのは、保育園民営化（又はコスト削減）対応。それから、ハコモノ行政ありきの小中学校の統廃合問題対応。
- 今は、保育園の耐震工事で明化小学校まで送迎しているので体力的にも時間的にも、また雨の日はタクシーなので金銭的にもかなり厳しい！！2月まで続くかと思うとゾッとする。
- 保育園で子どもが担任の先生と信頼関係が結ばず、子どもの気持ちが心配で仕事に手がつかないとき、非常につらいと思った。安心して預けられる保育園であってほしい。他の兄弟に比べて怪我が多い子は、遠足や行事のたびになんとなく不安。安全を確保できる保育園であってほしい。子ども自身が怪我が多い子なのか、10年前に比べて保育者の減少で子どもを見ていられなくなり、結果的に怪我が増えているのかわからないが、親としては原因に関係なく、とにかく不安。

#### (4) 相談相手や支援者がいない(10件)

- 周りに子育てのことを気軽に相談できる人がいなかったとき。同じくらいの子どものいる人と情報を共有できる機会が少なかったとき（地元ではないので近所に知り合いもあまりいなかった）。実家も遠く、家族も仕事が忙しかったりで、日常的に子育てと一緒に関わってくれる人がいないとき。
- 協力者がいないこと。
- 急な残業や子どもの病気のときに子どもを見てくれる人がいないこと。
- 休職中、子育てを相談する人がいなかった。
- 突発的な事情で子どもを安心して預けられる場所や人がいなかった。
- 実家が夫婦共に県外（共に祖母は他界）なので、子どもが病気の時や仕事等で帰りが急に遅くなる時に気軽に安心して子どもの世話を変わってもらえる人がいないこと。
- もうすぐ4歳になりますが、1歳になるまでが一番長く感じました。1歳過ぎて、保育園に預けるようになってからは、子育てについていつでも相談でき、自分の生活のバランスも取れてきたのですが、1歳までは預けることもできず、近所に同じくらいのお子さんが集まる場もなく、子育てを苦痛に感じることもありました。
- 産後、ちょっとした気晴らしをしたいときにどうしていいのかわからなかった（夫が多忙でみてもらえない）。そのときにファミリーサポートを知った。
- 今回が初めてのお産でした。実家の母はすでに他界していたので、何も解らないときに主人側の義母にかなり協力してもらって助かっています（いろいろアドバイスも貰えて）。実家が遠かったり、周りの援助が受けられないときは、子育ても楽しいと思うよりも、辛い・心配と不安要素が多くなると思います。例えば、子どもの原因不明の高熱とか、夜泣き、成長過程での遅れなど、いろいろな悩みは尽きないと思います。
- どうしても母親の負担が多い。社会全体が忙しすぎ。世の中の父親がもっと早く家に帰って、育児に参加できれば、母親も子どもももっとゆとりができてよいと思う。育児に参加したい父親もいるのに、それができない社会環境。法的に整備しても、それが実行できなければ、何も意味がない。

#### (5) 孤独に子育てをしていると感じるとき(9件)

- 一人で育てていると感じた時に辛いと感じます。子どもを生み育てるということは真っ先に、イコール生活なんですよ。夫婦であれば夫の家事育児の手伝いや祖父母の助言などがあると精神面や労力共に負担が軽減されます。いろんな人にかかわってもらい助けてもらえるとそれは子どもの育ちにも関係があることだと思います。みんなで子育てができるという環境作りを。

- 孤立してしまうこと。
- 子育てが大変だと思うのは、子どもとずっと二人っきりで過ごす日中（密室育児）や、家事と育児の両立です。またそれを支えてくれる周囲の方々の協力が不可欠なことだと思います。物理的、体力的な協力のほかに精神的支えが一番不可欠です。子どもを産んで初めて「人は一人で生きてきたわけじゃない。」「自分の子どもは自分たちだけで育てているわけではなく、親も子ども周囲の人々に支えられて日々生活を送ることができている。」と感じました。私達は協力し合って、皆、お互い様で、助けたり助けられたりしながら生きているということ強く実感しました。
- もう昔のことだが、赤ちゃんのときは社会と謝絶されるので、兄弟やインターネット、肉親の存在は不可欠だった。友人といっても一人目の場合はなかなかできなかったのも、今思えば地域の赤ちゃん交流の場などにもう少し行ってもよかったと思う。
- 子ども（特に第1子）と1対1になったとき、泣き止まなかったり、ミルクをもどしたりすると、暗い気分になりました。こういうことが積み重なると虐待になっていくんだらうな、と実感しました。幸い、夫の協力や保育園に入園したりと、多くの手で育児をすることができ、泣いているのもかわいいと思えるようになりましたが、密室育児はとってもあぶないと思います。
- 孤独な育児（夫は仕事で終日不在、休日出勤も多い、両親も遠方で、自分から仲間を求めて外出しない限り誰とも話す機会がなかった）。
- 子どもが0歳で育休中だったときは、普段の子育ては1人きりなのでとても孤独に感じました。子育て支援サービスなど、あったのかも知れないのですが、よく分かりませんでした。自然に子育て中の人や子育て経験者と話をできるきっかけを作ることができる場があればよいと感じました。子どもが歩くようになってからは、家の中にいるのは大変で、しばしば外に連れ出さなければなりません。やんちゃな男の子なので、なおさらです。でも近くにいくつか公園があっても、ゴミや吸い殻が散乱し、犬の糞が落ちていて、乳幼児は遊んでいません。もっと清潔で美しい公園があれば、安心して、自由に遊ばせられるのに、「これは汚い」「これは触っちゃダメ」と注意してばかりになってしまいます。公園以外の場所では車に気遣って「危ない」といつも気を配って注意しなければいけないので、本当に疲れます。
- 出産後まだ子どもが小さく、外出も出来ず我が子と二人きりで家にいた間、話し相手もいなかったため（ちなみに旦那は仕事が忙しくまったく頼りにならずでした・・・）。社会からとても孤立した状態で辛かったです。
- 子育てで、ものも言えない、泣きっぱなしの子どもと二人きりになるのが予想以上に辛かった。

#### (6) 自分の時間がとれない(9件)

- 自分の時間が取れないこと。
- 少しも自分の時間がもてない。
- 仕事のようにきまった休みがなく、疲れていても子どもの世話はしなくてはならず、ゆっくり休みたいと思うとき。
- 自分の時間がないこと。外出をしてもゆっくりすることができない。
- どこへ行くにも子連れ（日々の買い物も大変、自由な時間はゼロ、美容院にも行けなかった）。
- 一人目のときは何もわからず、泣き止まないはどうして！とこちらも泣きたくなくなったりしていました。あとは自分の時間をとれないこと。美容院に行く時間すらなかなかとれず辛かったです。
- 親自身の時間が持てないこと、父親の帰りが遅いときはすべて自分でしなければならぬので、夜自宅で仕事ができないこと。自分の心にゆとりがもてないと、子どもにも厳しくなってしまうこと。
- 夜帰宅してから食事の用意をして食べさせて、お風呂に入れて寝かせるまでがとても慌ただしい。子どもの睡眠時間と家族で過ごす時間の確保が難しく、ついせかしてばかりいる。自分の時間が全く取れないのがつらい。
- 自分の人生が子ども主体になり自己否定をしたとき。

#### (7) 自分や家族の体調がわるいとき(8件)

- 一番大変だったのは、子どもが2歳の時、私の流産、直後に子どもの入院が重なって、凄く参りました。流産で入院中は祖父母の助けを借り、子どもの入院では流産間もない身体で付き添い入院。病院の方針で父親の付き添いは認められず、私の負担感が子どもにも良くなかったと思います。
- 家族の入院時（病院は基本的に子どもの入室を禁止しているため連れて行けず苦労した）。
- 体調が悪いとき（自分が）、子どもの相手をしてくれる人がいなかったとき。現在は保育園にお願いできて助かっています。
- 自分の体調が悪いとき。
- 親が病院へ行くのも子連れでは大変だと思いました。

- 自分が病気のと看。
- 自分が病気になったとき。
- 正直な気持ちとして、毎日がつらい。子どもがいなければこんなに苦しい思いをしなくてすむのと思う。例えば、親が何日も高熱が続いて、もしかしたら入院かもしれないといった場面で、その週の土曜日一日だけ預かってもらえないかと保育園にお願いしたら断られた。子どもがいる限り熱なんか出すなと言われたようだった。

#### (8) 子育てに関する支援について(6 件)

- 夕方～夜に、大学関係の仕事が重なる時・出張の時、身近に頼れるヘルパーさんがいないことや、大学で提供されている保育サービスがそういったニーズに全くこなっていないこと。たとえ、人に頼むことが可能であったとしても、連れまわされる子のストレスや負担を考えると、本当に難しいです。
- 平日夜に用事がある際、旦那、実家以外で預けるにはハードルが高い。一時保育にいきなり、は知らない先生だけで、きつとつらだろう。いつもの保育園の先生に見てもらえるのは安心だが…。保育園主催の保育を語る会などで、いつもの先生が見てくれるのはとてもありがたい。
- 子どもは二人とも 7 月生まれ。自営業なので育児休暇はなく、9 月には仕事の一部、復帰しました。その時、一番困ったのは、1 歳未満の赤ちゃんの預け先が皆無に等しいことです。この時期、認証保育所はどこもいっぱいです。一時保育も空きなし。結局、預け先がみつからず、下の子のときはベビーシッターを利用したが、その費用は 1 回預けるだけで、1 万円を超えます。仮に、毎日、利用すると、月 20 万円以上の出費になります。しかも、仕事をするためには不可欠な出費にもかかわらず税制上、経費として認められない。
- ファミリーサポートの認知度が低く、探しても見つからなかったり、折角見つけても「雨の日はちょっと…」とか別の子が入っていたりと、断られたりするので利用しにくいです。下の子が体が小さいと言う理由で保育園入園を断られ 2 年育休を取っていた時、職場から週に 2 日だけでも働いてほしいと言われ、緊急一時保育に週 2 日あすけたいと相談に行くと、仕事はあすけられる理由に入っていないと断られたことも納得いきません。なぜなら他に預けられている子どもたちは母親の習い事が理由だったためです。何が優先なのか、意味がわかりませんでした。
- 子育て広場や保健所は歩いては行けない距離で、児童館は歩いては行けますが、ハイハイの頃に行ったら、大きい子ばかりで萎縮して帰ってきた覚えがあります。シビックセンターにある一時預かりは 1 歳以上でないで利用できず、また仕事では利用できなかったで、不便でした。ちょうどスタートしたての頃で保育士さんも不慣れだったせいだ、保育の仕方にも不安を感じました。
- 本駒込 6 丁目の自宅からは比較的近所にある地域センターで、ボランティアの婦人会による乳幼児の母と子を集めた会がありましたが、子どもとの遊びの合間に偏った思想を押し付ける啓蒙活動のようなレクチャーが度々入るためとても行く気が起きず、参加している他の母子も 3～4 組しかおらず、もっと母子中心で自由に参加出来る会を地域センターで開きたいと思っても、その思想を押し付けてくる団体に介入されそうで諦めた経緯があります。

#### (9) 小学校のこと(5 件)

- 子どもが小学校に入っで、「保育園出身の子は反抗的」「保育園出身の子は落ち着かない」と言われることが辛い。→保育園では、「何故そうしなくてはいけないのか」を丁寧に説明してくれて、子どもなりに先生の指示を理解していたから従えたが、学校の先生は「なぜ」を伝えずに従順を求める。子どもに「従順になれ」とは、親として言えない。
- 先生に従わない、反抗的、落ち着きがないなどの子どもがいると、「親の愛情が足りない」「親がもっと子どもに接すればいい」など、家庭の問題にしようとする人が、小学校の先生にも、保護者にも多いのが辛い。→親も努力していても、子どもの育てにくさや、先生との相性などもある。その子の親だけに責任を押しつけるのではなく、たくさん手や目や声かけが必要な子がいたら、それを前提として、先生を加配するなり、先生同士のチームワークを作るなり、その子の親が孤立しないように親同士も助け合うことが必要だと思ふ。
- 小学校で、先取り学習をしている子どもを中心に授業が進み、先取り学習していない子は置いてきぼり、という状態が辛い。→真面目に学校に行き、宿題をきちんとやれば、勉強が身に付く、というカリキュラム、それができる教員配置であって欲しい。結局、お金をかけて塾に行かせるか、親が付きっきりで勉強を教えなければ勉強が身に付かない、というシステムでは、経済的にも精神的にも子どもの人数は望めなくなる。
- 小学校に行ったら、お母さんが家にいることを前提とした運営（「明日までに〇〇を持ってきて下さい」とか、保護者参加を求める学校行事の日程告知が 1～2 週間前になってから来る、学校行事が朝でも夕方でもない中途半端な時間に設定される＝一日仕事を休まざるを得ない、など）がなされているのが辛い。→社会人として人にもものを頼むときの最低限のマナー（時間的余裕をもって告知する、相手の都合も考える）に配慮した運営をしてほしい。
- 小学校行事などが平日に集中していることです。近所づきあひも、多様な年齢や人々なのでとても難しいです。



#### (10) 子育ての仕方のこと(4 件)

- 何を食べさせたらいいのか迷うことばかり。毎日の食事には頭を悩ませています。夜早く寝かせたいが、保育園から帰るとどうしても 10 時過ぎてしまう。生活リズムを前倒しにしたいがなかなかできない。
- 産まれて育て始めて直面する問題は、自分も子どもも 2 か月くらい自宅にこもりっぱなしで、他のお母さんがどうやって育てているのかと情報を得にくいことです。
- 保育園に通う前、昼間仕事をしつつ育児をしている際、まだ 0 歳児の子どもがむずって泣いてどうにもならなかった時。一人で煮詰まって、困り果てていた。今思えば、5~10 分でも散歩に出れば良かったのだが、発想の転換がスムーズに出来ないほど疲れてしまう時は本当に子育てに辛さを感じる。大変だと感じるのは、目に見えにくい心の成長をどうサポートするかと悩む時。今も「これで良かったのか」を自問する日々。
- 一人目の時は子育てについて何も知らなかった事にびっくりしました。生後 1 ヶ月過ぎてから単発的に仕事を開始したのですが、すぐに乳腺炎になりかけたりと何かがおきてから対処するしかないことだらけでした。先輩ママたちの話をもっと聞けるような生活を子どもの時からしていたり、妊娠中にうかがえる機会があるとよかったのと思っています。

#### (11) 出産後しばらくの間(4 件)

- お互いの実家の援助にはかなり恵まれているが、生まれてしばらくのマタニティーブルーの時期。この感情は自分ではどうしようもなかった。
- 1 番大変だったのは出産後 1 ヶ月間(母乳が足りているのかどうか分からず、際限なく授乳して乳首の痛みがひどくなった時、夜中の授乳後、子どもがなかなか眠らなかった時など)。
- つらいと思ったのは、産後の自宅療養中、ちょっと買い物にもいけなかったこと(体がつらいのと、子どもを一人きりにできないため)。自分が病気になるって動けないのはどうしようもありません。子どもの相手ができません。子どももベッドで寝ているうちはいいのですが、一人遊びもできない間は大変でした。
- 生んで 1 年以内、出産後の体調の戻りが悪いのにもかかわらず、子どもがどんどん遊びたがるのでそれに答えてやるのが大変でした。歩く事が辛いので、ベビーカーやバスを使って遠くまで出かける子育て広場のような施設が近所にも欲しいと思いました。

#### (12) 子どもの発達・成長のこと(3 件)

- 産休で乳児と二人っきりで家にいたとき、自分が子どもに話しかけないと子どもの言葉の発達が遅れるのでは、と不安で、義務的に一生懸命話しかけるのが辛かった。→乳児期の未だ眠ってばかりいる赤ちゃんを抱えた母親が集える場が必要。少し大きい子(1 歳以上)の広場などはあるが…。
- 障害児であった、という意味では、何処まで周りの方に援助をお願いしていいのかを悩みました。言ってしまうは簡単だったのですが、そこまでが大変でした。買い物や気晴らしも出来ず、密室育児にならないように休日も子どものために出来るだけ刺激を与え、発達を促すように努力をしました。その為いつも疲労困憊。
- 子どもの発達段階にあわせた悩みがあるとき。

#### (13) きょうだいへの対応(3 件)

- 下の子が生まれると、どうしても下の子にかかりっきりになってしまい、上の子には、お兄さん(お姉さん)になったのだから、がまんしなさいとか、がんばりなさいとか、そんな対応しかできない時期がありました。子どもを見る人が自分しかおらず、片時も下の子を離すことができないのです。それで、上の子が情緒的に不安定になりして、悪循環で、その状況からどう抜け出したらよいか分からない時期がありました。
- 子どもは 2 歳違いがベストと信じて生みました。年子はありえないし 3 歳以上離れると一緒に遊べないし、子育て期間も長くなり職場復帰には不利だと思ったからです。でも実際は 2 歳違いだったためにこんなにも大変だったのだと思っています。一番大変なのは「寝かしつけ」でした。下を寝かそうとする時間に 2 歳の長女が足にしがみつき「抱っこ、抱っこ」と泣き喚くのに、何度切れたことでしょう。蹴り倒しても投げ飛ばしても起き上がってしがみついてくる長女、あれは間違いなく虐待でした。
- 2 人目、3 人目の出産のときの上の子の面倒を見るのが、大変。

#### (14) 小学校入学後の放課後の過ごし方(3 件)

- 卒園後、小学校入学後の放課後対策が今から心配。0 歳児の保育料程度までなら負担できるので、民営化も含めた

学童保育の質の向上を求める。

- 育成も小3までなので、放課後の過ごし方が心配です。
- 4年生になったときに育成室がなくなる。放課後や夏休みなどの過ごし方が心配。

#### (15) 区への対応(3件)

- 上の子の出産が1月下旬、復帰を1月当初からということにしました。子連れで入園相談に行った際、ハナっから1月に普通の保育園の欠員があるはずがない、無理！の一言で、相手にして貰えませんでした。当時、実家が目白台にあったので、目白台の緊急一時保育所に入れました。バスで音羽に出て、毎朝実家に預け、お祖母ちゃんの出勤もあるので、そこから保育所に預けて貰い、帰りはお祖父ちゃんが一旦実家に連れて帰り、実家まで迎え、3ヶ月でしたが大変でした。最近の入園相談は少し改善されてきているようですね。
- 行政には、こどもを育てやすい環境、こどもの育ちを十分に配慮した施策を実施することがどんなに大事なことであるかを判って頂きたいです。将来に大いなる不安を覚えます。
- 2人目を出産する前、保育課の窓口で2人目の保育先を相談しにいった時の対応、一生、忘れません。「お母さん、いつ仕事に復帰されるのですか。自営業なので、復帰されないと、上のお子さんが保育園に在籍する要件がなくなり、退園させられますよ」という一言。「2人目が生まれておめでとう」という一言の前に、上の子が保育園を追い出されるかもしれないという説明を受け、保育課に対する不信感が一気に高まりました。

#### (16) 周囲の理解がない(2件)

- 出産前に一番つらかったことのひとつは、妊婦に対する思いやりのなさです。妊娠9ヶ月でおなかのすいかのように膨れ上がっているにもかかわらず、電車ではだれも席をゆずってくれません。優先席の前に立っても、です。二人子どもを産みましたが、席を譲ってもらえたのは通算で5回にも満たないです。生まれたあとも、小さな子どもとその親に対する社会の冷やかさには落胆を飛び越え怒りすら感じるようになりました。シビックセンターだってそうです。授乳室を使うのに、なぜ名前を記入しないといけないのか。オムツ替え台が整備されておらず、区との協議を傍聴の時に、やむなく給湯室の流し台を使っておむつを替えました。赤ちゃんをおんぶして少子化委員会を傍聴した時は、休憩時間中にベンチで授乳をしました。
- 子育てに関する社会の目が厳しい。「いじめが多いのも、少年犯罪が多いのも、今の親の育て方が悪い」といわれるのが、本当につらい。いじめも、少年犯罪も社会も勝ち負け社会にした社会全体の責任。子どもがいない人にも、子育てが終わっている人にも、子どもたちに温かい目を向けてほしい。

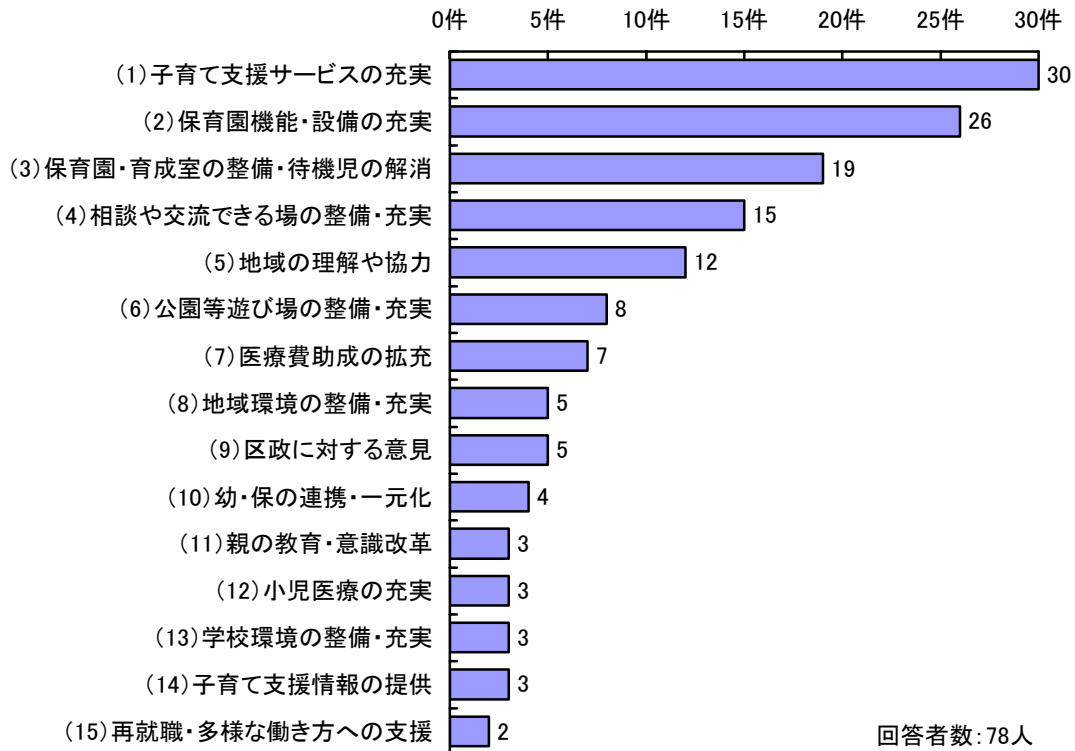
#### (17) 病院のこと(2件)

- 土日やっている病院が少ない。
- 信頼できる産院の確保や子どもの病院。

#### (18) その他

- 幼児を狙った犯罪が多く、外に自由に遊ばせられない。一人で外出させられない(来年から小学校通学なので不安。アメリカのように通学にも成人が付き添わなければならない社会になりそう)。
- 小学生になって、子どもが自分より先に帰宅することになり、寂しい思いをしていることが、時々、会話でわかる時。子どもが他人に迷惑をかけた時。
- 保育部長の発言にたいして、保育園に通わせている子どものほうが出生率が高い、というのは関係ないと思います。私は専業主婦だったとしても3人もうけようと思っていたし、就業しているのは「子どもはいつか自分の世界をもって巣立っていく」ものだと思い、自分自身の世界も大切にしようと思い、職についています。子どもにばかり集中してしまうと、ほかの子と比べたり、と自分の子どものおとっている部分にばかり目がいきってしまうし、ということもあります。子の数はその夫婦の考えであり、恵まれているからでは必ずしもないと思います。
- 自分の思い通りに子どもが動いてくれないとき。
- 送り迎えの時や運動会、お祝い会で他の子どものおじいちゃんやおばあちゃんの姿を見ることも、私にとっては辛いことです。最も辛いのは、保育園行事である祖父母の会です。我が家からは参加することは無く、それでも乳児クラスの時は辛いと思っているのは私だけで良かったのですが、幼児クラスになると子どもも自分のおじいちゃんとおばあちゃんは来ないということで寂しさを感じている様子で、なおさら辛くなります。
- 親同士の関わり方の難しさを感じています。
- 病院や習い事などの送迎。保育園と小学校のギャップ。

## 2. 子育てしやすいマチにするためにはどうしたらよいと思いますか？



### (1) 子育て支援サービスの充実(30件)

- お迎えから晩ご飯までとか、それだけでも気兼ねなく頼めるようなサービスが手近にあるといいな、と思います。あるいは、大学まで送ってもらうとか。それだけで、全然違うだろうと感じます。
- 親のちょっとした外出や仕事のときに、安心して利用できる一時預かり施設を増やす。
- 病院へ行くとき、体調が悪いときなど、一時的に子どもを預かってくれるところは必要だと思う。2人目、3人目をつくろうと思った時、自宅ですーっと小さい子を見ろというのは、なにかと不便が多くなる（買い物、お風呂、食事の支度など）。
- 前日までの申し込みで、半日とか9:00-16:00位の時間帯で、下の子を預かってもらえるサービスがあるとありがたいです。親が病気だとか、保育ができないような事情があるとかではないので、傍目にはそれほど差し迫った状況には見えないケースだと思いますが、自分の当時の状況からいって、あると本当にありがたいと思います。半日一日、上の子としっかり向かい合うことで、上の子が安定して、お姉さん(お兄さん)としてがんばろうという気持ちも生まれて、それによって母親も気持ちが安らぎます。悪循環から抜け出して、家の中がうまくまわっていくきっかけになると思います。
- 保育園には1歳児クラスから預けています。うちはまだ一人っ子なので、異年齢児との交流から言葉遣いやマナーなどを学んだり、いい刺激にもなっています。しかし、保育園は原則、共働きが条件なので専業主婦の人は保育園には預けられず、なかなか息抜きもできないと思います。そういうときに文京シビックセンターにある3階の“ちょっと預ける”制度の場所があったり、就業者で子どもが病気になっているときにでも、どうしても仕事に出なければ行けない状態の中で、病児を預けられる病院などがもっと普及すれば、子どもも産みやすくなるし、働きやすくなるのではないのでしょうか。
- 子育てに協力的でない夫のため、自分が美容院に行くために、新幹線に乗って大阪の実家まで帰る、という話を聞いたことがあります。そんなことのないように、人間関係がきちんとできた上で、安心して子どもをちょっと預ける場所が確保されていたらいいと思う。また、同じような観点から、出産後の「母親学級」のようなものを継続的にやったらどうだろうか？それも、なるべく近い場所で行うのがいいと思う。働いていない親としては、子どもが幼稚園に上がるまでがとても大変なので、それまでの期間について、何らかの方策を考える必要があるように思う。
- 幼稚園の空き室、閉園幼稚園などを利用した一時保育サービスの設置。基本的に一時保育とそうでない場合の保育は、現状では別の場所の方が利用しやすいと思います。

- 日常は安心して保育園に預けられるのですが、緊急に日・祝日に預けられる一時保育があれば助かります。父母連に加入している17園の保育園の保護者（その保育園の役員を筆頭に）がローテーションでその地域の保育の場所を確保し、時間を決めて保育をする。
- 宿泊を伴う緊急一時保育を整備する。親の病気、葬祭などへの対応、被虐待児の一時保護など。採算の取れない事業であることを前提にした事業運営が必要。虐待してしまう親に対する支援プログラムの整備（カウンセリング、ワークショップなど）。
- 文京区にも24時間体制の保育施設が欲しい。病中・病後の対応できる施設も…。
- もっと仕事を持つお母さんへのサポートを増やしてほしい。病後児保育や一時預かりの場所が増えると助かります。
- 病後児保育ができる機関増加、病後児保育時間の延長も考えて欲しい。
- 病後児保育ルームの増設、時間の延長も認めて欲しい。一時預かり施設の増設。
- 病後児保育の場所をもっと増やして欲しい。
- 病児保育をもっと増やす（預かる人員、時間など）。
- 病後児保育をもっと充実させてほしい。区内に1件では少ない。豊島区のように、産後支援（ヘルパー派遣）をしてほしい。
- 病気の子どもを預かってくれる施設があれば有り難い、と感じますが、病気の子どもを置いて仕事に行くには、親としての葛藤もあります。親の”気持ち”も一緒にフォローもしてくれるような安心して預けられる環境が必要。
- 子どもの熱が何日も下がらず病後児保育に申し込みをしましたが、キャンセル待ちで結局預けることができませんでした。文京区全体で1ヶ所は少なすぎます。病後児保育の増設を望みます。
- ファミリーサポートの充実を。ベビーシッターは高額。しかし我が家ではシッターを頼まないと現実的に迎えが間に合わない。職場復帰する際、ファミリーサポートにも登録したが、毎日の利用など、提供会員が少なすぎてとても無理とにもななかった。文京区はたとえば、地域のお祭りが盛り上がるように、地域のつながりが生きている。その地域と連携をとって、地域ぐるみで子育てをサポートしてくれる状況をつくって欲しい。地域でお互いが知り合えれば、防犯にも役立つ。
- ファミリーサポートも時々利用させていただいているのですが、「ちょっと預ける」という感覚には程遠く、よほどでないとは頼めません。金額的にはお安いと思います。
- ファミサポでは週3日しかあずかってもらえないし。シッターだと家にあげないといけないので、とても嫌なのでたのめません。
- ファミリーサポートセンターのような中途半端な制度ではなく、依頼会員のニーズにきっちりこたえられるベビーシッターサービスの整備が急務です。民間のシッターサービスは料金が高いうえ、1、2時間預かってもらうことができません。たとえば、区とどこかのシッターサービスが提携（あるいは区でサービスを新たに整備）し、例えば1500円の料金のうち、区が500円の補助を出し、利用者が1000円負担。最低2時間からでもサービスが利用できるようなしくみがあれば、一時保育の需要の相当部分は満たせるはず。一方、在宅で預かるのが困難な方もいるので、シビックのキッズルームなどで利用者が契約したベビーシッターが利用者の子どもをみる、という新しい仕組みがあってもいいのではないのでしょうか。つまり、区は安全な「場」だけ提供し、その中で提供されるサービスは区民と事業者で埋めていくというもの。
- 区ができることとして提案したいのは、これだけ暇そうにしているお年寄りが周りにたくさんいるのだから地域の子育て支援についてファミリーサポートなど、利用できるシステムをもっと広めてほしい。あてにならない祖父母より隣のおばあさんが保育園にお迎えに行き、夕ご飯を食べさせてくれたら近いし楽だな～。地域交流もできるし、と思います。
- 夫や実家に代わるサポーター制度を作る（自分で出向かなくとも、それぞれの家庭にサポーターを割り当てる、または保育園のような場所に週1回以上、通う制度を設ける＝内向きな母親を家に籠らせないようにするため）。サポーター、または特定保育園が一時保育を気軽に受け入れられる体制を整える。サポーター制度の延長で、家事援助なども行えるようにする、また保育園の送り迎えや病後なども気軽に預けられる「他人おばあちゃん」のような存在が欲しい。文京区はファミリーサポートシステムがほとんど機能していません。提供会員が少なすぎ、事務局の対応も悪くやる気も感じられません。私は台東区の依頼会員でもありますが、驚くほど内容に差があります。一度他区の体制など勉強されてはいかがですか？文京区はお金持ちが多くお互いが助け合おうという精神が低いのでは？と感じずにはいられません。
- 家事を安く代行してもらえらる仕組み。
- どうやって子育てしていいか悩んでいる人も多いと思うので、保育園以外の親子（乳児）にも、積極的な子育て支援（保育園体験やあそびを教える）が必要で、そのために区は予算や整備（受け入れ施設や保育者の確保など）を行うなどする。

- 産後保健師さんが訪問してくれますが、とっても安心できました。密室育児にならないように、継続的に訪問してくださいといます（私の場合は保育園に入園できたので必要ありませんでしたが）。いつでも来ます、と言ってくれますが、とりたてて困っていることもなく、わざわざ来てもらうのも悪いか、と思いましたので。
- 年齢にあったイベントなど。少し前に区が講演会を催していたが、確か「子どもと離れてリフレッシュ」みたいなことをかいていたのに、講演時の子どもの保育は有料というのは、親切ではないと思う。そういった内容の時にこそ、誰でもが利用しやすいように、保育無料で、多くのお母さんに講演を聞いてもらい、リフレッシュしてもらうべきだと思う。
- 子育て系の保健所のセミナーなどを平日ばかりではなく土日でも欲しい。
- 各地域で子育てが終わった人と専門性をもつ保育士・保健師などがグループでお泊まりも可能なハウスを運営する。点在させる事によりいつでもどこからでもどんな理由でもアプローチでき、保育園、幼稚園にもそこから通う事ができる。

## (2) 保育園機能・設備の充実(26件)

- 現在子どもは保育園に通っているが、経験豊富な先生たちに見守られ、また同じ年齢のみならず様々な年齢の子どもたちとともに生活することで、とてもいい形で成長させてもらっていると感じている。親の立場としても、保育のプロにみてもらっていることの安心感があり、非常に助けられていると感じるし、子育てが楽になっていると思う。就労していない人も保育のプロに短時間でも見てもらえるようなしくみがあれば、すべての子どもを持つ親にとって、子育ての大変さを軽減できるし、子どもにとっても親だけでなく様々な人と関わる機会を持つことで、経験が広がるのではないかな。
- 文京区には立派な公立保育園があり、先生方にはずいぶん助けていただいています。この公立保育園の豊かな保育を削るのではなく、これをより充実させて、施設と保育士を増やし、より多くの保護者が利用できるようにすれば、少子化も虐待も減るのではないのでしょうか？何より、先生方に余裕がなければ豊かな保育はできません。保育は市場化に馴染むものではありません。コスト削減ではなく、子どものより豊かな未来のために、どうやったら豊かな保育ができるかを考えていけるような区になってくれたらと思います。
- 保育園は、共に育ちあうことができ、また異年齢の友達とも接することができ、刺激をもらいあい、心が豊かになる素晴らしいところ。また、どの家庭も、どの園にいても、均等の教育（サービス）を受けられることも素晴らしい。母がどんなに家庭で頑張っても、体験させてあげられないことがたくさんできる。これからの子どもの育ちのためにも、今の公設公営保育園はなんとしても維持してほしい。保育園は「コスト」がかかる場所ではなく、未来をはぐくむ「投資」の場である。
- 地域で子育てすること。保育園の先生方の知識を、文京区の財産とみなし、保育園という名前を取り払って、地域全体のサポートをする核になる施設にしてほしい。例えば、保育園機能の残しながら地域の人たちが集まれる場にする。子どもが多く集まる分、おじいちゃんおばあちゃん世代の人のサポートしてもらう。
- 子どもを産んだからすぐに親になれるわけではありません。子育てには、経験とたくさんの子どもの見てきたことがとても大きな力になります。私は、保育ママさんや保育士の先生方にたくさんのことを教えていただきながら、ようやく親をやっているようなものです。不安や疑問を持ったとき、そのような方々からのアドバイスや、同じ保育園に通わせている人の「ウチの子もそうなのよ」という言葉にどれだけ助けられたかわかりません。保育園や保育ママさんのような公的援助は、仕事をする・しないに関わらず、専業主婦の家庭でも受けられるようにしたいと思います。地域のすべての子どもたち開放された保育園にはできないのでしょうか。
- どこかの自治体では、乳幼児健診を保健センターではなく、自分の家から一番近い保育園で受けられると聞いたことがあります。そこでは、地域の子どもたちを担当する保育園が決まっているとか。保健センターでも子育て相談や子どもの発育状況を把握することをしていますが、小さい子を持った親がそこまで行くことすら大変です。歩いて行ける距離にある保育園の中でその機能を果たすこと、また、預けたい時にちょっと預けることができれば、素晴らしいことだと思います。
- 防犯の点もあるのですが、保育園の子育て支援、門が閉まっていて正直なかなか入りづらいと思います。保育園を子育て支援の拠点にするのであれば、もう少し地域と関わるようにしていった方がいいと思います。
- 保育園、児童館等、子ども対象施設とそのスタッフの質向上。
- 保育園については、とにかく保育者の質を保って欲しい。保育のスキルはもちろん、人格的にも優れた保育者をそろえて欲しい。そのためには、社会で平均以上、公務員でも優遇された給与体系を整えて欲しいと思う。幼稚園教諭より保育園の保育者のほうが給与が低いなど、言語道断。大事なところには、きちんとお金をかけるべき。
- 仕事を持っているものとしては、保育園の問題は常に心配。上の子どもときは入園に関する情報も少なく、入れるかどうか出産前から不安だった。また今度はせっかく入園できたと安心していたのに、民営化の問題を知って、子どもの生活環境が脅かされるのではないかと常に心配がつきまわっている。民営化に反対ではないが文京区の保

育行政に安定的なポリシーが見えないため、今後子どもを安心して預けられるのかますます不安。仕事をしているものにとっては、安心して仕事を続けながら子育てする(あるいは子どもを産もうという動機が補強される)には、保育園の入園が確保され、また質の高い保育が受けられる保障があるという状況が何よりも必要。そうでないと子どもを持つことに二の足を踏んでしまう人も少なからずいるのでは。”

- 保育園がもう少し柔軟性があるほしい。保育士の人数が少ないようで、余裕なく見える。
- 子育てしやすいためには、安心して預けられる場所が必須。私にとって保育園ですが、この10年間にだいぶ変わりました。先生の数が減り、先生が忙しそうで大変に見えます。以前はもっと先生とお話できたのに。延長保育ももっと充実してほしいです。
- 保育園の防犯関係を見直してほしい(送迎の際の確認、警備員、男性の保育士を増やすなど)。
- 保育園は社会性がつき、異なる年齢の子どもと接することができずばらしい。また安心して預けられる、そして安全が確保されていることを望みます。
- 保育園・幼稚園の先生方にはプロとしての専門性や経験をふまえたお話を、もっと気軽に話せるような機会があるといいと思います。異年齢の子どもだけではなく、異世代間のつながりも良いと思います。
- 小さい子を保育園に預けるのは不安が多かったものの、実際に通い出すとお友達ができるし、生活面の自立も促されてよい経験です。親も余裕を持って育児ができると思います。しかし保育園はソフト面(先生方の接し方など)は安心できるものの、ハード面が悪いと感じることが多いです。時代遅れとしか思えない外観の保育園が多いし、新しい保育園は狭いです。区役所や都心のオフィスビルとのギャップの大きさに憤りさえ感じてしまいます。
- 「子育てしやすい町」。非常に難しいですが、「大変なこと」にも書いたように、子どもを安心して産み育てる環境があるかないかが重要だと思う。そのためには、保育園の充実・環境整備、地域の交流とサポートが必要だと思う。
- なんでもかんでも保育所に機能を持たせようとするのも、だれの利益にもなりません。一時保育と通常保育は相容れないものである(とくにスペース的に大きな制約のある文京の保育所の場合)ことは、米軍が実施した保育園改革でも証明済み。多様なニーズを追い求めるだけでなく、そのニーズを満たす適切な器が何なのかをきっちり見極める必要があります。
- 区立の保育園で、15時間くらいの保育をして欲しい。朝6時から夜9時くらいなら、子どもの睡眠にそこまでマイナスにはならないと思う。キャリアアップのため、育児休暇中に大学院に行く場合なども保育園で預かって欲しい。
- 保育園は、毎日楽しく通っています。上のクラスの子、下のクラスの子とも交流があるので、大家族のようです。安心して預けて働いています。先生方も本当によくやって下さっています。保育園のソフトや教育面にこそ公的補助が必要だと思います。いらぬ箱物にお金をじゃぶじゃぶ使うのはやめましょう。
- 働いていても子どもを預ける場所がない。また働いていなくても、子どもを預けて集団生活させたほうが、子どもにとっても良いことだと思う。3歳から幼稚園に預けることはできますが、それ以前にも預ける場所があっても良いと思う。子どもと1対1ではしつけなどもなかなか難しく、ストレスもたまり、虐待やノイローゼなども起こりやすいと思う。
- 幼稚園、保育園とも、必要なときに必要なだけ、保育を受けられるよう、かつ、幼稚園も保育園も、将来の立派な市民を育てる、という視線で存在して欲しいと思います。そのためには、幼児教育をもっと必要不可欠なものとして、思考や教養の土台を作る、位の視点で行って欲しいと思います。そうすれば、自然と、保育士、幼稚園教諭が、一生誇りを持ってできる仕事にならなければいけないし、それに見合った社会的地位が必要だと思います。
- 保護者の負担を軽減することが重要だと思います。たとえば、おむつに全部名前を書く、着替えを4着用意する、夏のプールの準備に、着替えとおむつをタオルでくるんで所定の場所にゴムバンドでとめて置くなど、細かな負担が大きいです。以前、引っ越し前に通園していた保育園では考えられないことです。お役人的な前例主義ではなく、どんどんと現場を改善していくような動きを期待したいです。
- 保育園の存在はとても大きいし助かる。0歳児のときは仕事をしているため預けることに抵抗もあったが、夜7時すぎまで預かってくれるのでなんとか仕事を切り上げて帰ってくる事ができる。
- 保育園は親にとって、オアシスです。たまたまよい先生にめぐり合っているからかもしれませんが、子どもの自分気持の表現させる、いろんなことをやる気にさせる、社会生活の基本(マナー、相手の話をきく、相手の気持ちを考える、気持ちよく過ごす)など、本当に子どもを導くのがうまいと思います。親のお手本とも思えます。
- 保育園の良いところは、子どもの幼さや弱さを受容し、共感しながら、成長を促す、気の長〜い関わり方をしていること。福祉職と教育職の基本発想の違いを感じる。

### (3) 保育園・育成室の整備・待機児の解消(19件)

- 働くお母さん達のためにも保育園や育成室を増園(もしくは先生の人数を増やし、現状園で預けられるようにする

＝待機児童を少しでも減らせる)。

- 保育園、育成室の待機児童をなくし、働く親をサポートして欲しい。
- できれば保育園や学童保育は希望すれば必ず入れるようにしてほしい。
- 公立保育園そのものの拡充（新規増設、敷地拡大などによる定員増加）。
- 待機児童は当然ゼロにする、途中入園も常時可能なように十分な保育施設を増設（民間委託はダメ）する。
- 保育園をもっと増やす。
- 保育園の数を増やすこと。
- 保育園、育成室の延長時間の拡大、受け入れ人数枠拡大を。
- 保育園の数を増やし、親がゆとりをもてるようになれば、少子化も防げ、虐待などもなくなると思う。
- 共働き世帯にとっては待機せずに、保育園に入園できることが望ましいです。保育園の良いところは異年齢交流が盛んなことです。一人っ子や長女、長男にとっては上級生を身近に感じたり頼もしく感じることができるし、上級生にとっては下級生に対して加減しながらの付き合いが学べる良い機会だと思います。何かと弱者に対する犯罪が多い世の中ですが、人と人の関わりについて、思いやりについて、学べる機会を増やすことは重要だと思っております。
- とにかく保育園の数が足りません。25%の整備率が妥当とは思えません。コストセンターとしてとらえるのではなく、将来に向けた先行投資という考えをまず保育課に持って欲しいです。逆に、その投資を怠るのは責任放棄であり、区民からみれば大きな機会損失となります。その責任を区にはもっと自覚して欲しいです。そうでなければ何も変わりません。
- 「待機児童の解消」は絶対必要だと思う。それだけでも、誇りに思える行政ではないかと思える。地区によってばらつきがあるかとは思いますが、これから入園を迎えようとする園児達に対しては、現状に柔軟に対応できる増設や保育士増員することで、その年その年の必要な保育施設の数を是非確保してあげていただきたい。
- 保育園の数が少なすぎる。共働きの家庭は、今や半数を超えるはず。しかし、母が働くには保育園の存在が必須。元来子どもは授かりもの、そして育児休暇も1年あるにもかかわらず、保育園入園のために、計画出産をしたり、育児休暇を切り上げなければいけない現状はおかしい。区として働く母を責任もってサポートして欲しい。それが、少子化対策にも絶対つながるはず。
- 出産後の母親へのサポートや、子どもを安心して預けて働けるよう、保育園や学童保育の充実などを望みます。これらは、やはり行政が責任をもって行うべきことで子どもの育ちに関することに安易に市場原理を持ち込まないで欲しいと思います。また、最近では、子どもをまきこむ悲しい事件も多いため、防犯対策などもきになります。
- 小学校4～6年の間も、預かってもらえる機関が欲しい。
- 育成も小6まで必要！
- 育成室も待機児童がいるらしいが、今から不安。働く親にとっては、育成室に入れなければ、仕事をやめるしかない。仕事は今の時代、一度辞めたらなかなか再就職は難しい。核家族化している今の時代の働く母親を心底サポートしてほしい、と思う。繰返しになるが、それが少子化にもつながると思う。
- 学童保育の終了時間が他の区よりも早く、働いている母親にとって精神的にも負担がかかるので、もう少しどうにかならないか。
- 育成室が、もっと「家庭」の代わりとなるような場所になるといいな、と思います。

#### (4) 相談や交流できる場の整備・充実(15件)

- 各地域に、子育て駆け込み寺のような、悩んだり、困ったりした時に相談に行ける場が欲しい。そこには、世話好きのお仲人おばさんのような方がいて（団塊世代の知識や能力・経験を生かすことができる）、この相談にはこの方を紹介して、といったコーディネートをお願いできたら素敵だと思う。地域の教育力も上がるし、挨拶が飛び交う、不審者を地域でチェックするような雰囲気もでき上がるのではないかと思います。
- どんなことでも話し合える場所がほしい。「お互い様」といえるような他人とのコミュニケーション作りができる環境。子育ての知識を高めたり共有できるような講座やサークルがあるといい。
- 子ども達同士が触れ合えて、ママ友達ができる場所や情報交換ができる場所が増えればいいなと思います。
- 育児においても様々な相談機関や利用しやすい施設がある。
- もっと、お母さんお父さんが駆け込みやすい場所があればいいと思います。
- 家庭で一日中育児をしていた3年間は、やはり密室育児になりがちだった。当時住んでいたのは文京区ではないが、公共の育児広場のようなものは、月に2、3回程度の開催だったので、いつでも利用でき、就学前児の子育てについての専門家が常時駐在しているような施設があればさらによいと思う。



- 子育て関連の悩みをメールで子育て経験者、保健師や保育士など専門家（OBも含む）などにいつでも相談できるサービスもあるとよい（日中決まった時間しか相談の電話ができないと仕事や子どもの相手などで忙しく電話しにくいので）。そういうメール相談で子どもの虐待などの恐れが見つかった場合には継続してサポートできる体制もあるとよい。
- 現在の保健センターでの「子育て相談」は最悪です。カウンセラーと1対1で相談するよりも、たくさん子どもたちと一緒にいる自分の子を見る、他の親と話をすることが、子育ての不安をなくすことになり、親の知り合いを増やすことが、密室での育児を防ぐことになると思います。
- 子どもは2人とも1歳から保育園に通園しているのですが、小さなうちから大勢の子どもたちと接することで、いろいろなことを覚えてきたり、刺激を受けることも多いようです。特に異年齢の子たちとの交流は、兄弟で遊ぶような感覚を味わえる、貴重な場だと思います。たとえば、保育園以外にも、小さな子どもたちが自由に遊べる場を多く提供してもらえると、子どもたちの交流にもなりますし、親同士の情報交換もできます。現在も子育て広場が区内数ヶ所にあるとは思いますが、大人だけの行動範囲としては近いものでも、小さな子を連れて行くには遠いかな・・・と結局利用できる人が地域限定ではもったいないですね。区内の空き施設を使ってもっと多くの場を提供してもらいたいです。
- 学校とは切り離れた児童館の充実を提案します。乳児期から近所のお母さんや子どもとの社交場として毎日でも行きたい場所です。通学路が暗かったり遠かったりする場合も多く、学校とは切り離して地域の中に場所を作るべきだと思います。
- 児童館での引き続き、午前の会だけでなく、午後も親子で楽しめるようなメニューを増やす。0歳児のお母さんも気軽に参加できるような会をもっと町内会の掲示板などに貼る（わらべうた・体操・絵本の読み聞かせなど）。区報にどんどん情報を載せる。びよびよ広場も良かったが、なんとなく閉塞感があった。保健所で離乳食作り・幼児食作りの会などを増やす。地域のボランティアさんに、もっと児童館や小学校の校庭開放で小さな子が遊べるような環境作り。ただ、どんなに宣伝しても、来ない人は来ないですね。保育園は異年齢の遊んだり、関わったりする機会があり、子どもは楽しいようです。先生も保護者のことをいろいろな意味で助けてくれるので本当に助かっています。
- 児童館などで赤ちゃん連れが集まりやすい企画を多くする。また、それらの情報をホームページ上で見られるようにする。
- 子育てが大変だと思うのは、人のうわさや雑誌の情報にまどわされることがあるからだと思います。また、どこにどういった相談をすればいいのかわからないのも不安をあおる原因だと思います。
- 母と子の集まりを政治的な婦人団体等に牛耳られないよう、区が主催する会を設けて欲しいと思います。根津の地域センターで集まっていた「ひよこの会」では、場所を借りるために会費を集めて集まっていましたが大変盛況でした。こういった集まりこそ区に率先して場所を提供していただきたいと思います。
- 子育てしている人が交流できる場を作るだけでなく、誰でもアクセスしやすいようなものにしていくことが必要だと思う。具体的には、物理的に拠点をたくさん作ること、またそういう場所があることがもれなく子どもを持つ人に分かるようにしていく、その場を適切に調整できるスタッフの配置（例えば保育士などのプロや子育て経験者等）など箱物や場所を設定して終わり、ではなく、運営面でのきめ細かさ、継続性も重要だと思う。

#### (5) 地域の理解や協力(12件)

- おもにセキュリティ面で、地域の人とのコミュニケーションをもう少し増やしたい。マンション暮らしなのであまり地元の人とはやりとりがないので、保育園などを通してもっと仲間を見つけたい。不審者や子どもへの犯罪は、互いに見知らぬものであることから発生すると思うので、皆がもう少し地元の人を知り合うことが大切だ。
- 地域にどんな子どもがいるか、どんな人がいるか、皆が関心を持てる町にしたい。子どもを持っていない人や普段かかわらない人とも、子どもがかかわったり、子どもに関わってもらえるような場があるといい。地元の人の仕事取材に行くとか、交流の場を設けるとか・・・。子どもを育てることは特別なじゃないし、子どもは特別な存在ではない。皆子どもから大人になっていくんだから、大事な未来の社会の一員として考えられるようなムードがほしい。
- 地域ぐるみの子育てサポートシステム。
- 近所ぐるみでの子育てが理想です。安全安心の面から、子どもも顔見知りの多い町のほうが、どこに遊びに行っても安心できると思います。また大人の目が多いほど犯罪防止に役立つのではないかと思います。
- 顔の見える関係を築く。保育園への行き帰り、自然と言葉を交わすようになった近所の人達との、ほんのちょっとした子どもに関わるやりとりが、子どもにとっても親にとってもプラスになっている。顔の見える関係を深くするのがベスト。顔を合わせる機会を意識的に作っていくことが大事。例えば周辺商店街のお祭り・イベント情報を頻繁に保・幼・小に流す（以前、毎日通っている商店街のイベント情報が至近の人達にしか伝わってなくて、後で「ど



うして来なかったの？」と言われて残念だったことがあった)、もしくは至近の高齢者施設や自治会と合同イベントをするなど、“連携”を高める。

- 町内には、子どものこと、子育てのことを気軽に話したり相談できる人が身近にいてくれるとありがたい。保育園に通っていれば、先生方や他の保護者との交流を通じて、子育ての参考にしたり、癒されたりする機会が得られるが、そうでない場合、孤立した親たちはどのようにして機会を作るのか？お隣のおばちゃんのような人が、ときどき教えてくれたり助けてくれたりすると、本当にありがたいと思う。もっと、子どもをやさしく暖かく受け入れる雰囲気を作って欲しい。
- 地域のつながりがあるとだいぶ違うと思います。
- 子どもが1人で歩いていても安全な町にする為にも地域住民の活用がもっと必要である。
- 保育園では敬老の日の頃に祖父母の会を開くことになっているようですが、我が家以外でもおじいちゃんやおばあちゃんに来てもらえず寂しい思いをしている子どもはいると思います。いつもお世話になっている祖父母への感謝の気持ちを表すためのようですが、それは家庭でできることです。運動会もお祝い会も両親と同様に見ることはできますし、普段の様子を見たいということであれば保育参観の時にも祖父母の参加は可能だと思います。現状の祖父母の会よりも地域との交流を通して、お年寄りを敬う気持ちを教えては如何でしょうか？
- 普段から顔見知りになるように挨拶をする。
- 地域で子育てするという意識への広報活動→区の予算増。地域での子どもに関する行事(ボランティア)等を増やし、人と関係(面識)をつける→子どもを見守る目(人)を多くする。
- 大人が子どもの幼さ、弱さを、見守り、共感的に関わり、成長を待つ、という意識改革・啓蒙(特に教育委員会以下教育公務員、保護者を対象に)が必要。子どもを叱ったり、抑えつけたりして服従させることを是とし、強圧的なしつけをしない親を責め、孤立させる風土が、親を孤立させていると思う。

#### (6) 公園等遊び場の整備・充実(8件)

- 子どもだけで外遊びさせられるような環境づくり。
- 身近な公園・遊び場の提供。
- 子ども達が安全に安心して遊べる場の提供(公園も見通しを良くする)。
- 子どもが安全に遊べる大きな公園を作って欲しい。
- 子育てしやすい街のためには、公園の整備を切に希望します。公園こそ民営化して、隅にカフェを併設したりして、地域の人々がつい寄りたくなるような場所、そして子どもを安心して遊ばせられるような場所にして欲しいです。今の状態では場所の無駄遣いです。
- 子どもが安心して遊べる場所を確保する。遊べる場所とは、整備されたところだけでなく、ただの原っぱ(都内では厳しいですが)、広～い場所で走り回れるだけでもよいのだと思います。最近では廃校になった小学校などの跡地を、プレーパークとして活用している自治体もあります。
- 小さな子どもを連れていても危なくなくて遊べる場所がもっと増えればいいなと思います。大人も同時にゆっくりできるならなおいいですね。
- 文京区は意外と公園があり、子どもと楽しんで遊んでいるが、休日でも遊べる児童館がない。実家(埼玉県上尾市)には、休日でも遊べる児童館が充実していて、体育館もついていて幼児が遊べる大きくやわらかいボールなど、たくさん遊具も有る。最近2館目ができたそう。使い勝手もとてもいい。

#### (7) 医療費助成の拡充(7件)

- 乳児医療費を小学校終了時までにする。
- 子どもの医療費無料の年齢アップ。
- 例えば小学生の医療費を無料化。
- 医療費も小学校6年生まで助成してほしい。
- 小学校6年生まで医療費をタダにして欲しい。
- 他の区では実施していますが、医療費の補助の拡大(←これって大きいと思います)。
- 未就学児童の医療費が自己負担ゼロと言うのはとてもすばらしいが、それ以降も病気やケガは続く。義務教育終了までそうしてもらいたい。自己負担ゼロが家計も親の子育ての中の精神状態も安定させる。

#### (8) 地域環境の整備・充実(5件)

- 小学生が子どもだけでも安心して歩ける町にしてほしい。たとえば、挨拶運動の徹底、街灯を増やす、警察や地域の人のパトロール強化などを。
- 変質者が出たり、泥棒が出たりしない安全な街になれば子育てしやすくなると思います。
- 安心して赤ちゃん連れで出かけやすいようなまちづくりをしてほしい(例:駅にはエレベータとおむつ換え場所を設置。今不便なのは三田線春日駅)。
- 通園・通学・通勤時のまず思うこと。それは、きちんとした歩道の確保。歩道に自転車が置いてあることも多く、その上、歩道そのものが狭く、危ない(歩道の幅や電信柱が歩道の真ん中にある)。
- 子ども連れで入れるよう、広い座敷のある喫茶店や飲食店がもっともっと増えるといい。子どもがいても親が楽しめる場所をもっと作ってほしい。

#### (9) 区政に対する意見(5件)

- 区長によい方を選ぶ。区議会議員も、党に流されることなく、しっかり考えをもってほしい。区の幹部にもまっとうな人を入れる。
- 区長の一曰せんせい体験。区の子どもに関わる部署の人はもとより、区民に存在をアピールしたいのなら、区長が「一日保育士(一日園長ではない)」「一日小学校の先生」など、年に最低1回ずつ、区内全園・全小学校で過ごすと思う。そこから、子育てしやすい町への何かが生まれるかも知れない。
- もっと住民の意見が区政に反映できるシステムを作ってほしいと切実に思います。区の職員のための行政ではなく、住民のための行政をやってほしい。
- 税金、医療をはじめとした制度の充実。保育施設や職員の柔軟性を切望します。前例踏襲ばかりで新しい試みをしていない、他の自治体を真似するだけの施策などでは意味がない。また、「文の京」自治基本条例に基づく協働協治というならば住民の意見は必要不可欠ではないのでしょうか?
- 本物の保育ビジョンを考えるなら特区申請ぐらいする覚悟で区には取り組んでほしい。

#### (10) 幼・保の連携・一元化(4件)

- 保育園、幼稚園、小学校、すべての管轄の部署が、縦割り組織を超えて繋がりあい、真剣にトータルに「子どもの育ち」を考えてほしい。たとえば、保育園・幼稚園から、小学校入学に際し「この子はこんな個性の子」のような申し送りがあったら、小学校の先生も、子どもの理解の役に立つのでは、とか。
- 保育園でも、保育にとどまらず、きちんとした教育を受けさせて欲しい(幼保一元化が良い)。保育園にも教諭を置いて欲しい。
- 公立よりも私立の幼稚園に人気がかたよっているように感じるので『公立幼稚園』撤廃。その分を私立幼稚園、公立保育園への補助にまわす。
- 幼保一元化。保育園ベースで。幼児教育は不要。それよりも看護師と栄養士の配置のほうがずっと重要だと思う。親以外の人(保育園の先生、学童保育の指導員)が、継続して子どもの成長を見守り子どもに長く関わってくださることが、親にとっても何よりも心強い。健康、遊び方、しつけ、食事の与え方についても、見知らぬその場限りのカウンセラーではなく、子どものことを日頃からよく見ている先生方や看護師さん栄養士さんに相談できることがどれだけ助けになっているかと毎日思う。母親の仕事の有無に関係なく、多様な大人がひとりひとりの子どもに継続的に関わる機会が、区内のすべての家庭に平等に保証されることを切に望む。

#### (11) 親の教育・意識改革(3件)

- 親に「親の資質」を身に付けさせる教育。
- 親は、子どもの生活リズム(朝起きて夜寝る)に合わせた働き方を。22時までの残業が可能な保育サービスを求めるのではなく、子どもと夕食を食べ、団らんし、その後、子どもが寝ている間に早朝というか深夜から働いても良いのではないか?親が要求するサービスに応える方向で、子どもの福祉を害する保育改革がなされることのないようにして欲しい。
- 保護者同士、我が子以外にも声を掛けたり、注意したりできる関係を築けたら良いと思います。人それぞれに考え方の違いがありますので難しいと思いますが、話をする機会を増やすことで少しは改善されるのではないのでしょうか?プライベートで、というのは人付き合いの得て不得手もありますので、保育園等の協力が必要と思います。

## (12) 小児医療の充実(3件)

- 小児科専門医師のいる診療所の充実。小児科医の当直する病院の充実。
- 小児専門医院を増やすこと。
- 医療面でも診察時間の延長があると嬉しいと思います。

## (13) 学校環境の整備・充実(3件)

- 安心して子どもをその地区の学校へ通わせることができる環境が整っている町に住みたいと感じています(具体的には、先生の質が良く、学校設備が整っており、教育方針を保護者にわかりやすく説明してもらえるような学校)。
- 小学校1、2年生は区内全小学校全クラスで、2人担任制に加配する。これにより、ポーターの子どもも排除せず一緒に成長することができるようになる。「元気すぎる子」の親も肩身の狭い思いをしなくて済むようになる。全ての子どもについて、特別支援教育で導入される個別指導プログラムを作成し、障害のある子もない子も一人一人にあった援助(学力の定着、人とのコミュニケーション能力の向上など)を受けられる体制をつくる。
- 学校の配置見直しは困りものです。少人数が良くて今の学校に通っているのに見直されて大人数になったら先生がちゃんと見てくれるのかとても心配です。

## (14) 子育て支援情報の提供(3件)

- 文京区の保健所主催で3-4ヶ月の赤ちゃんを集めた交流会や離乳食講習をやっていたが、この告知を区報や文京区HPに載せてほしい。とにかく徒歩圏内に友達ができるのが重要だと思った。子どもが居るとなかなかPCを開けないので、携帯のサイトやメールに、交流会やイベントなどの情報があると嬉しい。児童館は行ったことないですが、児童館のイベントも載っていると利用したかも。
- 子育て支援関連情報は子育てポータルなどWebで一元管理・提供されていて、予約や申し込みもWebや携帯電話からできるとよい。
- 子どもがいる家庭に、その地域での子育て支援状況を妊娠時や出産時、転入時に教えてくれればいいのにと思いますが。調べるのもなかなか大変ですから。

## (15) 再就職・多様な働き方への支援(2件)

- 出産等で退職した女性の復職支援として保育サービス付研修サービスやeラーニングサービスなどもあるとよい。
- 時短やワークシェアリング、働き方を少しスローにできる環境があれば、子どもにも余裕を持って接することができると思う(←これは「子育てしやすい町」とはちょっと違いますが)。

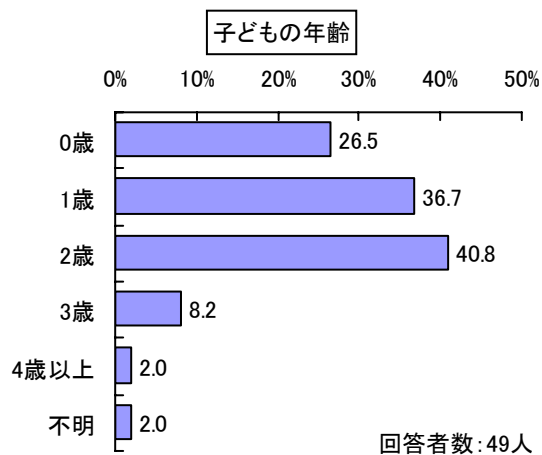
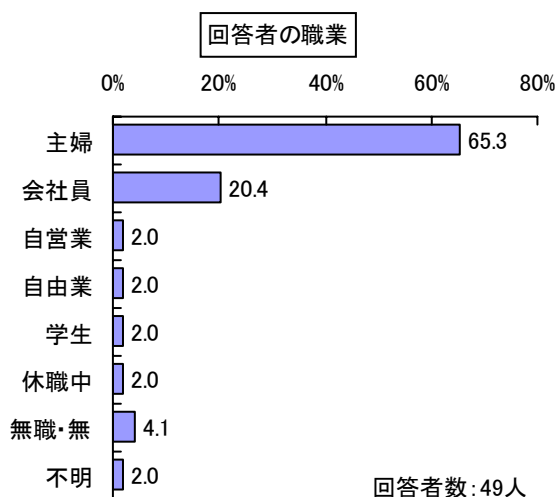
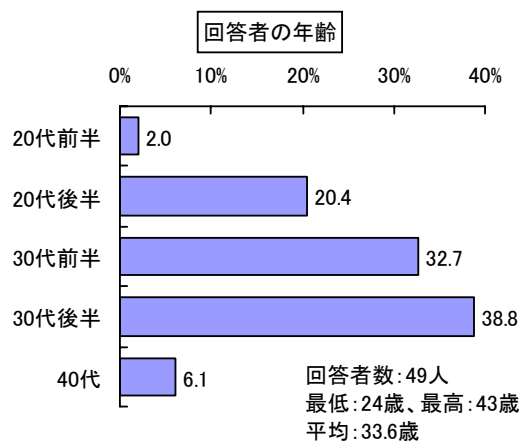
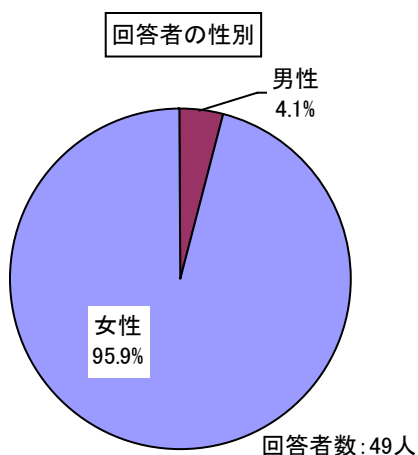
## (16) その他

- 出産、子育てが「人生の中抜け」にならないようにしたいです。子どもを産んで育てるのが当たり前で、それがデメリットにならないよう、自分の選択肢が尊重される社会だといいですね。
- 会社がやらなきゃ区が手当てを出して父親の子育て育児休暇支援をするべき。父親の帰りがだんだん遅くなり、子育ての負担、家事の負担は母親に重くのしかかり、父親は家事・育児下手になり悪循環を生み出しています。
- 先日、配られた金券はそのときは嬉しいと思うけど単発なものなのであまり意味はないといつも思います。
- 行政、地域、保育園、すべてが「おもしろい」の気持ちで持てる余裕があることを望みます。
- 区が出産・育児をサポートする万全な体制をアピールできていれば、安心できるかと思います。体制というのは、金銭面(通院・入院の助成金など)や生活面(たまには親もリフレッシュできるように一時保育の充実、公園設備など)など色々あげられるかと思います。
- 保育園に行ったおかげで、子どもだけに友達ができたのではなく、親同士も友達になれ、育児の悩みや仕事の愚痴なども話したり、ストレスも解消できる。また、近くに知り合いがいなかったのが、知り合いができたことは色々安心です。小学校入学は心配だったが、友達がいることは子どもも親も少し安心になった。またそれほど規模の大きな学校でないのが、先生とも意思の疎通がはかれたのはよかった。

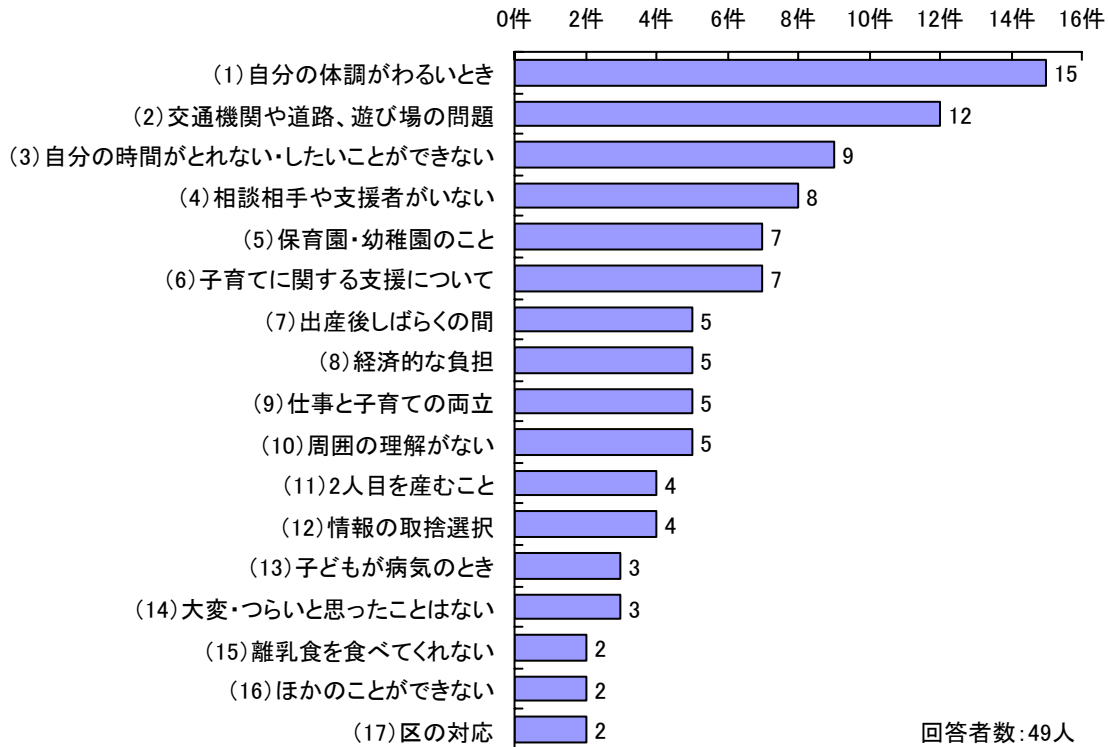
## 子育てしやすいまちに関するアンケート調査 回答結果②

[ 回答者の基本属性 ]

- 回答者数は 49 人。
- 回答者の性別は、95.9% (47 人) が女性
- 年齢は、約 4 割が 30 代後半で、平均年齢は 33.6 歳
- 職業は、65.3% (32 人) が主婦。
- 子どもの年齢は、2 歳が 40.8% (20 人)、1 歳が 36.7% (18 人)



# 1. 子育てが大変(大変そう)、つらい(つらそう)と思った(思う)のはどういう時？



## (1) 自分の体調が変わるとき (15 件)

- 風邪をひいてしまい、母乳のため薬も飲めず、夜中まだ何回か授乳してた時。
- 子育てが大変つらいと思ったのは、自分が病気になったり、子どもが重い病気にかかったりして、育児に支障がでた時。我が家は、夫婦ともに実家が遠方で、両親の援助も望めないの、子どもの出産から約 2 年間、2 人だけで何とか子育てをしてきた。私が病気になった時は、育児に支障をきたし、夫が会社を休む等して、何とか乗り越えてきた。
- 体調をくずした時。子どもは、ようしゃなく色々要求しているの。
- 最初につらいと思った事は、自分自身の体調が悪くなってしまった時。持病の腰痛（ギックリ腰）がひどくなり、全く動けなくなってしまった。その時は、実母が比較的近くに住んでいる為、全て母にお願い出来たが、もし、お願い出来ない状況にあつたらと考えるととても不安になる。
- 主人と 3 人家族のため、助けをお願いする人が近くにいない。自分の体調がよくない時などは、とても大変に感じる。
- 病気をした時、どう対処していいか迷う事がある。
- 実家が遠いため、子どもが病気の時や自分の体調が優れない時の不安が大きい。近くに頼れる親類がいない。
- 自分の体調が優れなくても休めない。
- 自分が風邪をひいたり、具合が悪いときに子どもの世話をする時が一番辛い。
- 自分自身が病気のと時の育児。
- 子ども、もしくは自分が病気になった時。
- 自分が病気の時、また引越しの時などに誰か 1~2H でもいいから、子どもを見ていてほしいと思っても気軽に預けることが出来ない時。
- つらい時は、自分の具合が悪い時でも育児をしなくてはならないので、風邪をひかないよう注意した。
- 自分の体調が優れない時。気軽に病院に行くことも出来ない。
- 私の実家が名古屋で、主人の実家が大阪な為、自分が病気になった時とかに、子どもを預けられず、困ったことがあった。早朝から預かってもらえる施設があつたら助かる。子育ては大好きなので 2 人目も欲しいが、そういう問題が解決できないとふみこみにくい。

- 自分の体調が悪いとき、誰も頼りにできず、子ども（2人）と3人になるときがつらかった。近場に両親はいるものの仕事をしているため、そうたびたびは見てもらえず、主人も仕事を家に持ち帰ることも日常茶飯事。ベビーシッターは1時間3,000円と聞き、なかなか預けるといいうのも自分に許しがたくて…。

## (2) 交通機関や道路、遊び場の問題 (12件)

- ベビーカーで移動が多くなり、歩道を通る時に歩道が傾いているので、とても押しにくく大変である。できれば平にしてほしいと常々思う。
- 駅構内に階段しかないところが多く、ベビーカーでの移動が大変（駅員さんで手伝ってくださる方はほとんどいない）。
- 交通機関で階段しかない所があり、ベビーカーで移動するには大変だった。
- 狭い道なのに車通りが激しい道を通らないといけない場所に住んでいるので、子どもが車にぶつからないか心配。
- 歩道に停めてある自転車が邪魔でベビーカーで通りづらい。子どもを歩かせても前後からくる自転車の人をよけるためにいちいち立ち止まらなくてはいけないし、危ないので迷惑な場所に停めてある自転車をもっと頻りに撤去してほしい。
- 公園で遊ばせたいと思っていても、そこを家(?)のように使っている方が多いので、なかなか遊ばせることができない。
- 子どもを遊ばせる場に児童館がある。しかしこの児童館、未就学児は午前中の時間に限られているのがほとんどだ。子育て広場も利用するが、西片は急な坂の上であり、体調によっては行く事すらためられる。幼稚園を開放している所も、お弁当を食べたら解散か、お弁当を食べられる日にも限りがあるものばかり。隣接した千代田区、新宿区、豊島区には、幼児が一日過ごせる施設がある。
- 下の子が小さいときから上の子と2人を連れて遊びに行くところがあまりなく困った。
- 子どもが安全に遊べる場所を探すのが大変。
- 子どもが歩くようになって、家の中にいるより、外に出てお友達と遊ぶことが多くなったのは良いが、やはり、雨が降っていたり、これから冬になり寒くなってくるので、外出が困難。でも、だからと言って一日中家の中にいると泣くので天候によってつらいと思う事がある。
- 子どもとずっとふたりきりで家に閉じこもらざるをえない時（天気が悪くてお散歩に出られない。遊びに行ける場所がない）。
- 遊び場のこと。文京区の児童館は古い施設が多く、規定も多くて使いづらいので、私達は新宿区や豊島区の遊びやすい児童館をよく利用している。子どもがハイハイ～ヨチヨチ歩きくらいの頃は、公園にも行けず、曜日や時間を決められている児童館しか行けず、とても不自由だった。今でも夏休みなど大きい子どもたちが多い時期は、暗に“幼児は来ないで欲しい”という意味のポスターが貼られ、遊び場所に困る。

## (3) 自分の時間がとれない・したいことができない (9件)

- 近所に家族がいないので、子どもを預けられず、歯医者や美容院など自分の用事を済ますことがなかなかできない。
- 自分の時間がほとんど、とれなくなったことが一番つらい。どこへ行くにも子どもと一緒になので、時々自分一人の時間が欲しくなる。
- 辛いなぁと思ったのは、自分の時間がなかった事。2歳になった今でも自分の時間はほとんどないが、乳児の時は母乳の時間などがあり、なかなかゆっくり出かけられなかったが、最近は子どもと一緒に出かけられるようになり、だいぶ気持ちが楽になった。
- 当然の事だが、自分の時間がなくなる事。
- 日々成長する子どもとの時間はとても楽しいものだ。しかし、専業主婦は子どもと離れる時間がないのも現実だ。働いていれば通勤電車の中で本が読める。ランチだって一人で食べられる、と仕事の大変さはともかく、うらやましく感じることもさえる。
- 周りの人々からは、落ち着いて育児をしているように言われるが、私自身は全くそのように感じることはない。子どもに対してどう言ったら（褒めたら、叱ったら）いいのか、何を食べさせたらいいのか、ダメなのか、落ち着いて考える時間もないので、その都度できる事をやっているが、正直自信がなくてやっている事はあまりない。でも子どもは元気に育ってくれているので、寝顔を見てホッとしている。自分のストレスの軽減ということもあり、仕事を少しずつやっていきたいと考えているところだ。現在は子どものお昼寝の時に少しずつやっている。また、夫の休日あれば、夫にも子どもと1日遊んでもらい、私の時間にしてもらうよう協力してもらっているが、限界がある。急に依頼があり1~2週間程忙しくなるという感じなので、急な仕事でも一時的に子どもを預ってくれる保育施設を探し始めているのだが、自分に合ったものが見つからない。子どもという学ぶ事もたくさんあるので、

保育園に預けるのではなく自分の時間をつくるために（仕事、買物など）サッと対応してくれるような場所を見つけようとするが、病気や風邪の時でも緊急事態でも予約が必要との事で、子どもを預ける事は少しあきらめているところもあるが、子どもとやっていきたいと思う。

- 今でも大変と思うのは、一日中気が抜けないことである。少しでも一人で息抜きしたいと思う時がある。あとは、細かい悩みで（夜泣きや離乳食など）。同じ状況のお母さんなどと話せる場があれば、気が楽になる。
- たまには一人きりになりたいと思うことがある。いざ一人になると子どものことが気になって仕方ない。なんやかんや不平不満を聞いてくれるお友達（母、主人）がいるので、楽しみながら子育てしていると思う。
- 自由な一人の時間がまったくない。

#### (4) 相談相手や支援者がいない(8 件)

- 自分一人で問題を抱え込んだ時、相談する相手（グチを言うだけでも）や時間がないと、辛くなる。
- 子どもが熱を出した時など外出できず、買物や家事など手伝ってくれる人がいないのが大変である。
- 仕事復帰する際に、一人で登録や手配をしたので、相談できる人がいなかった事。
- 自宅で絵を描く仕事をしている。出産までは体の変化に左右されていたが仕事はできていたのだが、出産してからはほとんどできなくなった。家での仕事なので出産後もできるものだと思っていたが、育児が生活のほとんどとなり、仕事をする時間はほとんど・・・というかほぼできない状態になってしまった。妊娠中に子ども（赤ちゃん）をどうやってお世話するのか、育てていくのか、人から話を聞いたり本を読んだりなど自分なりに情報を集めていたのだが、いざ子どもが産まれて世話を始めてみると、本当に何から何まで自分一人でやらなければならない、想像よりもずっと大変だった。夫も毎日帰りは夜 12 時近くになるので、日常の中で一緒に子どもの世話をするという状況にはならず、1 日のほとんどの時間を子どもと 2 人で過ごす事になり、初め（出産してすぐ）はそれがとても辛く感じた。子どもは本当にかわいいのだが、辛い気持ちやイライラした気持ちは 1 日のうち何度かあり、今でもどうしたらいいのか、どうやってストレスを解消したらいいのか考えている。子どもは悪くないのにイライラして子どもに当たってしまう事もあり、後になって後悔しているが、その時は気持ちを止める事ができない。
- 辛いことは、1 人で子育てすることだと思う。核家族で夫の帰りが遅いと子どもとずーっと 2 人きりで、何から何まで 1 人でしなければならぬのが大変。家族の協力は大事。昼間は、ピョピョ広場などへ行き、2 人きりの時間を減らし、気分転換をするようにしている。本当は、近所の児童館で過ごしたいが、乳幼児が遊べる安全な場所はほとんどなく、午前のみ使用とされているため、乳幼児の児童館難民がたくさんいる。
- 近くに頼れる人がいなくて、ちょっと面倒を見てもらって用事をすませたり、ということが困難な時。
- 乳児のとき、急にどうしても外出しようと思っても、預ける人がいなかったために、主人に休みをとってもらったこともあったので、預けられる所があればいいと思った（ファミリーサポートは登録していないとダメだったので、急なものはできないとあきらめた）。
- 核家族で夫が仕事で帰宅が遅く、子育ての負担が自分（妻）にのしかかる時。

#### (5) 保育園・幼稚園のこと(7 件)

- 保育園に入れるか不安。
- 学生だから、フルタイムの人より保育園入園、延長保育などの優先順位が低いとき（学生には有休がなく、経済的に厳しいにも関わらず）。
- 体を壊したため保育園への入園を申請したが、枠が限られており恒常的に付近の保育園を利用する事が難しいのが辛い。
- 保育園の問題。私のように出産前はパート勤務だった者は、出産を機に仕事を辞めざるを得ず、復職したくても出来ない状態にある。夫の収入だけでギリギリの生活を送っているのに、区立保育園はいっぱい、保育料の高い私立の保育園をすすめられる。どこからそのお金を捻出できるというのか。私の周りにいる区立保育園に入れている方々は、たいがい夫婦とも正社員で収入も高く保障もある。そんな人達ばかりではないと思うが、働きたくても働けないのに“専業主婦は気楽でいい”などと言われたり、区立保育園の待機の順番が後回しにされたりするのはひどいと思う。
- 保育園に入れるかどうか分からないとき。家から近い保育園に入れなくて、通いづらいと感じる保育園でも、入園できるだけでありがたいと思わなくてはいけないとき。
- 二人目を考えても、兄弟姉妹で別の保育園に通わなくてはいけない状況が当然だと知ったとき。
- 近くの幼稚園に入園させたいと思っているが、ここは 2 年保育。私立の幼稚園は 3 年保育だが、通園することを考えると近所が一番だし、ここだと坂を登らずに通うことができる。区立幼稚園も 3 年保育の実施を検討してほしい。3 年保育にするのはすぐに無理なら、週 3 日でも午前中預かり保育を行ってほしい。

## (6) 子育てに関する支援について(7 件)

- 気軽に預けることができず、病院に行くにもちょっと考えてしまうときがある。保育料の安い施設があると助かる。
- 仮に預けられても病気の時は迎えにいかなくてはならないので、病気でも預けられる施設が欲しい。
- 一時保育の問題。再就職のためにも大学や区の生涯学習講座などに通いたいとき、また 2 人目 3 人目を妊娠した時、自分が病気になった時など、一時保育の施設が充実していないと思う。あっても場所が遠い、保育料が高い、規定が厳しいなど、とても預けにくく感じる。
- 区の緊急一時預かりは、2 ヶ月前に登録が必要だという事で、急な発病には、対応できないし、民間のベビーシッターは費用がかかると聞いている。今は、まだ子ども一人なので何とか頑張れるように思うが、今後、第二子を考えた時、このまま何の支援もなしに子育てができるのか、とても不安である。特に出産前後に上の子が、確実に保育園等に入れるのか、産じょく期の育児、家事、自分自身の心身のケアについて、とても不安を覚える。
- 文京区には一時預かりできる施設が少ないと思う。シビックセンターのキッズルームも 3 時間を上限としているので、家からや目的地からの道のりを入れると 1~2 時間しか活動できない。場所、預け時間の選択がもっとできるようになると助かる。
- 専業主婦家庭では、保育園が特別な事情がなければ利用できず大変である。3 年以上間をあけるにも結婚年齢が高い(遅い)人にとっては、出産年齢も気がかりである。そのような事情から 2 人目をあきらめる人もいないかと思う。少子化に真剣に取り組むのであれば、子どものみならず、子育て当事者(専業主婦)の負担軽減も大きな課題であると思う。
- 出産後の産じょく時期のサポート(親の助けが求められない環境だったため)を手配するのが大変だった。出産後の大きな不安の 1 つだった。核家族化が進んでいるため、私のような環境の人は、たくさんいる。夫婦 2 人で産じょく期を乗り越えるのは、大変なことなので、福祉サービスや区の行政サービスを行って欲しい。もちろん有料で OK。

## (7) 出産後しばらくの間(5 件)

- 出産してから 3 ヶ月健診までが、とにかく大変で全てにおいてつらかった。何もかも初めてな上に体調も良くないので、ノイローゼになった。私は、実家が近かったため、話し相手がいたから乗り越えられた。健診の時に児童館や図書館のイベントを知り参加。そして友人もできて気が楽になった。出産して 1 ヶ月、できれば、出産直前くらいの方に案内をするようにすると精神的に助けてあげられると思う。私ももっと早く参加したかった。
- 産まれてみないと、どんなタイプの赤ちゃんかわからないので、最初は行き当たりばったりで毎日が大変。特に産後明けの夜泣きは体力的にしんどかった。自分が具合が悪くなくても赤ちゃんのおむつや授乳は定期的にはやらなくてはいけないので、疲労がたまる一方だったし、赤ちゃんは具合が悪いと甘えて抱っこばかり求めるので、腰は常に痛む日々…。人見知り時期は誰を見ても泣くので、皆に謝りっぱなしでした。
- 子育てが大変だったのは、生まれて 10 ヶ月くらいまで。夜泣きで寝不足が続いた。
- 夜泣き、泣き止まない時。子どもと二人っきりで誰とも話さない日がある時。
- 新生児の時は、ちょっとしたことが気になり不安だったが、すぐ近くに相談できる人がいたので助かった。

## (8) 経済的な負担(5 件)

- 病院の出産費用の高額さ。50 万円かかった。
- 経済的な事が大変。これから大きくなるにつれ、もっとお金がかかるので、頭を悩ませている。
- 私は文京区に越してきたとき、不妊治療をしていた。当時まだ補助金等もなく、経済的にも体力・肉体的にも相当追い詰められていたので、断念をした。その時、自分の心の整理をつけるため、自分自身に言い訳して「こんなに『お受験熱』の高い区で子どもなんかできて苦勞するだけだ」と思っていた。それから 1 年後くらいに、奇跡的に子どもを授かったが、その心配は今現も引きずっている。もちろん今はそんな先の話よりもっと身近な問題がある。
- まだ小さいうちは、粉ミルク、紙パンツ、紙おむつ等、かさばる物、重い物が 2 人分一緒に必要であり、買物も大変だし、金額も一気に高額出費で大変。
- 医療費の事。せめて小学生までは無料化して欲しいと思う。



### (9) 仕事と子育ての両立(5件)

- 仕事を休む事が難しい時。子どもが風邪をひいていてお世話を頼める人がいない状況の時(身内が近くに住んでいないため)。
- 仕事との両立。自分は家事、育児、仕事、全てをきちんとするのが当然と思われる事。
- 保育園は夕方まで見てもらえるが、小学校に上がったなら自分で児童館へ行くか、高学年になるとそれも終わる。一方会社は概ね「子どもが小学校に上がるまで」は時間減もあるが、小学校に上がるとなくなるので、両立は困難になりそう。
- 仕事と育児のバランス。
- 心配なのは、仕事復帰後の両立。大変そうだ。保育園等の預けられる施設は空きがないと聞く。もっと枠を増やして欲しい。

### (10) 周囲の理解がない(5件)

- 駅にせっかくエレベーターが設置されていても、若い方や健康そうな方々がたくさん乗り、ベビーカーだと乗れず、次が来るまで待つことになることが多い(嫌な顔をされることがあっても、優先して下さる方は滅多にいない)。
- 街で出会う人々の意地悪な言葉や態度(ベビーカーを邪魔そうにしたり、露骨に嫌な顔をされる。勿論、優しい言葉をかけてもらうときもあるが)。
- 少し混み始めた電車やバスにベビーカーで乗れないのも大変である。荷物が大きい上に子どもを抱えてベビーカーを持つのは体力的に厳しい。たまに「狭いだから乗るな」みたいなことを言われることもあり、悪いことをしていないのに肩身の狭い思いをすることもある。
- 隣近所の理解。
- 子連れの外出。子どもがさわいだときに白い目で見られるときなど。外食にも行きづらい。

### (11) 2人目を産むこと(4件)

- 下の子を産むとき、臨月近くになり上の子の面倒を見るのが大変で、産前産後預けられる保育サービスを利用しようと思ったが、空きがなく利用できなかった。
- 現在第2子を懐妊中。主人、私の両親共に60歳を越えているが仕事を持っているため里帰りもマンパワー不足で意味がない。そこで第1子の保育園入園で対処しようと考えたが、現実には厳しいものだった。区立保育園、認可保育園共に待機の状態、受け入れがない。フルタイムで働く人に比べ、出産は入園条件としての点数も低く、可能性はさらに低いものとなっている。少子化対策は働くママのためのもの?と疑問を抱かずにはいられない。専業主婦でも子どもを育てる、産むことにはかわりはない。出産の時期だけでもサポートしてもらえるシステムが欲しいと思う。
- 現在は子どもが一人なので何とかなると思うが、2人目を産むことは慎重になってしまう。
- 子どもを産む決心については、1人目は仕事の状況で決めた。2人目は、どうしようか悩み中。妊娠すると自分の体調だけでも大変なのに育児も休めないと思うと、なかなか産む決心がつかない。シビックのキッズコーナーがもっと使いやすくなれば、もう少し安心して踏み切れると思う。

### (12) 情報の取捨選択(4件)

- 今は、いろいろな情報が手に入る時代。その中で、どの情報を自分の子育ての中に上手く取り入れていくかというのが難しいと思う。子どもを育てるということは、決して楽な事ではなく、毎日、毎日がこれでいいのかと考え、悩みながら子育てしている。自分も一緒に毎日成長しているような気がする。
- 初めての経験なので最初は何かから何まで大変だった。今は育児に関して色んな情報があるが、情報があふすぎて迷ってしまうときもあった。両家の母には事情があり子どもの世話を頼めなく、主人は自営業なので朝から夜中過ぎまで仕事なので、本当に一人で子育てをしている状態だった。
- 100人いれば100の意見・アドバイスがあるので、初めは自分がどれを選ぶかに悩んだ。
- 病院の情報。
- 利用出来るサービスがあっても情報が人から教えられる事が多く、使いたい時にすぐ利用できず大変だった。

### (13)子どもが病気の時(3件)

- 風邪等、1人が体調が悪いと、まだ小さいので一日中私(母)にへばりつき、何もできないし、他の2人のこともあり、大変だ。
- 休日等に小児科などが近くにない場合などは、非常に困る。言葉が出来ない時期の子どもの病気は、親にとって一番の不安事である。
- つらいのはやはり赤ちゃんが風邪をひいて息苦しそうにしていたり、吐いてしまいぐったりしている姿を自分がみることしかできないときかな。

### (14)大変・つらいと思ったことはない(3件)

- あまり子育てで辛いと思ったことはない。主人が育児に協力的なので、家族一緒に楽しみながら子育てしている。ある程度、旦那様も育児に協力すれば、神経質になるお母さん方も色々な負担が軽減されるのではないだろうか。
- 子育ては大変そうと感じた事はあまりないように思う。確かに体力的には疲れたりして一日休みたいと感じるときもあるが、子どもといると、野菜を多く摂ろう、明日も早いからと、夜遅くまで起きることも少なくなった。でも子どもを持って近頃感じることは、「子育てって大変でしょう?」と言われる事(周りの人、近所の人)。その言葉を聞くと「はあ〜」と逆に疲れてしまう。「子育てって楽しいでしょう!!」この言葉だと「楽しい〜」と元気になると試してみたり。メディアでも「子育てって楽しい」ってゆうニュースばかりだと、人間は単純なので、世間もそうなるのでは、とふと思う。
- 現在は育児中なので、子どもと向き合うのは苦ではない。

### (15)離乳食を食べてくれない(2件)

- 育てて、はじめて直面する問題は、私は、完全母乳で育てており、6ヶ月過ぎから離乳食を始めたが、なかなか食べてくれず、これでいいのか〜と悩んだ。でも、いずれは食べるようになる。今は、2歳。まだ、母乳を飲んでいるが、食事もわりと食べてくれる。
- 離乳食や食事を食べてくれなかった時。

### (16)ほかのことができない(2件)

- 家事との両立。
- 2歳をすぎ昼寝をしない事が多くなり、最低限の事をするのが精一杯だ。もう少し時間があれば、掃除や片付けをしたい。

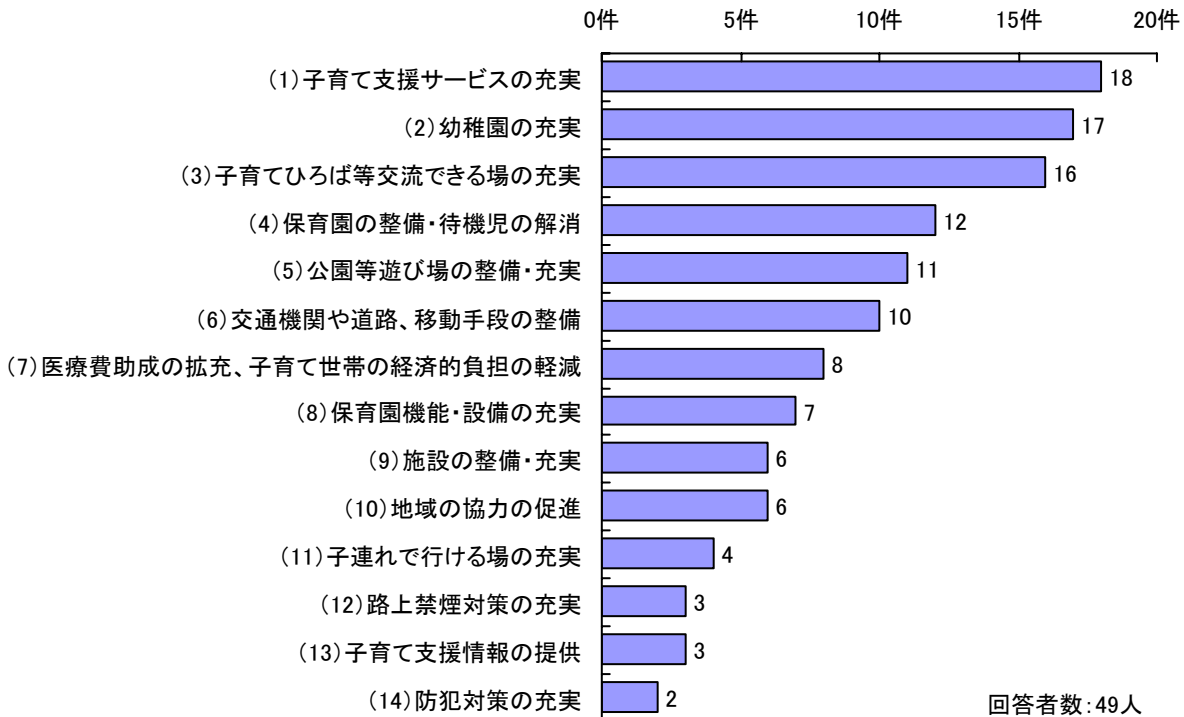
### (17)区への対応(2件)

- 近年では核家族が増えてきているのに、区への対応はできてなさすぎると思う。私は2人目がおなかの中にいる時に文京区に引っ越してきた。家は、主人も私も実家が沖縄、千葉と遠いため、あまり手伝いにこれる状況ではないので、せめて風邪をひいた時にでも子どもを見てくれたりするところはないかなと思い、2人目を産んで出生届を出すのに区役所に行った時の事。まず区の職員の何人かに「こんな小さい子どもなのに外に連れて歩いて!」と言われた。来てくると来てくると言っているわけではないし、どうしてそんな言い方を区の方に言われなければならないのか疑問だった。その後、風邪の時に見てくれるようなものはないかを聞いたところ、風邪になって初めて預ってくれる施設に行き、登録手続きを踏む、といった内容のものを聞かされた。子どもがいて具合が悪いのに、どうやってその場まで行く元気があるのか、そんなに動く元気があるのならわざわざ預けない!!産んだ後というのはガクッと体力が落ちるので、実家に頼れない人は必ず産後何回も動けないくらいの深刻な病気になる。産後うつにもなりやすいし、周りに頼れる人がいないならなおさらだ。1時間でもいいから家に来て子どもの面倒を見てくれた事で救われる事もある。区の方たちの対応の悪さに正直びっくりした。関心がないというか、そういうところから改善しなければよくならないのでは?この話を保健師さんにしたところ、とても対応よく答えて聞いて下さって、下の人の声は区長にまで届かない、という事も言っていた。もっともっと言いたい事はたくさんある。形だけでなく行動に出してほしい。
- 子育てを祖父母が手伝ってくれるのが当然という対応をされたとき(子どもが病気の時、保育園のお迎えが遅くなる時など、うちは実家が遠方で手伝ってもらうのは困難)。

## (18)その他

- 第1子の幼稚園へのお迎え(14時)のとき、第2子と3子は昼寝の時間で、(ほぼ毎日)誰もいなくなる家に寝ている2人を置いて、ダッシュで往復するのが大変。そして第1子が友達のうちに遊びにいくと約束している日など、泣きたくなる。寝ていた2人が戻る前に起きて泣いていたこともしばしばあり、トラウマにならないか心配している。
- 引っ越してすぐの妊娠だったため、病院を探すのに少し苦労した。
- 子どもの成長が遅いのではないかと、どこか悪いのではないかと、不安な時。
- 年子で下の子どもは1ヶ月なので今はよいが、これから先は大変。いろいろな事を考えてしまう。また、今は働けないが、父親がお店を一人でやっているので手伝いたいと思うが、今のままでは不安である。今預けている子どもを半年後も預かってもらえれば、大変幸せと思う。
- 子育てはなるべく若いうちにと、今3人いてつくづく体力的(自分の)に感じている。
- 社会からとりのこされていると感じる時。
- 夫婦2人で出かける機会が全くもてないとき。
- 子どもを出産するまでは、無事に産まれれば“ゴール”のような気持ちがあり、そこから大変な事が“スタート”するとは考える余裕がなかった。今、娘は、2歳9ヶ月になり、だいぶ楽になったが、2人目を産む予定はない。子どもは嫌いではないが、かわいいと思えるのは、自分自身の精神状態がベストの時、病気の時看病していて、もし、自分が妊娠していたり、下の子がいたら自分でやる自信がない。自分の年齢を考えると体力的にも自身がない。近所に児童館、公園もあり、恵まれているが外出(電車に乗って)は、子連れは大変だ。

## 2. 子育てしやすいマチにするためにはどうしたらよいと思いますか？



### (1) 子育て支援サービスの充実(18件)

- ・ 病気の時など、家事を手伝ってくれるヘルパーさんが利用できるようなれば有難い。
- ・ 病児保育ルームを利用している。病気回復期にとっても助かる。もっと増やしていただくと需要が高まると思う。
- ・ 病児保育のできる保育園を増やしてほしい。
- ・ 公的補助はベビーシッターさんなどを利用しやすくしていただけたら、と思う。
- ・ 近くの幼稚園や保育園に一時保育の枠があるといいなと、どうしても思ってしまう。
- ・ 子どもを気軽に預けられる場所の設置（例えば、全ての保育園で一時預かりをするなど）。
- ・ 一時預かりについて（一度も利用した事はないが）、もう少し低料金で預ける事が出来るとうれしい。
- ・ ふみちゃんのおうちは、3時間→4時間利用できるように変更して欲しい。3時間では、髪の毛を切りにも行けない。
- ・ 一時預かり保育の休日への対応（月～金の勤務の人だけでなく、不定休勤めの人もいるので休日も預かってくれるとありがたい）。
- ・ 育児の支援を増やしてほしい（これが一番のお願いである）。これは、他のお母さん達とも話題になるが、シビックの一時預かりが使いづらい。預けたい時は、「美容院」「通院」という方が多い。でも「3時間だと足りないから預けられない」と皆さん口をそろえて言っている。「それなら目白に」と思われるかもしれないが、実際、子どもを連れていっただけで大変。仕方なくベビーシッターに頼む方も多い。せめてあと1時間延ばしてほしい。私も2人目を考えるにあたり、通院がすごく心配である。予約制でない所も多いので、あと1時間は、預かっていただけると間に合うと思う。あと3日前からの予約だが、せめて前日（できれば当日）とかにしてほしい。子どもは、夜泣きがつきもの。「1時間でも休みたい」ということがよくあるが、3日前からだと使えない。当日または前日なら利用しようと思う。よくびよびよ広場に行くが、いつもキッズルームは空いていてもらいたくない。「できれば一時預かりと1日預かりとの選択制、無理ならもう少し長く預かってもらいたい。あとは、1回3時間10日ではなく、1ヶ月30時間という規定にするとか。予約は、せめて前日まで受け付けてほしい。」これが、他のお母さん達とも一致する意見である。
- ・ 子どもを預けるのに料金が高い。3時間で2,500円もかかると気軽に預けるのは、無理だと思う。
- ・ 区役所のキッズルームを少し大きくして、6ヶ月くらいから預かってくれるととてもありがたい。
- ・ 病児保育、ベビーシッター、一時預かりなどの充実。

- 子どもの一時保育や保育ママなどの制度があるが、事前に予約、登録が必要なので、急に今すぐ預って欲しい時にどこにもそういう場所がないので困る時がある。
- 地域センターの職員の方には申し訳ないが、一日中暇そうにしている方がいるのなら（そう見える）、一時預かり的なことをしてもらえるとありがたい。
- 過日、突然送られてきた子育てアシスト文京おかいもの券、とても助かった。今後も定期的に（年に何回か）に続けて欲しい。
- 電車に乗って外出する時、サポートしてくれるボランティアがあれば、子連れでの外出が楽しくなる。自分が買い物している時、近くの公園で1時間ほど遊ばせてくれるなど・・・。
- 0歳児の施設がとても少ないみたいで、しかも料金が高いので、あずけたくても中々入れられないのが現状みたいなので、もっともっと補助金を増やしてもらえれば、出産をしようとする人も出てくると思う。少子化現象が、問題になっている今、真剣に考えて行かないと大変な事になると思う。

## (2) 幼稚園の充実(17件)

- 幼稚園は、地元（近く）が良いのだが、抽選でなくなると良い。勉強のためだけでなく、身体作りもあるので、日当たりもよく、園庭で遊べるのがよい。
- 3年保育が主流の現在、区立の幼稚園は、2年の所が多い事がとても不思議である。それに加えて、3年幼稚園でも（小日向台町幼稚園）、入園出来る人数が少なく抽選、ほとんどが兄弟（姉妹）枠で埋まってしまうというのは、疑問に思う。区立ならば、希望すれば確実に入園できる制度に是非してほしい。
- 区立の幼稚園、是非3年保育にしてほしい。
- 公立の3年保育の幼稚園を増やしてほしい。
- 春日の付近では3年保育の幼稚園が少ないと思う。
- 公立幼稚園は2年保育なので近所にあっても3年保育を希望しているので、残念。平日、入園前の子ども達に開放していただいて、楽しく遊ばせてもらっている。
- 幼稚園は、もっと区立を増やしてほしい。できれば3年保育のものがいい。
- ぜひ区立幼稚園の3年制の充実にも公的補助を。少しずつマンションも建設されているので、子どもの数が増加してきているように感じるので検討してほしい。
- 区立の幼稚園が3年保育でたくさんあるといい。倍率が高く入園させるのが困難な上、選択肢が少ない。保育園もなかなか入れないと聞くと、民間の保育園は保育料も高いので困る。もう少し安価の保育料で、気軽に預けられる施設がたくさんあると助かる。
- 幼稚園、保育園とも、その場所により入園できる子どもの年齢がまちまちなので、全部同じにしてくれたらいいと思う。家の近くに入園させたい良い幼稚園があっても、2年保育、3年保育などの理由で行けなくなってしまっている。
- 区立幼稚園の保育内容を充実させ（特色を持たせ）、私立と比較できるくらいにしてほしい。また、保育時間終了後も一部私立のように有料でも預かり保育や課外保育（英語や体操等）を実施してほしい。
- 幼稚園入園で仕事を持つことを考える主婦も多いが、幼稚園は受け入れ時間が短く、就職は現実的ではない。幼稚園に延長保育を設ける事で、保育園か幼稚園かの選択も広がり、保育園への児童の集中も緩和できるのではないだろうか。
- 地方のように、14時降園という中途半端な時間ではなく、16時～17時まで預って欲しい。
- 私立と区立幼稚園の保育料の差が大きいので、私立にもっと公的補助をしてほしい。
- 幼稚園など、園庭を開放して下さる所が多く、とても良いことだと思う。
- 幼稚園の未就園児開放がとても助かっている。公園は人がいないことが多く、安心して遊べる環境ではないこともあり、幼稚園をよく利用している。
- 今、子どもが遊びに行っている幼稚園では、園内で菜園をしたり、動物を飼ったりと、とてもいい経験ができている幼稚園だと感じている。

## (3) 子育てひろば等交流できる場の充実(16件)

- ぴよぴよ広場のような衛生的で子どもが楽しく遊べて、母親同士も気分転換できる場所がたくさんあると嬉しい。ただ、1歳過ぎて歩くようになると、ぴよぴよ広場では充分遊べないので、もう少し広々と遊べる場所をつくって頂きたい。又、土日雨の場合の遊び場がないので、土日でも使用できると嬉しい。
- ぴよぴよ広場はとてもよいので、各地域に同じような施設が出来るとよい。

- ぴよぴよ広場のような施設の充実。ウレタンマットやすべり台等の遊具も設置し、プレイスペースがあるとよい(子どもが身体を動かして遊べるとよい)。
- 子育て広場、ぴよぴよも、もう少し広くスペースをとり、交流の場を持ちたい。そこで母親たちは学べる事も大切だ。そして具体的に訓練を受けた人がまた地域の子育てママとして、託児のサポートをしたり、相談にのる、遊びの提案など、社会にも参加出来ると嬉しい。
- 児童館や図書館以外にも親子で集える場があるといい。土曜日の過ごし方に結構困っていたりする。
- 児童館に乳幼児の部屋を設置して欲しい。現在児童館には、乳幼児を遊ばせる清潔で安全な部屋はなく、AMのみ使用となっているため、利用できない。AMは、家事等で外出できず、結局遠くにあるぴよぴよ広場まで通っている。あるいは、小学校などの空教室を利用するなど。
- 午前中は、児童館や幼稚園など遊ぶところはあるのに午後はほとんどなく、あっても3時、4時で終わってしまうので、5時半ぐらいまで遊べる場所がほしい。できれば、体育館ぐらいの広さがあって、滑り台など遊具がある室内があったら良いと思う。晴れていれば公園などに行くので、天気の良い時、午後からの遊び場所が全くないのが今の現状だと思う。
- 育児中の人達が集まる場や機会を増やす。他の区よりも児童館でのイベントが少ない気がする。リトミックや触れ合って遊ぶイベントが毎週ある児童館が増えたら嬉しい。ぴよぴよ広場がもう少し広い、または、ねんねの子と走り回れる子が分かれて遊べるスペースを作ってもらえると良いと思う。外遊びを安心してできる場が少なく、みんな悩んでいる。どこか建物の屋上とかにお庭でもできて、シビックみたいにオートロックがあれば、安全面、衛生面(犬のフンとか)も安心である。
- 幼稚園の園庭や児童館をよく利用している。大変助かっているのだが、夏休みなどの長期の休みの間や土日は利用できなかったり、児童館は学童保育が始まると、私のような1~2歳児を連れた親子は利用できない事がある。「小学生が来る事で幼児は安全に遊べない」という理由で入館を断られる事もある。色々な子どもや親子が安心して長時間利用できる(できれば安価で)施設があると本当に助かる。
- 区役所内ぴよぴよ広場に行くための手段がバスしかなく、そのためにたまにしか行けない。児童館の「0歳児あつまれ!」も週1の午前中だけなので、子どもの朝のお昼寝にぶつかったり、家事をしているうちに終わってしまったりでなかなか参加できずにいる。ぴよぴよのような施設をもっと各所に作ってほしい。子育てアシスト券も、豊島区に近い我が家は、ベビー用品を池袋で買うので活用できていない。金券よりも施設を充実させてほしい。もしくは、図書カードやクオカードのようなどこでも使える金券にしていただけると嬉しい。
- ぴよぴよ広場は0~3歳向けなのに狭く、動けるようになってくると遊びに行けない。シビックセンターの中に幼稚園前の子どもが遊べるスペースがあればいいと思う(例えば、空中庭園前のベンチのスペースの隅に室内のおすべりなどの遊具を置くなど)。
- 児童館等の場はとても素晴らしいと思う。こういったところにボランティアでいらなくなった(自宅での)玩具を提供すればいいと考えるが、受け入れの対策がまだされていないようだ。
- 文京区ママ達の現状。「最近どこで遊んでるの?」幼稚園入園までの子どもと初めて外に出て、そろそろ他のママ達と育児についての情報交換をしたいと思う大切な時期である。その頃に、子どもを連れて行っても良いなど思える所は、シビックセンターのぴよぴよ広場くらい。でも、スペースは狭いし、混んでいて、2歳くらいの子供達も走り回っていて、わざわざ行きたくなる程ではない。他のママとゆっくり子育てについて語れて、0歳児も赤ちゃんも静かにお昼寝できる広いスペースがある施設があればなあと思う。次に1歳児からは、ハイハイやヨチヨチ歩きが始まる。児童館はどこも床が汚いので、ハイハイは無理だと感じる。しかも小学校の終る頃に学童の子ども達も来るので、1歳児の遊び場はなくなり、帰らざるをえなくなる。西方の子育てひろばは、終園が3時なのでもう少し、延ばして欲しいし、施設を新しくして欲しいと感じる。という事で、文京区のママ達の中には、少しでも安全で、安心、きれいで落ち着ける場所を求めて、他区の施設にまで足を運ぶ人が少なくない。新宿区、豊島区、千代田区等の施設は、前述の項目をほとんど満たし、子育て支援の場として、とてもよく機能しているように思う。しかし、最近では他区からの受け入れに差別化を図る所が出てきている。遊び場とは、単なる子どもを遊ばせるだけの場ではなく、育児に行き詰ったママ達の息抜きのも場であったり、大切な育児情報の交換の場でもある。文京区にも、良い施設はあると思うが、本当に充実していれば、わざわざ遠い他区にまで足を運ぶママ達は、いないと思う。今ある現状の施設をもう一度見直して、他区に負けない子育て支援の場をママ達の声も取り入れて作ってほしい。
- 公的補助があればあるだけ助かるが、無料の親子体操教育やリトミック教室などをやってくれるといい。幼稚園や児童館でもやっているが場所が狭いので、広い会場などで月1回でもしてくれると他のお母さんや子ども達と知り合えていいと思う。
- 今年の9月から、児童館のなかよし体操と後楽幼稚園のなかよし広場を利用している。両方とも毎日実施してくださっており、子どもも楽しく過ごしており、なによりも母親同士の付き合いが広がることに喜んでいる。

- 小さい子が参加できる集まりなどの情報や公的な場での主催。同じような人達と知り合えれば話もできて立場を共有できる。

#### (4) 保育園の整備・待機児の解消(12件)

- 少子化といいながら、保育園の待機児童が多すぎる。枠をもっと増やせないのか。
- 保育園入園枠を増やし、核家族世帯の子育ての負担を軽減してほしい。
- 区立の保育園に入れていないので、認証保育所を利用しているが、料金面と交通の便が悪いので、できれば待機児童を解消してほしい。
- 保育園は待機児童がいなくなるよう、また、出産などの短期の預け入れに対応できるよう、施設の拡充を望む。
- 保育園の待機児童を減らしてほしい。
- 保育園の受入数及び延長枠を増やしてほしい。
- 駅に近い保育園がもっと増えれば便利。
- 駅周辺にもっと保育園をつくり（または民間保育園を誘致し）、働く親の送迎をしやすくする。
- 保育園を増やす。定員を増やす。
- 保育園について、100%入園出来る事が理想である。
- 待機児童ゼロへの工夫（大型のマンションも増加しているので、今後待機児童が増加すると思われる）。
- 保育園を増やしたり、幼稚園の延長をしたりはどうか。

#### (5) 公園等遊び場の整備・充実(11件)

- 子育て広場、児童館等遊べる場所があり助かった。でも、外での遊びとなると公園が小さく遊具が少ないのが残念。
- 他の地域に比べて公園の汚さが、目につく。私は、わざわざ車で別地域の公園に行っている。
- 近くの江戸川公園にある砂場であそんでいるとうんちのような、おしっこのような臭いが強くした。他のお母さん達もそのような話をしていた。日光があたっていたので（砂場）それで強く感じたのだと思う。夜になると野良ねこがトイレがわりに使っているらしい。子どもが砂場で遊ぶので、それ以来砂場遊びはやめた。他の公園（家からは遠い）では、砂場にネットをはっている公園があった。やはり、子どもを遊ばせられるいい環境を整えてほしい。
- 公園内の見まわりを昼間でもしてほしい（遊具の上で寝ている人やお酒を飲んでいる人がいると子どもを遊ばせられないので）。
- 公園の砂場の衛生管理をしてほしい（ネットが張ってあってもあまり効果がないので）。
- 公園の遊具が比較的小学生、幼稚園児向けのものが多く、小さい子が遊べるものが少ない。
- 子供とお母さんが安心して遊べる公園がほしい。ぴよぴよみたいに登録した人しか入れないようにして、多少お金を払ってもいいと思っている。
- 子連れで安心して行ける公園（ホームレス対策した）や、商業施設（映画館や子供用品店）、また使いやすい児童館を増やしていただくと、もっと子育てしやすいまちになるのではないだろうか。
- 公園は雑草が生えっぱなしになっていたり、ホームレスがいたりして、安全に遊ばせられない。遊具の数も少なすぎる。公園の数は多いのに、安心して遊べる所が少ない。
- 子どもが遊びやすい公園を整備する。
- できれば土日にも遊べる場所（雨に関係なく）室内があればいいと思う。雨の日はどこにでかけてよいやら。力がありあまっている。

#### (6) 交通機関や道路、移動手段の整備(10件)

- 水道端図書館前の道路の傾斜がきつく、ベビーカーはもちろん子どもも歩きづらそう。
- 最寄駅「江戸川橋駅」のエレベーター設置が中止になりとても残念。子連れでも駅使用がとても苦痛である。これは、子どもも大人（高齢者）にも優しい街に必要な条件だと思う。
- 東池袋の駅にエレベーターがないのでとても不便。
- 江戸川橋の駅を利用している。役所のカだけではどうにもならない事は承知しているが、エレベーター設置のために何か働きかけをしていただけたら、と思う。子連れだけでなくお年寄りの方にもやさしい町であるために、必要なものだと思う。
- 駅にエレベーターの設置がなく困る場合がある（例：江戸川橋）。このような駅は区で出資してでも設置すべきで

はないだろうか。子連れと高齢者が利用しやすくなる。

- 町について。子どもを連れて歩いていると、一人で歩いていた時には気付かなかった多くのことに気付かされる。ベビーカーは道路の段差でつまずき、放置自転車にはばまれる。この放置自転車、文京区は本当に放置しすぎだと思う。豊島区は池袋、目白駅が全国ワースト 1 位になったためか、シルバーボランティアの方を中心に連日撤去し、駐輪場を営み、現在は本当にすっきりした町に変わった。文京区もこれに倣うべきだと思う。
- 銀行や店など段差をなるべくなくす。
- 道ではよく自動車に直面する。
- 都営バスが走っていないような順路に区内の主要箇所（区役所、講演、病院等）を巡回するバスがあれば助かると思う。
- 文京区も他区のように園バスを走らせてほしい。

#### (7) 医療費助成の拡充、子育て世帯の経済的負担の軽減(8 件)

- 医療助成の対象を小学生まで引き上げて欲しい。
- 区内でも多くの区で医療費の助成を改正している。中学 3 年生まで医療費のかからない区もあるほどだ。文京区も改正を望む。特に歯は定期健診にかかるお金もバカにならない。大きな意味で医療費削減にもつながるよう、せめて健診費などは無料にして欲しい。
- 医療費助成期間の中学卒業までの延長。
- 医療費を小学 6 年生まで無料にして欲しい。
- 子育ては、非常に精神的にも大変である。特に子どもが病気になった場合は、大きな心配もある上、仕事の都合をつけなければならないなど、多くの困難を伴う。その上に、医療費は経済的、更に精神的負担となっている。是非、中学卒業時までの医療費の公的負担を希望する。
- 妊婦健診に保険がきくようになってほしい。
- せっかく「文京区おかいもの券」が支給されても、子育てに関係ない物を買うために使ってしまうため、地元商店街の地域振興に貢献するためのものという感がある。それならば、子育て世帯を直接減税した方がいいのではないか。
- 育休で保育園に入れず、民間の託児所にやむを得ず預けなくてはいけない人のために、せめて月に 5000~1 万円の補助をしてほしい。

#### (8) 保育園機能・設備の充実(7 件)

- 保育園は、親から離れて多くの子どもと時間を過ごすという意味で、非常に有意義な時間であると思う。また、親が他の事を行なう上で時間をすることも出来る。この様な意味で非常に大切である。一方、共働き家庭等でなければ、常時利用出来ない事は、非常に残念である。もう少し、小規模で数が多く地域に根ざしている事が理想と考える。
- 公立保育園でも土曜日預かりを行って欲しい（有料でもよいので）。現在は、土曜日勤務の方などの利用のみになっている。同じく、延長保育も、事前契約者以外も臨時的に利用できるようになるといい。
- 保育園の施設を新しくきれいなものにする。
- 区立保育園の先生にゆとりがほしい（担任の先生は忙しすぎて、実際に子どもに関わっているのは非常勤の先生の方が多く感じる）。
- 仕事復帰予定で育休中だが、上の子は保育園に行っている。上の子がいるときは彼が最優先になり下の子はほっておかれることが多かったり、自分の体調が悪い時に保育園は助かっている。生活のメリハリや対人関係を気付く上でも良いと思う。
- 今、保育園に通っているが、大変良い環境で良いと思う。

#### (9) 施設の整備・充実(6 件)

- ~私が望む子育て支援のための公的施設~以下の項目にあてはまる施設を文京区在住者が、自転車、バギー、バス等で行ける場所に 2~3 ヲ所設置する。①幼児期（0~1 歳）、2 歳以上の幼児、小学生以上の子どもと年齢別の部屋を設置。②ハイハイ等するので、乳幼児が遊べる清潔で安全な部屋づくりとおもちゃの設置。③冷暖房、オムツ換え、授乳室、ミルクを作れる設備、昼食がでる施設、乳幼児用ベッドの設置等の環境充実。④自転車、バギー置き場の充実。⑤施設そのものが、子育て支援の場として機能し、レクリエーションやセミナー開催を企画し、情報発信の場となる。⑥子育てについて相談にのれるカウンセラーを常時置いて、育児相談ができる場を作る。⑦



緊急時の子どもの一時的預かりを、当日でも受け入れできるよう実施。⑧子ども達が外遊びできるよう、野外に遊具、砂場、水遊び施設を作る。⑨1歳時、2歳児対象の育児サークルをつくる。⑩母親達によるイベントや催し物の運営における活動の場の提供。⑪施設は、年中無休で、どの区の人でも使用できる。

- 上と下が2歳しか離れていないので、2人を連れて遊びに行くことになるが、公的な施設でもトイレの整備がされてなかったり、遊ぶところが限られてしまう。児童館のトイレに補助便座もないのは、おかしいと思う（できればベビーキープもほしい）。
- 児童館や保健センター等、子どもの集まる施設をもっと明るい雰囲気、きれいにしてほしい。
- 本郷保健センターの場所が遠いし不便なので、もう少し便の良いところに移ってほしい。
- 公的な証明書等を発行してくれる出張所を復活させてほしい。
- 乳児健診や歯科健診を受ける保健センターを選ばせてほしい（せめて、初回に選び、その後は同じでもいいので）。
- 区営のプールを作ってほしい。

#### (10) 地域の協力の促進(6件)

- 地域のおじさん、おばさんなど声かけをしてくださると助かる事（気分が楽になる）があるので、お母さんからも積極的に話しかけるのが良いと思う。子どもの遊び場に時間のある地域の人が入れる場があればいいと思う。安全管理の面で難しいかと思うが・・・。
- 各町内会で、幼児対象だけではなく、乳児も対象にした催し物も行ってほしい。母子で一番孤独な時期が就園前の時期なので。
- 現在私もマンション住まいで、居住者、また近隣の方との接点がほとんどない。幼稚園や保育園をもっと地域に開放して人を集めたり、園のボランティア活動などで地域に密着させていくとよいのではないだろうか。
- 世間ではいかに長く保育をしてくれるところが（預り保育）いいと言われているようだが、本当にそうなのか。疑問に思う。もちろん経済的な事もあるが、家族のつながりが希薄になっている今、「みんなで家に早く帰って家族団らんしようよ!!」と思うのである。「手作りの料理を食べようよ」と思うのである。地域でお父さんの交流会、おじいちゃん、おばあちゃん、子ども達の交流会、使用されていない児童公園を菜園にしたり、おいも掘りをできたりしたら、とっても楽しそうていいなと思う。埼玉などでは保育園とご老人の施設が一緒になり、子ども達とご老人達の交流の場がある。もちろん様々な問題もあると思われるが、文京区にはご老人の方々も多くいらっしゃる。おじいちゃん、おばあちゃんからわらべ歌を教えてもらったり、子ども達は肩を揉んであげたりなどなど、お互いが生きる力といったわりの心が学べるのではないかと思う。現代の子ども達は与えられるものが多すぎて、もちろん当たり前のようにもなっている。心が置き去りにならないように、将来自分からご老人や障害を持った方々に手をさしのべられるような、やさしい大人になれるように、小さな頃からの経験が大切なのではないだろうか。  
\*おじいちゃん、おばあちゃんは（自分たちの）何か買ってくれる人、おこすかいをくれる人ではなく。
- スーパーやバスでおばあさんに声をかけてもらえたりとちょいちょいお年寄りとの交流はあっても、結局その場限りなので、大塚フレッシュママみたいな感じで、地域のおばあちゃん達も集まってふれあいができれば理想的！同じママ同士の集まりも大切だが、色んなタイプの赤ちゃんを見てきた視野の広いお年寄りのアドバイスはとても役に立つと思うので。
- イベントや行事の際に、近所の方との共同作業をしたり、専門的な方との交流もあると、子どもも色々な体験ができてよいと思う。

#### (11) 子連れで行ける場の充実(4件)

- 親が食事をしている時、子どもが遊ぶ場所（江戸川区西葛西にあるSKIPKIDS）のような所が文京区にもあれば、息抜きできる。
- 子どもを遊ばせながら、親はランチやお茶を楽しめる場があれば、とても嬉しい。
- 子ども連れで行けるレストランがほしい（禁煙で）。
- 子育て用品のリサイクルショップの大きな店があればいい。

#### (12) 路上禁煙対策の充実(3件)

- まず、東京でよく見かける「歩きながらのタバコ」を廃止すべきだと思う。
- 文京区の禁煙も（区全体）お願い出来たら嬉しいなあと思う。
- 歩きたばこを禁止する。

### (13)子育て支援情報の提供(3件)

- 母子手帳をもらう時、妊娠中、産後に使えるサービスについて教えてほしい。
- 妊娠中、出産後に子どもの通える幼稚園や保育園（公立や私立なども含めて）を相談できたり、提案していただいたり、個別に相談してもらえる窓口があると、とても助かると思う。子育てのビジョンを自分なりに家計的にも組み立てたいと思っていたが、上手に情報を得る事ができずにいる。
- どこにどんな病院があるとかのマップがあるといい。

### (14)防犯対策の充実(2件)

- 子育てしやすい町というのは、環境設備、公的補助などいろいろあるが、最終的に子どもや家族が安心して暮せる、犯罪のない町という事だと思う。幸いな事に今までそういう危険な目にあった事はないが、色々な話を聞くので、心配になる事がある。
- 防犯ベルを持ち歩かなくてもいいよう、地域の目が届く社会になるといい。

### (15)その他

- 公的補助も大切だが、主人の帰りが早い方が精神的に楽。育児休暇を取得するのは、まだまだ少数だが、取得しない人が出せないなど、考えが変わらなければ少子化は止まらないと思う。
- 小学校の学区をなくしてほしい。
- 幼稚園・保育園に通う年代も義務教育にして欲しい。
- 最近の小学校の統廃合等の話を聞くが、子どもは色々な面で影響を受けやすく、大規模な体制で教育を行うより、地域と密着した小規模なものを公的な学校には求める。単純な経済性による統廃合には、反対である。公的機関の意味がない。削減するのは、他に先行するものがあると思う。

## 家庭で乳幼児を育てている保護者に対する グループヒアリング調査結果

### <調査の実施概要>

調査目的	保育ビジョンの策定にあたり、保育園や幼稚園に通わせず、家庭で乳幼児を育てている保護者の子育ての状況、子どもの育ちや子育てしやすくするために必要としている支援等について把握する。	
調査方法	グループヒアリング調査	
対象 グループ	第 1 回 2 歳 4 か月～2 歳 9 か月の子どもの 母親: 7 名	第 2 回 6 か月～2 歳 2 か月の子どもの 母親: 9 名(含む外国人 2 名)
実施日時	平成 19 年 1 月 12 日(金) 11:00～12:45	平成 19 年 1 月 19 日(金) 11:00～12:30
調査内容	・子育てで苦勞していること・困っていること ・子どもの育ちのために・子育てしやすくするために、必要と思うこと	

## <調査結果の要旨>

### (1)第1回ヒアリング:「子育てで困っていること・必要な支援について」

#### ◆養育サポートについて

##### ○家事援助サービス

・家事援助サービスがあるといい。両親など気軽に頼める人は近くにいないので、自分の調子がちょっと悪いとき、時間がほしいときなど、家にきて2~3時間みてもらえると、1か月に1回でも楽。4~5か月のときはおむつがたくさん必要で、トイレットペーパーも買うときなど、ベビーカーを押して、とても大変だった。一時保育は預けられるのは1歳くらいからだし、6か月くらいの子どもを連れて外に出て帰る、というのは手間、負担。

##### ○緊急一時保育・一時保育

・現在、2人目を出産間近で、実家(埼玉)に帰る予定だが、文京区の緊急一時のシステムは、1か月間、3つの保育園で各3人までしか預けられない。そのことを知らず、緊急一時保育に申し込めなかったら、家族が遠くにいる人は、上の子どもも含めて自分ひとりでみることになる。私が風邪をひいたりしたら、子どもも私もイライラして大変な状況になると思う。その日に言えば、半日でも1日でもみてくれるところがあるといい。

・台東区では、2か月間くらい、1日1000円前後でみてくれるシステムがある。そういうサービスを利用すると子どもも楽しく、親もゆっくり下の子をみることができ、健康的な子育てができると思う。働いているママさんだけでなく、子どもを産んだ後やつわりの時期など、高額でなく低額でみてくれるシステムがあるとよい。

・文京区の一時的保育は高い。自分は働いていないから2500円は大きい。2回利用したら洋服が買えると思ってしまう。どうしようもない場合は仕方がないが、息抜きのためには利用しがたい金額。息抜きできる時間が必要だが、自分がみればただ、と思うと結局息抜きはできない。

・両方の両親とも都内に住んでいるので来てもらうこともできるが、歳をとってきている。これからは「ちょっと助けて」と言えなくなってくるので、一時保育を充実してほしい。

・5日前に登録しないといけないのでは、緊急一時保育になっていない。夏に引越しをした際、両親も手伝いに来てくれなかったし、主人も仕事が忙しかったので、前の日1日だけでも4時間くらいみてほしいと思い、緊急一時保育を利用しようとしたが、病気が冠婚葬祭でないとだめと言われた。目白台の一時保育所を紹介されそこに登録をと言われたが、まだ5日前だったが、土日は含まない5日前ということで登録できなかった。結局、徹夜して子どもを寝かせつけながら準備をした。結果的に対応できたからよかったが、それで倒れていたらどうするのかと思う。

・子どもが0歳児の一番手のかかる時期に、私は3回病気になった。そのときは、主人の会社が近く、すぐに戻って来てくれたのでなんとか乗り切れた。これまで一時保育、緊急一時保育など区のサービスを使ったことはない。みんなの話を聞いたり、そこまでしていいものやらと自分の中で歯止めがかかったりして…。ただ、サービスが使いやすいものであれば、もうちょっと気持ちも変わったと思う。病気などで育児できないことで不幸になるのは子ども。例えば、近くの保育園にその日の朝や前日電話すれば、受け入れてくれる体制があれば、すごく気持ち的にも楽になると思う。他区では、保育園全園で緊急一時保育を実施しているところが4区くらいある。文京区は3園だけ。なぜ文京区ではできないのかと、いつも主人とも話をしている。

・急なときに支援してくれる人がいない。母の時代は隣に鍵を預けて、「今寝ているからちょっとみていて」ということもできたが、今は隣にどんな人がいるかわからないし、わかっているのもちょっと怖かったりして頼むことはできない。まちなコミュニティもできていないので、頼れるマンパワーが近くにいない。

## ○2 人目以降の妊娠・出産に対する支援

・今、2人目を産むかどうかで、毎日悩んでいる。両方の両親とも大阪だし歳をとっているので、手伝ってもらえるのはみこめない。また、2人目を妊娠している人の生活をみていると大変だと思う。保育園もなかなか利用できない、ということも聞いたし、自分だとどうか考えてしまう。緊急一時保育の利用や、2人目を産むときは保育園に入れる優遇措置などがあれば、考え方も違ってくると思う。迷っている人もいっぱいいるのでは。

・2人目を産むときは、1対1から1対多数の関係になるわけなので、思い切りが必要。  
・2月に第2子を出産予定。両家の両親とも仕事をしているので、1人目のときは里帰りしなかった。やはり2人目となると、1人目は外に出て走り回らないとだめなのに、新生児を連れて公園にも行けないし、寒い時期に出産することを考えると、2月、3月をどう乗り切るかが妊娠したときからの課題になっている。家族だけで子育てできるかと考えると、昼間だけでも2歳4か月になる上の娘を預けようと思ひ、産前産後5か月間は保育園に入る資格があるということなので、12月1日からの入園手続きをしたが、待機児童がかなりいるということで、全部断られた。また、2月、3月は年度替わりなので、出産による一時的な利用だとしても、保育園の新規入園受付は制度的に一切しない、と言われた。緊急一時保育で1か月を限度に預かれるかもしれない、と言われたが、私が住んでいる目白台からは、緊急一時保育を実施している3園はどこも遠い。結局、ぎりぎりのところで認可保育園に空きが出て、2月1日から入れることになったのだが、娘をみる人がいないから、2月まではどうあっても出産できない状態にある。主人と話すのは、今の段階で保育園の利用が決まっていなかったら、不安で精神的におかしくなったかもね、ということ。緊急一時保育しか利用できず、しかもそれがしおみ保育園だったとすると、遠いので何かあってもすぐに会えないし、怖いなど思っ。妊娠中をずっと上の子の保育園の心配ばかりして生活していたと思う。そういう不安がないようにしてほしい。2月1日までに産気づいてしまった場合も、すぐに子どもを預かってくれる緊急一時保育があれば、主人が帰ってくるまで上の子をみてもらうことができるが、ひとりで産気づいたときにはどうしよう、というのがあって、今からすぐに連れてきてください、というところが近くにないと、本当の意味での緊急一時ではないと、身近に感じている。今回、出産を控えなければ、保育園について保育課の方とここまで話すこともなく、待機児童が多くて大変、ということもわからなかったと思う。これでは2人目を躊躇する方も多いただろうと思う。

### ◆保育園について

・1人保育園に入っていると、2人、3人産んでも兄弟も預けられる。共働きだと点数が高くて、優先的に保育園に入れるが、専業主婦はポイントは低く、妊婦でもなかなか入れない。裕福だから働いていない、というわけではないのに。1回入ってしまえば制限なしではなく、年度ごとに利用の見直しをするなどしてほしい。

### ◆医療費の助成について

・現在は、就学・までは医療費はかからないが、他区では、中学生までなど、どんどん広がっている。だんだん病気はしなくなるが、歯科検診などにお金がかかるようになる。これからどんどんかかってくるので、医療費の助成を充実してほしい。せめて小学生までにしてほしい。それも2人目、3人目の子どもを育てることにつながるのではないかと思う。

・医療機関については、救急もちゃんとしているし、総合病院もあるので、充実していてよいと思う。

#### ◆遊び場(公園・児童館など)について

- ・目白台に住んでいるが、朝から夕方まで安心して遊ばせられるところがない。現在、週に1~2回、みんなで集まっている場に参加しているが、毎日行きたいくらい。今は自転車に乗っているが、ベビーカーを押して出かけるのは大変だった。充実した児童館が身近にあるといい。
- ・文京区の公園は遊具が少なく、充実していない。子どもも楽しくない。児童遊園はたくさんあるが、住宅地の公園は静かで怖い。住処にしている人もいるし。大きい公園に行くが、遠い。他区の公園に行ってしまう。
- ・教育の森公園は、小学生むけなのか夕方は混んでいるが、午前中は人が少ない。遊具がいっぱいあるのに。ベンチのまわりや遊具のまわりにタバコの吸い殻が捨ててある。子どもは拾ってしまうので、すごく怖い。
- ・千代田区の禁煙条例のようなものに文京区でも取り組んでほしい。歩きたばこはちょうど子どもの顔にあたる。子どもは危険を察知してよけることはできなし、やけどではすまない。
- ・0~1歳のときはハイハイで、公園にも行かれない。児童館は、午後は大きい子がいるから危ないと、利用時間が午前中に限られている。夏休み・春休み・冬休みは午前中も行かれない。また、お昼ご飯が食べられず、午前中で帰ってくださいと言われると、午後どこで遊べばいいのか困る。結局、電子レンジやポットやお皿が用意してある、他区の児童館に行く。新宿区ではビルごと児童館で、フロアごとに利用年齢がわかれている。そこまで完備するのは無理でも、もう少し考えてほしい。
- ・児童館施設が老朽化している。アスベストなどの問題など心配。子どもがハイハイしている場所は、ストッキングだとひっかかりそうな場所だし、暖房がなくガスファンヒーターで十何畳を暖めていて、寒いのに子どもは滑るから裸足にして、と言われる。電子レンジも古いものでも1台あれば、夏、保冷したお弁当を持って行き、その場でチンできるのに、お弁当を持って行くことができず、外で買ったりしている。そういう不便がある。
- ・在宅で子どもを育てている家庭は多いはずなのに、一生懸命外に出てきてコミュニケーションをとっている人は決まっているというか、いつも顔ぶれがいつしよ。その人たちに会うと、合言葉のように「どこで遊んでいるの?」と言っている。返ってくる言葉は、千代田区、新宿区、豊島区など。「私たち、ジプシーのようにさまよっているよね」という話になる。豊島区では、一時保育のほか、遊具も充実している、母親同士がレクリエーションできる場もある、ママサークルをつくれる場もある複合施設として子ども家庭支援センターがあるが、文京区にはない。予算をとる、税金を投入するのは難しいかもしれないが、そうした子ども家庭支援センターのような施設を、廃校にする小学校などを有効利用してつくってもらえたら、ぜんぜん違うと思う。
- ・文京区の児童館は使いづらい。「畳の部屋がありますから」と言ってくれるが、2歳くらいになると畳の部屋では遊ばない。ホールに出たがるのだが、お兄ちゃんたちが遊んでいる。児童館は学童のために建てられた施設だから、私たちが無理を言うのも引け目があり、言いづらい面もある。
- ・児童館ジプシーになっている私たちに救ってほしい。文京区の児童館に他区の人 coming ことはほとんどない、魅力がないのだと思う。他区の施設を利用する場合にはいい顔をされないこともある。税金を払っているわけではないので、向こうとしては使う権利はないですよ、ということになる。それは当然、仕方ないとは思うが。
- ・年齢に応じて、安心して1日遊べるところがない。「午前中ここの施設で遊んで、ご飯を食べたら、午後はどここの幼稚園の〇〇会に行こう」というが1日の過ごし方で、はしごしないと1日が過ごせない。1日中さまよっている。自転車坂道を移動しているので、一度雨がふると友だちに会えないし、子どもと2人でもんもんと過ごすことになる。

#### ◆交流(コミュニケーション)・仲間づくりの場づくりについて

・夫がフリーランスで仕事をしており、子どもが生まれてしばらくはちょうど時間があるときで、水道児童館が近くにあるが、去年の6月まで行ったことはなかった。ふみちゃんのおうちには、友人が連れて行ってくれたのだが、職員の方から「おすわりのできない子はまだ来ちゃだめ、小さいのでまだ来るのは早い」と言われてしまい、それ以来、足が向かなくなかった。それで、夫に交代でみてもらったり、小石川後樂園の年間パスポートを買い、遊びに行っていた。友だちはいなかったが、主人がいたから助かった。6月にたまたま出会った人から「児童館に行こう」「幼稚園においで」と誘われ、行くようになったら、子どもも楽しいので「行く、行く」と言い、それで初めて子どもから開放された。初めてのところに行くのは勇気がいるのに、ふみちゃんのおうちでは、最初のきっかけのときに、親切なかもしれないが、あまり対応がよくないと感じてしまった。

・児童館に初めて行った日も、たまたまみんなでお出かけに行った後で写真を配ったりしていて、ひとりぼっちになってしまった。初めて来た人の自己紹介をする機会はないし、職員さんによってはみんなに紹介してくれる人もいるが、ない場合もある。私も、初めての人には声をかけてあげたいと思うが、すーっと帰ってしまう人も多く、外で会ってもなかなか声はかけられない。自分も拒否された経験があるので、逆に拒否されたように感じて児童館に来なくなってしまった人をみかけると、「いらっしやい」と言ってあげたいがなかなか言えない。こうやって集まると、子育て世代はいっぱいいるんだ、と思うが、普段はわからない。

・近所に子育て世代がいるかどうか、同じマンションにいるかすらわからないのが現実。児童館で会って話して初めて、近所であることがわかることもある。そのくらい近所づきあいが希薄。

・地域に根付いた子育ての場がないから知り合う機会もないし、まわりのことがわからない。

・お祭りなどの行事も町内でやっているが、あまり知らされていないので参加できない。マンションに住んでいると町内会費を払っていないので通知は来ない。まち自体の関係も希薄だから、マンション住まいではなおさら。

・私が住んでいるマンションは規模が小さく、4組くらい週に1回くらい会うが、外に出ているのは自分だけ。1人は公園でだけ遊んでいて、あとの2人は全く外に出ない。行ってもなかなかじめないよう。子育てをしていると同じ悩みを抱えているので友だちになりやすいと思うので、そういう場所があればと思う。小日向台の児童館を利用しているが、場がもったいない。なんとかお昼のスペースをつくってもらったが、それでも2~3時には帰ってくださいという感じ。2~3時くらいからまた会話が盛り上がってきて、色々な悩み相談も出てくるのに。お昼の時間はすごく重要な時間だと思う、情報交換ができるなど。

・水道児童館は、お弁当を食べる場所はないし、食べていいかどうか書いてないし、聞けない。

・久堅児童館の0・1歳の集まりに何度か行ったが、もともとの輪ができていて、初めて行っても紹介もない。受け入れ側の体制を考えてほしい。私は大塚ママができて、ようやく地域の近くの友だちに会うことができたが、それまでは同じ人とばかり遊んでいた。

・フレッシュママのような場・機会がいっぱいあるといい。みんなそこで知り合い・顔見知りになっているので。

・フレッシュママがあるから来てください、といっても、バスでとなると、2~3か月の子どもを連れて行くのは大変。また、月1回でなく毎週あるといい。それが楽しみだったので。

・フレッシュママで友だちができて、月1回しかないのに、各お家に集まろうとなるが、やはり限界がある。誕生会、クリスマス会、七夕会などをみんなでしたいと思うのだが、場所がない。

・地域センターも、場所は貸してくれるが飲食禁止でお祭り騒ぎはできない。パパも来れていい雰囲気になると思うのに。せめてもう少し集まれる場を貸してくれると、集まりやすい、遊びやすい。

- ・子ども家庭支援センターのような大きいものがあれば、すべてそこに集約できてよい。緊急一時保育も全園にあるとありがたいが、全部が全部保育園に、では保育園もアップアップになってしまうと思う。区にセンターが2か所くらいあれば、今までの悩みは解決されるという気がする。
- ・高齢の方の病院や施設利用などとあわせてでいいので、巡回バスがあるといい。
- ・シビックセンターにあるびよびよひろばは、狭いし、部屋の感じが暗い。狭いから子ども同士が接触してしまって、1歳になるくらいまでが限度。このビルにあれだけのスペースしかないというのはもったいない。アクセスがいいところなのに。
- ・私たちはまだ子育て2年目、3年目。子どもが育って行くのと親が育つのは表裏一体だと思う。母親側からこういう施設を増やしてほしい、緊急一時を増やしてほしい、ということ言うと、昔はそうでなかったとか、親の便宜だけ図って子どもはどうなの、という意見もあると思うが、親が育つのと子どもが育つのはいっしょだと思うので、そこを切り離してはいけないと思う。こういうふうに話しているときに親が育つ、コミュニケーションする場を通して、「こういう考えもあるよ」ということで親も育ち、それがまた子どもにも返ってくると思う。もっとコミュニケーションの場を重視して考えてほしい。今は集まる場所もない状態だし、決まったグループだけで入園・までいってしまうのはもったいない。地域にはいいお母さんがいっぱいいるので。

#### ◆子育て支援策全般について

- ・自分は高齢出産だったが、やっぱり体がきつい。産むのは産めるが育児がきつい。そういう人は自分くらいかと思ったが、顔ぶれをみているとそんなに年齢は変わらない。文京区のお母さんの年齢は全体的に高いと思うので、他の区に比べて子育て支援施策を充実してほしい。文京区のママさんは真面目で、母乳だけでなど、育児に一生懸命がんばっている人が多いので。
- ・教育がいいということで文京区に移り住んで来る人もいるが、文京区で産む人はどうするのか。都心回帰でマンションも増え、子育て世代も増えてきているので、支援を充実してほしい。小学校にあがるまでの支援が足りないと思う。
- ・これまで子育て支援というと働くお母さんへの支援だった。これからは在宅育児に関する支援を充実してほしい。在宅なのだから子育てが仕事、と言われればそれまでだが、24時間365日同じ相手と3年間いてごらん、と言いたい。働くお母さんは保育園に子どもを預け、お金は払っているにしても、その分自由な時間を得ている。私たちはコーヒー1杯飲むのにも苦労している。
- ・私たちはそもそも社会との接点がない。働くお母さんたちは社会との接点があるので、その点で不平や不満が表に出やすいのでは。私たちの不満はこういう場がないと訴える機会がない。

#### ◆幼稚園について

- ・3年保育を実施する区立幼稚園を増やしてほしい。
- ・児童館での話題は幼稚園をどうするか、ということばかり。坂がないし、近いのは区立幼稚園なので、区立幼稚園に入りたい人が多い。私立幼稚園が定員割れでつぶれては困るという理由で、区立園を増やせない、という話を聞くが、それはどうなのかと思う。区立幼稚園は定員が少ない。小日向台幼稚園は兄弟枠の関係で、4人しか募集しなかった。
- ・青柳幼稚園は2年保育だが、10人以上集まらなるとその年度はスタートしないらしい。区立なのだから、行きたい人がいれば何人でも運営するのが当たり前ではないか。
- ・区立幼稚園でも子育てひろばのようなものがある。それもいいが、まず幼稚園運営をきちんとしてほしい。
- ・児童館の仲間で結託して、「今年はここの幼稚園に申し込もう」としないと、幼稚園運営自体がされない可能性がある。みんなの意向を聞かないと幼稚園が決められないこと自体、おかしいと思う。



・私立は3年保育が多く、みんな早く手を離したいので私立幼稚園に入れてしまう。4歳から区立保育園に編入というと子どもも慣れているのにかわいそう。そういう人もけっこういるらしいが、幼稚園はとりあえず3歳は私立に入れておくか、というところではないので、編入するというのでは意味がない。区立を全部3年保育にすればいいのでは、と思ってしまう。しかも、人数が少ないと運営されないなんて、まったく意味がない。

・後楽幼稚園に入れようと思って、3歳児の間1年を過ごしているのに、受け入れない、ということになったらどうするのか。また一から幼稚園探して、今度は幼稚園ジプシーになってしまう。悩みはつきないが、そんなことで悩まないといけないのはおかしい。9月から11月は、幼稚園の問題でみんなびりびりしている。

・区立幼稚園は近いので、区立幼稚園に入れたい。小学校といっしょになっているところもあり、小学校にあがったときも友だちと馴染んでいてよい。

・それが地域、地域に根ざした教育だと思う。遠い幼稚園に入れて、小学生になったら学区があるからと近くの小学校に引き戻されるのでは、地域のつながりがいい。中学校は希望で行けるので、またぶちっと切れてしまう。何か一貫性がない。その一方で、小石川中学と小石川高校がくっついて一貫性を求めていたり、どこに一貫性を求めているのか、区がやりたいことがわからない。住んだ地域で、安心して幼稚園から中学校まで行けるようにしないと。いつも次どこに行こう、とそればかり悩むことになる。

・知り合いは、上が小学校で下が2歳。将来礪川小学校がなくなるが、金富小学校も2クラスなので礪川と合同になるかもしれない。下の子のことを考えると、これからどうなるかわからない学校に行くより、マンモス小学校に行った方がいいから、4月から引っ越すということだった。安心して幼・小・中まで行けるようにしてほしい。

・私立に入れるわけでなく公立に行くのに、進路に迷うのは困る。常に行き先を見極めないと、安心できないしあぶれる可能性がある。早く動かないと、という脅迫観念がある。

・子どもが減っているからこそ、区立幼稚園を充実してほしい。文京区は教育がすごい、と言われるが、現実には幼稚園すら困っている。

## <調査結果の要旨>

### (1)第2回ヒアリング:「子育てで困っていること・必要な支援について」

#### ◆相談・情報について

・子どもを産んでから、どこになにがあるのか、どこで遊ばせたらいいのか、どこに行ったら同じくらいの月齢の子どもをもつお母さんに会えるのか、子どもが0~1歳の間はキリキリして過ごしていた。そういうときに駆け込み寺的な、相談できる場が身近にほしい。子どもを産んでからは体調を崩すことが多くなったが、夫も仕事が忙しく、そういうときにどうしたらいいかわからずとても困った。あらかじめ相談できる場所がわかっているとありがたい。

・私は保健師さんに電話して聞いている。親身に相談にのってくれる。私は子どもを産む前に体調が悪くて、不安定な時期があった。そういうときは保健師さんに電話して相談にのってもらった。保健師さんは忙しくて、つかまらないこともあるので、ホットラインのようなものがあってもいいのかなと思うこともある。

・他の区では、どこどこで不審者がいたというメーリングリストによる情報発信があるらしい。子育てについても、そういうものがあればいい。

・メールなら携帯を使った情報提供がいい。携帯で見れるか、地域の掲示板とか、紙のものがいい。パソコンに向かう時間はなかなかとれないので。

・子育て家庭向けの区報があったらいい。区報は色々なことが書いてあって見にくい。シニア向けの話題が多く、子どもの情報が少ない。

・情報は、児童館でママさんから聞いたりというくらい。サービスはよくわからない。児童館に行くようになってわかるようになった。

・新宿区では区のサービス以外のものも含めた、いろいろな子育て関連情報が載っている冊子がある、という話を聞いた。文京区でもぜひそういうものを作ってほしい。

・悩みはたくさんあるが、保健師さんからは、話を聞いてくれるより、言われてしまう。アドバイスをたくさんしてくださるが、それよりも、こっちの話を聞いて、いっしょに考えてくれるほしい。話してしまえば、楽になるので。相談することに対して、10くらいの課題を与えられてしまうことがあるが、それだとかえって不安になり、相談しなければよかった、となってしまう。相談の場では、私たちの話をじっくり聞いてほしい。自分の子育てをほめて認めてもらいたい。そういう機会を健診のときなどにつくってほしい。けなされるより、ほめられたい。方向を示してくれるのもいいが、まずは、ほめて、安心や励ましてほしい。そうであれば、親も励みになる。

・保健師さんでも子どもがいる・いない、年配・年配でないがあり、人によってアドバイスや態度がぜんぜん違う。保健師さん教育も必要。私たちは聞いてほしい、ストレスがたまっている、といことを前提に話しをしてくれると、すかっとして帰ることができると思う。

・保健師さんに、実はいろいろ相談したいことがあるのだが、電話も苦手だし、直接ならなんとかなるが、行かないとできないから相談できない状態。勇気を出してお母さんに話しかけて聞いて…という感じで情報を得ている。情報はなかなか入手できない。外国人なので電話は苦手。

#### ◆養育サポートについて

##### ○緊急一時保育・一時保育

・子どもを産む前に想像していたのと違い、現在は自分の時間が全くもてない状況。自宅でできる仕事をフリーでしているが、子どもを産んだ後でも少しでもいいから仕事を続けていないと、復帰が難しいと感じている。保育所に預けることは考えていなかったが、一時的に預かってくれる保育場所があるといい。一時的な保育場所が自分の仕事等にあったところと思っている。

・週2日程度の日数で預かってもらえるところを探しているが、今は預かってもらうところが見

つかっていない。結局、保育園にも応募したが、フリーであるがゆえに、条件的には難しい状態になっている。

・フリーで仕事をしており、自宅で作業できたらいいと思っているが、子育てをしながらだと時間が取れず、仕事はできない。軽く家で仕事してみたが、子育てをしながら仕事をするのは、体力的に困難。しかし、ずっと保育園に預けるという決心はついていない。私の場合は、1日のうち2~3時間程度、保育してもらえる場所で、仕事にも対応できる。そうした予約ができる一時保育の場所がほしいと思っている。預けないで家で仕事するのはきつい。

・一時的に預けられる先を確保すること、生活に補助がないことをどうにかすること（児童手当もほんの少しである）、そのあたりをどうにかしてほしい。緊急一時保育は冠婚葬祭などの理由に限られている。気軽に預けられる場所がないと、大変という気持ちがあり、気持ちの面であせってしまう。

・都会は、実家とはなれて暮らしている家族が多い。夫と2人で子どもを育てるとなると、本当に大変。自分が風邪を引いたときとか、大きな病気ではないときに、子どもは休ませてくれないし、夫も仕事は休めない。簡単に預けられるところがあればいい。

・託児はとても大事と考えている。1日中ではなく、半日でもいいから託児できるところがほしい。半日ならば、もっとたくさん子どもが入ることができるのではないか。

## 〇2人目以降の妊娠・出産に対する支援

・仕事をしないと、環境は裕福というわけではないから、2人3人はこのままでは産めない。

### ◆医療費の助成について

・不妊治療に対する経済的支援もしていくべきだと思う。やっと1人産んで働こうとしているところでいっぱいなのに、2人目、3人目をつくろうなんて絶対にありえない。経済的な支援という、もっと見せかけではなくて、子どもをつくるというところから考えていかないといけないのではないかなと思う。

### ◆産じょく期について

・子どもが産まれてから2か月くらいは、気合で乗り切った。だれも手伝ってくれる人もいないし、今だけだからがんばるしかないと思い、がんばった。

・私は乳腺炎を繰り返したり、なかなかおっぱいが出なかったりして、週に1回くらい、子どもを産んだ病院に行っておっぱいマッサージをしてもらったり、いろいろなアドバイスをもらっていて、それでとても助かった。子どもが2~3か月のときは、どこにも出かけられないお母さんが多いと思う。私は、親も近くにいなかったのも、病院の看護師さんが親代わりようになってくれ、病院に行くのが楽しみだった。

・文京区の辺りでは、おっぱいマッサージなどは有料。入院しているときは相談にのってもらえるが、予約制だし有料だし、見ていただく、という感じでつらかった。

・私が乳腺炎になったときは、子どもを産んだ病院でないところでは、産んだ病院に相談をして、と言われ、対応してもらえなかった。

・私は逆におっぱいが出なくて、おっぱいが出るようにマッサージをしてくれるとことに行ったが、30分のうち20分くらいはずっとしゃべりまくり、ずっとぐちを聞いてもらった。つらかったが、その人のおかげで乗り越えることができた。

・おっぱいの問題はけっこう大問題。出るなら出るで大変かもしれないが、おっぱいが出ないことで、母親として失格なんじゃないか、と感じてしまう。

・母乳が出づらくて苦労した。母乳をあげないと自分自身にも罪悪感があるし、まわりも何気な

く「おっばいなの？」と聞くが、出ない人にとっては、プレッシャーだったりする。

#### ◆保育園について

・保育園については、保育園が少ないという印象。保育園数、募集人数の少なさにびっくりしている。復帰するのに、預かってもらえないということになると、自分が追い詰められるような気がする。

・今は、保育園が一番の課題。実家や勤務先が近いので、保育園にはなかなか預けられないのではないかという不安がある。実家が近くても、親が高齢だったりして、実際には面倒をみてもらえないことがある。親に預けられない家庭の事情があっても、それを考慮してもらえないというのは問題。保育園の入園は点数で判断するのであろうが、私たち一人ひとりの深刻さを反映できていないと感じている。

・実家の近くに住んでいるには、それなりの理由がある。文京区は家賃も高いし、家を借りて住むことが大変。それで子育てしてくださいといっても、困難。親の近くに住まないで、生活面で成り立たないということもある。親が近くにいるからといって、保育園に入りにくいというのはおかしい。

#### ◆遊び場(公園・児童館など)について

・公園で遊んでいるときに、怪しい人がいることがある。話しかけられたりなど、怖い思いを何度か経験した。子どもは公園で遊びたがるのが普通であり、安全な公園が必要。安全対策としては、見回りをするとか、とにかく何かしてもらわないと困る。

#### ◆交流(コミュニケーション)・仲間づくりの場づくりについて

・外国人として、同じくらいの子どもをもつママさん同士でコミュニケーションできる機会がない。言葉が同じママさんたちと話せる場・交流できる場がほしい。

#### ◆幼稚園について

・現在、苦勞しているのは、文京区の幼稚園について、園の送り迎えのバスがないこと。私の場合、上に子どもがいるが、上の子の送り迎えをするにも、下の子がいるので本当に大変。園バスをつくってほしいと願っている。

#### ◆労働環境について

・夫婦で子育てしている我が家では、夫が頼り。いつも5時半になると夫に「迷惑メール」をしている。夫は行政の仕事をしているのに残業がある。みんなのお手本になって、早く帰ってこないといけないよ、と言っている。パパは残業をしないということにすれば、本当にいいのと思う。

・私は休職に入る前に人事部門にいたので、休業される方が復帰できない、という話を聞いたかしていたが、いざ自分のことになって、こういうものなのかと実感した。会社では、○曜日は○時に帰りましょうということをやっているが、実際には難しい。事実、いつも帰りは遅い。会社は、社会のために子育て支援する、子育てしている家族を支援する姿勢をだすべき。

・一時預かりは夫の代わりのようなもの。会社も変わらないと、夫は育児ができない。

・私の場合、上司には子どもがいなくて、子育てについて困っている状況をどこまでわかってもらっているかが不安。

#### ◆まちづくりについて

- ・子どもと行きやすいレストランや喫茶店などあればいい。コーヒーを1杯飲んでいる間だけでも、子どもをみてもらえるところがあるとうれしい。
- ・子どもを育てる基盤がない、と子どもを産んで初めて感じた。文京区は坂が多いので、幼稚園への自転車での送り迎えさえ危ないと思う。子育て支援の目線をどうしたらいいのかなと思う。自分が子どもを持たないと駅の大変さも体験できなかった。区だけの問題ではないが、なんとかしてほしいという気持ちがある。ベビーカーを押してブロックは歩きにくい。生活の基盤を整備する視点が、すべて大人の目線・大人中心で決められてしまっている。もっと子どもの目線で考えてほしい。
- ・文京区は坂道が多いので、ベビーカーが斜めになったりして危ない。道を整備すること、歩道を確保することが希望。
- ・ベビーカーを押してトイレに行きたいときは、ベビーカーもいっしょに入ってしまったほうが私も。公園などでも多目的トイレを整備してほしい。女子トイレでなく、多目的トイレであることが重要。

#### ◆家族や周囲の理解・協力について

- ・年配の方のさりげない一言に傷つくことがある。アトピーでしっしんになっていたりすると、かわいそうね、などと言われる。相談する相手がいないこともつらかった。
- ・おじいちゃん、おばあちゃんにも教育を受けてほしい。今は風邪でもお風呂に入れてもいいとお医者さんに言われることがあるが、逆に上の世代の人におこられたりする。
- ・自分の母親でもギャップを感じることもある。予防接種してくると今日お風呂に入れちゃだめよと母は言う。医者は入れてもいいと言う。育児の方法や常識もどんどん変わっているので、夫も含めて、家族教育をしないとだめかなと思う。
- ・うちは離乳食をおばあちゃんがチェックする。励みでもあり、ストレスでもある。離乳食を6か月から始めたのだが、おばあちゃんからは5か月で始めなさいと言われ、その1か月間は、すごくストレスがたまった。同様に、おばあちゃんは、おやつはバナナがいいというが、保健所では南の果物はできるだけ後でと言われた。でもおばあちゃんはバナナをすすめる。
- ・子どもに日焼け止めを紫外線対策としてぬっていたが、義理の母がそれをみて後になって言われて、そのときは「ずれ」を感じた。これからも「ずれ」は出てくるし、今もそれを感じている。
- ・老人会などで子どものこと、子育てのことなどを勉強してほしい。孫に好かれるための本があるくらいだから。おじいちゃん、おばあちゃんの「子どもの子育てに参加したい」という気持ちを活かすことも重要。
- ・子どもが生まれる1か月前に母がなくなり、夫と2人で子育てをしている。生まれた後、どうやって乗り切ったのかは忘れたが、つらかった。夫がいるとき、珍しく子どもがニコニコと機嫌のよいときがあった。そのとき、夫は「今のうちに、家事をやったら」と言った。すごく頭に来た。夫は子育てのことをわかっていない。
- ・夫教育をしてほしい。夫に悪意はないが、子育てについて理解してもらうのに時間がかかる。
- ・両親学級に夫をひっぱっていった。子育てに関する家族教育を区でやってほしい。
- ・家族や夫は、子育てについてわかっていない部分がありすぎる。まずは夫に理解してもらう教育が大切。
- ・我が家では、子育てをしていく中で夫が変わってきた。子育てをする、ということが私の仕事で、大変なことをしている、ということを知ってもらえるようになった。そうなることで、自分も子どもに優しくなれ、がんばれていると感じる。

平成 19 年 2 月 1 日 第 7 回文京区保育ビジョン策定検討委員会

## 文京区立保育園保育士アンケート 分析結果の中間報告

報告者

特定非営利活動法人なかよしの家

理事 飯田 恭

正会員 飯田 陽子

## 【アンケートの問題意識・趣旨】

最近、保育園や保育士の評価という言葉はよく耳にする。だが、平日毎日 10 時間を保育園で過ごす子どもでさえ、一週間で見ると、70%以上の時間を家庭で過ごしている計算になる。保育園が「子どもの育ち」にとって好ましい環境をいくら整えても、それだけでは不十分であり、保育園と家庭とが、ともに連携して、「子どもの育ち」を支えていく必要がある。

本アンケートでは、文京区立保育園保育士の先生方に、日ごろ接している子どもたちの様子・生活習慣・生活環境（「生活リズム」「食生活」「ふれあい」など）について回答・記述していただくことで、とりわけ家庭での「子どもの育ち」にどのような問題があると先生方が感じておられるのか、調査することとした。

また同時に、保育園の役割についても、文京区保育ビジョン策定との関連でご意見を伺うこととした。

【アンケート対象者】 文京区立保育園保育士（保育士資格保有者）366名  
（内、正規職員273名・非常勤職員93名）

【アンケート回答者数】 287名（回答率78.4%）

## 【アンケート回答者内訳】

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	男性	5	1.7
2	女性	280	97.6
	無回答	2	0.7
	全体	287	100.0

## 【アンケート実施の経緯】

平成 18 年 10 月 4 日 報告者兩名が協働で案出したアンケート素案を、飯田恭が第 2 回保育ビジョン策定検討委員会に配布・提示。

～11 月 6 日 報告者兩名がより詳細なアンケート案を作成した後、吉田シズ子委員（水道保育園園長）・コモン計画研究所・久住智治保育課長・小野寺素子保育計画調整担当からコメントを受けつつ修正を重ねる。11 月 6 日にアンケート完成。

～11 月下旬 久住課長・小野寺担当の仲介で、アンケート実施。

～12 月 12 日 全回答のデータ入力及び単答式回答の定量分析を、コモン計画研究所が実施。

～現在 報告者兩名による分析（現在進行中）。

【以下、分析結果の中間報告】

(1) 子どもたちの日ごろの様子・生活習慣・生活環境について

●子どもたちの「生活リズム」について、問題を・・・

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	感じていない	7	2.4
2	少し感じている	77	26.8
3	感じている	129	44.9
4	とても感じている	70	24.4
	無回答	4	1.4
	全体	287	100.0

\*日々の生活リズムの問題

- ・問題の構図：「就寝時間が遅い」→「早起きができない」→「朝から食欲がでない（食事の時間がない）」→「午前中の活動が十分にできない（機嫌が悪い・覇気がない）」→「午後になり元気になる」→「遅寝」、のくり返し。
- ・その背景：
  - 「親とのふれあい」の時間は大切なのだが、そのために遅寝になる傾向がある（長時間労働で親の帰宅が遅い、居酒屋に連れて行く、一緒に深夜テレビを見る、などの事情が関係）
  - 「寝かしつけ」の意識が希薄：「子どもが寝るのを待っている」家庭が多い

\*週単位の生活リズム

- ・問題の構図：「ゆとりのない休日」→「月曜日の疲れ」
- ・その背景：
  - 土日の習い事・塾・早期教育で、子どもたちが忙しくなっている。
  - 土日に大人の外出（遊び・勤務）につき合わされ、リズムが乱れる（一日中の外出、昼寝をしない、など）

●子どもたちの「食生活」について、問題を・・・

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	感じていない	19	6.6
2	少し感じている	80	27.9
3	感じている	137	47.7
4	とても感じている	48	16.7
	無回答	3	1.0
	全体	287	100.0

\*朝食の問題：

- ・欠食：朝食をとらない。
- ・忙しい朝食：登園中に、自転車・バギーの上で朝食をとっている。

\*食事の内容の問題：

- ・離乳食の進め方：ベビーフード・母乳・粉ミルクに頼りすぎているため、離乳のステップを適切に踏んでいけない（とくに咀嚼力の発達が遅くなってきている）。
- ・お菓子・ジュースのとりすぎ
- ・偏食：苦手なものも含めて「食べさせる」のではなく、好きなものだけを「食べてもらっている」状況（子どもの「言いなり」）。保育園では苦手なものも「頑張る」が、家庭では食べなくても許されてしまう傾向。

\* 食事のマナーの問題：

- ・食べ物で遊んだり、食べ物を粗末にする、など。

\* 保育園での取り組み：

- ・野菜などを自分たちで栽培・収穫して食べる、自分で豆むきする、などの機会をもうけている（食べ物を身近に感じられるように、作り手への感謝）
- ・食の安全（ファストフードの危険）などについて教える、などの取り組み。

●子どもたちの「友だちどうしのコミュニケーション」について、問題を・・・

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	感じていない	55	19.2
2	少し感じている	98	34.1
3	感じている	101	35.2
4	とても感じている	22	7.7
	無回答	11	3.8
	全体	287	100.0

\* 問題の所在：

年齢的な発達段階に比して、コミュニケーション力（とくに、言葉で意思を伝え合う力）が低くなっていると感ずる。（自己中心的、すぐに手が出てしまう、一人遊びを好む＝おもちゃの共用をいやがる、大人を仲介したがる、大人とのかかわりの方を好む）

\* 原因の指摘：

- ・兄弟姉妹の少なさ。
- ・大人による子どもの「受容」が不十分なのではないか。
- ・そもそも保護者（親）自体が、自己中心的で、コミュニケーションが苦手なケースがある。
- ・テレビやメディアの影響が言葉に表れる（親がきちんと選ぶべき）。

\* 保育園の意義：

一人っ子が多い。そうした中、保育園の集団生活では、子どもどうしが「摩擦」「トラブル、ケンカ」「ぶつかり合い」を大いに経験し、その中で自分の意思を伝える力をつけ、他者への思いやりを育むことができる。そういう意味で保育園は貴重。

●子どもたちの「先生とのコミュニケーション」について、問題を・・・

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	感じていない	80	27.9
2	少し感じている	113	39.4
3	感じている	68	23.7
4	とても感じている	8	2.8
	無回答	18	6.3
	全体	287	100.0

\* 子どもの側にみられる問題点：

- ・「甘えの補完」：親よりも保育士に甘える傾向。家庭で甘えられない分の「補完」ではないか。
- ・保育士への過度の甘え（「ベタベタ」）：保育士に1対1で対応してもらいたがる、幼児クラスでも保育士に「ダッコ」「おんぶ」「膝に座る」などのふれあいを求め、友だちと争う。
- ・保育士と友だちに対して、区別なく接する。「大人を大人と思わない」。

\* 大人（保育士・保護者）の側の問題点：

- ・保育士に余裕無し（「人員不足」）：1人の保育士の担当する子どもの数が多すぎて、一人一人の園児に手をかけてあげられない（「申し訳なく思っている」。「手のかかる子、かかわり方が難しい子に振り回され」るなど、子どもによって、保育士との関わりの密度に差が出ていることが気になる。
- ・保護者と保育士との間の信頼関係の揺らぎ：保護者と保育士との間に「行き違い」があると、それ



が子どもの保育士との関係に影響する。

●子どもたちの「家族とのコミュニケーション」について、問題を・・・

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	感じていない	21	7.3
2	少し感じている	112	39.0
3	感じている	110	38.3
4	とても感じている	24	8.4
	無回答	20	7.0
	全体	287	100.0

\*時間のなさ：

- ・子どもが家族と過ごす時間が少なすぎる。
- ・送迎の際にも、「早く早く」と追い立てられるような姿。
- ・社会全体で、就労時間の問題を考えるべき。

\*親子関係の両極端：

- ・一方で、親が子どもの「言いなり」になっている（子どもの「自由」を尊重する、と言いつつ、実は親が子どもに「振り回されて」いる）。
- ・他方で、子どもが親に甘えられず、親に気をつかい、遠慮する、家庭で「いい子」になっているケースも目立ってきている〔保育士への甘えとも関係〕。

\*日常的な子どもとの「向かい合い」の不足・イベントや電子メディアへの依存：

- ・「テーマパーク」「話題のスポット」「イベント会場」「遊園地」「旅行」などに「出かけること」が家族のコミュニケーションだと勘違いしている。家庭や近所の公園などでの「あたり前の生活」の中での、「何気ない関わり・やりとり」が大切ではないのか。日常において、子どもと「向かい合う」ことが大切なのではないのか。〔土日の外出は、上述の生活リズムの乱れとも関連〕。
- ・家族の日常のなかでも、互いに向き合うことなく、テレビやDVDをみる時間が長いケースがある。

● 保護者の態度（保育の上で困ること）

\*保育士を子育てのパートナーと考えていない（「子育て支援」の「一方通行」）：

- ・「保育園任せ」
- ・利用者意識の強さ
- ・親が保育士を「～ちゃん」と愛称で呼ぶ（保育園では「先生」と呼ぶように指導しているのと齟齬が生じる）

\*子育て力・しつけ力の低下：

- ・子どもの「言いなり」、子どもに「振り回されている」、「子どもの自主性を尊重している」といつて保育士の言うことに耳を貸さない。
- ・「先生に叱られるよ」（何が悪いのかを自分で説明しない）

\*過剰要求（反応）：ほんの小さな怪我也ダメ、虫刺されもイヤだ・・・

\*我が子のこのことばかり考えてしまう：「お互いさま」という意識の欠如

2. 保育園の役割について

●夜間に及ぶ長時間保育について・・・

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	賛成である	2	0.7
2	条件によっては賛成である	74	25.8
3	反対である	153	53.3
4	どちらでもない	40	13.9
	無回答	18	6.3
	全体	287	100.0

\* 賛成する理由

- ・「二重保育」よりは良い。

\* 賛成する条件：

- ・一人親の場合のみ、
- ・夜勤の場合のみ、
- ・週（日）当たりの保育時間の制限
- ・親が病気など緊急の場合のみ

\* 反対する理由：

- ・子どもにとってよくない（集団生活の負担、家族関係のさらなる希薄化）
- ・親がさらに就労時間を延長することになる（「夜間や長時間の労働をしなくてすむ社会」を作るべき）

●「緊急一時保育」「一時保育」について

\* 保育園で在園児と一緒に預かることの利点：

- ・周囲に頼れる人がいない場合、親が安心できる。
- ・虐待防止につながる

\* 保育園で在園児と一緒に預かることの問題点：

- ・現行の保育園では、人員不足・スペース不足が深刻
- ・毎日の「積み重ね」で関係を築いてきた在園児のクラスに、緊急で入園する、または「親の都合で来たり来なかったりする」子どもが入ることの難しさ（双方にとってマイナス）

\* 提案：

- ・「緊急一時」「一時」のための新たな専門の施設をつくるべき

【暫定的な所感】（特に（1）に関して）

\* アンケートの結果を見る限り、子どもたちの生活習慣・生活環境（生活リズム、食生活、ふれあい）は、決して楽観できる状態にない。「中間のまとめ」の vision 1 に盛り込まれた内容を謳う事には、少なからず意味があると思われる。

\* 本アンケートでは、保育「現場」での「経験」「感じ方」に基づく「生の声」から、「子どもの育ち」がかかえる問題が「具体的に」みえてきた。他方で、指摘された問題がどの程度、どの範囲の子どもに該当するのか、どれほどのばらつきが存在するのか、等については、別の形態での実態調査が必要であるし、本アンケートでは保育園児以外の子どもたちの生活実態が見えてこない。それを補う意味でも、「中間のまとめ」に盛り込まれたとおり、定期的に「子どもの育ち」に関する実態調査を行い、それを社会全体で見直していくことが必要ではないか。



平成19年1月25日  
文京区認可保育園父母の会連絡会  
幹事 大屋・小川・亀山・川上・前田

文京区長 煙山 力 殿  
文京区男女協働子育て支援部長 大角 保廣 殿  
文京区保育ビジョン策定検討委員会会長 汐見 稔幸 殿

## 保育ビジョン策定検討委員会への要望書

先般「文京区保育ビジョン策定検討委員会報告・中間のまとめ」が公開されました。区民からのパブリックコメントの内容等に基づいて、今後、委員会の場において、最終のまとめを行う予定であると認識しております。

中間のまとめには、各委員の方々の熱意と見識で「子どもたちのため地域社会がどうあるべきか」についての多くの視点が組み込まれており、これも一重に各委員の方々の多大なる献身と努力の成果であると存じます。

しかしながら、委員会においては、区の人口動態や地域による特性、また、地域ごと・年齢ごとに行なわれている保育関連事業の内容などの文京区の実態についての具体的なデータも示されないまま議論が行なわれてきていること、個々のビジョンの実現可能性の検討がなされていないことなどから、このままではせっかくのビジョンも「画餅に帰す」ことになりかねないのではないかと危惧しております。

これまで検討委員会で重ねられてきた検討内容を活かしながら、上述の問題を一つひとつ丁寧に分析・解決し、文京区保育ビジョンを単なる「夢」ではなく、より地に足のついた堅実な、また、有効なものとしていくためにも、今後の最終のまとめの作業に向けて、文京区認可保育園父母の会連絡会は下記のとおり要望いたします。

### 記

- 一、 文京区の人口動態、今後の人口予測等の基礎データを委員会内にて明らかにし、委員の共通の認識として持てるようにすること。
- 一、 現状提起されている保育ビジョンの内容を整理し、課題を明確化すること。  
それにあたっては、既に委員会に提出されている『検討課題の整理シート』（高橋修平委員作成）もしくはそれに類するものに基づいて作業を進め、その成果物を広く区民に公開し、保育ビジョン実現に向けた今後の指針もしくは検討課題として活用すること。
- 一、 上記の作業が今年度内に完了できるかどうかの見極めを委員会の中で早急に実施すること。また、それに基づいて、区として今後の対応・日程についての意思決定を行なうこと。

以上





